

# 斐伊川水系穴道湖東域河川整備計画

【アンケートによる住民意見聴取結果資料】

アンケート配布数および回答率、問1「回答者属性」に関する集計結果

◆アンケート配布数および回答率

配布世帯数(世帯)	回答枚数(枚)	回答率
21,976	2,654	12.1%

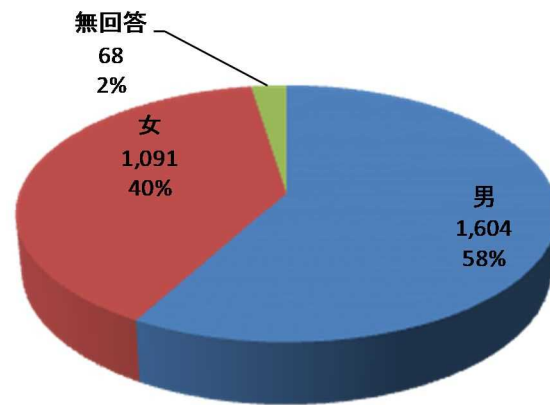
学校名	回答枚数(枚)	回答率
松江北高等学校	40	100%
松江工業高等専門学校	39	100%
松江女子高等学校	30	100%
合計	109	100%

学校関係は直接配布のため回答率100%

回答枚数(枚)	回答率
2,763	12.4%

◆性別

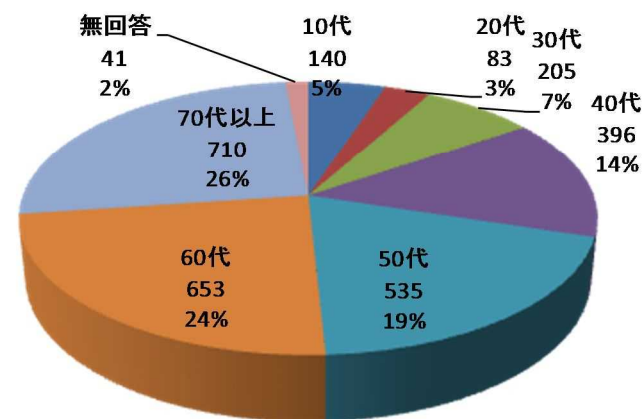
	回答数	回答割合
男	1,604	58%
女	1,091	39%
無回答	68	2%
合計	2,763	100%



◆年齢

	回答数	回答割合	地区別人口	人口割合
10代	140	5%	15,606	13%
20代	83	3%	16,238	13%
30代	205	7%	18,306	15%
40代	396	14%	20,614	17%
50代	535	19%	18,822	15%
60代	653	24%	19,048	15%
70代以上	710	26%	14,444	12%
無回答	41	1%		
合計	2,763	100%	123,078	100%

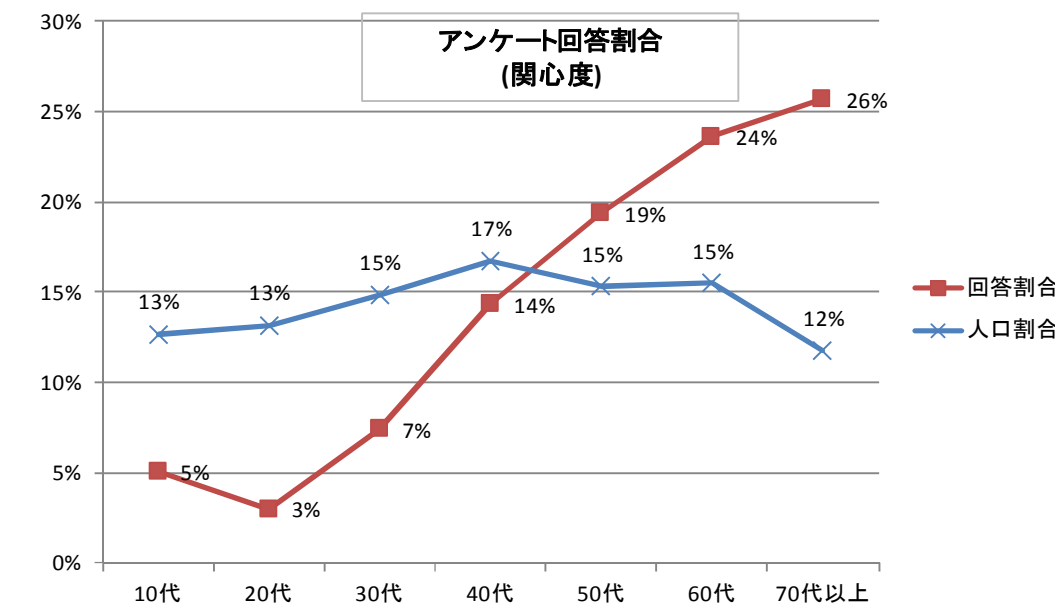
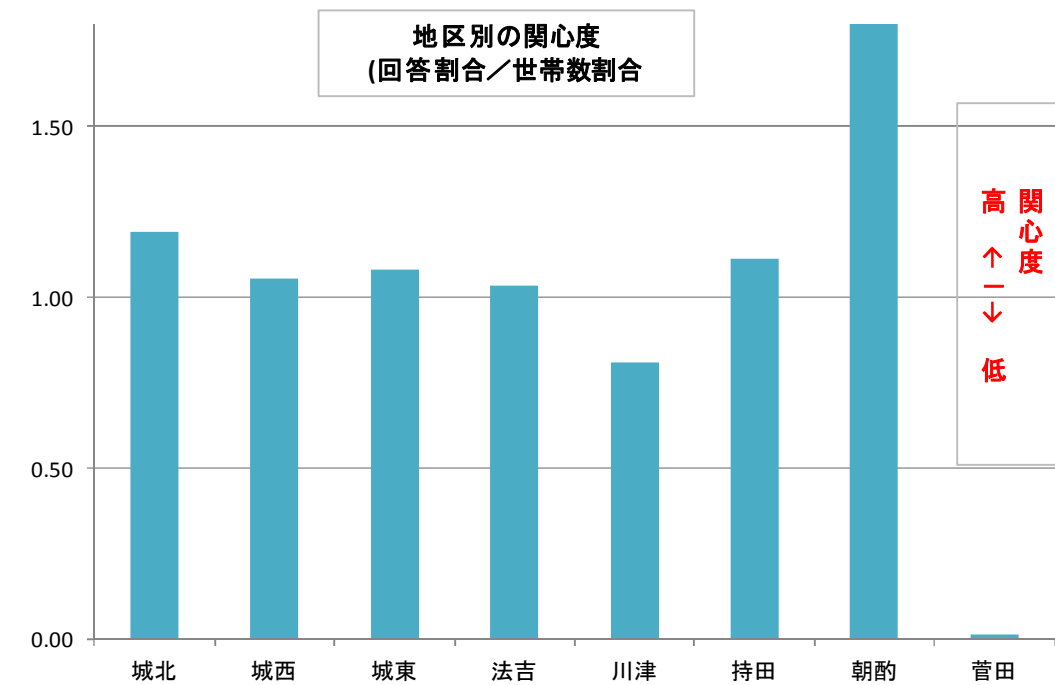
松江市橋北地区人口  
2014年7月 町丁別・年齢別人口集計表(合計) 松江市HP



◆地区別の回答割合

	回答数	回答割合	地区別世帯数	世帯数割合	関心度
城北	395	14.9%	3425	12.6%	1.19
城西	413	15.6%	4032	14.8%	1.06
城東	412	15.6%	3932	14.4%	1.08
法吉	516	19.5%	5160	18.9%	1.03
川津	590	22.3%	7514	27.6%	0.81
持田	180	6.8%	1672	6.1%	1.11
朝酌	136	5.1%	749	2.7%	1.87
菅田	1	0.0%	784	2.9%	0.01
無回答	0	0.0%		0.0%	
合計	2763	100.0%	27268	100.0%	

地区別世帯数  
2014年9月 松江市公民館別統計資料HPより





問2「自宅の近くを流れている川、あなたの普段の生活で関わりのある川」に関する集計結果

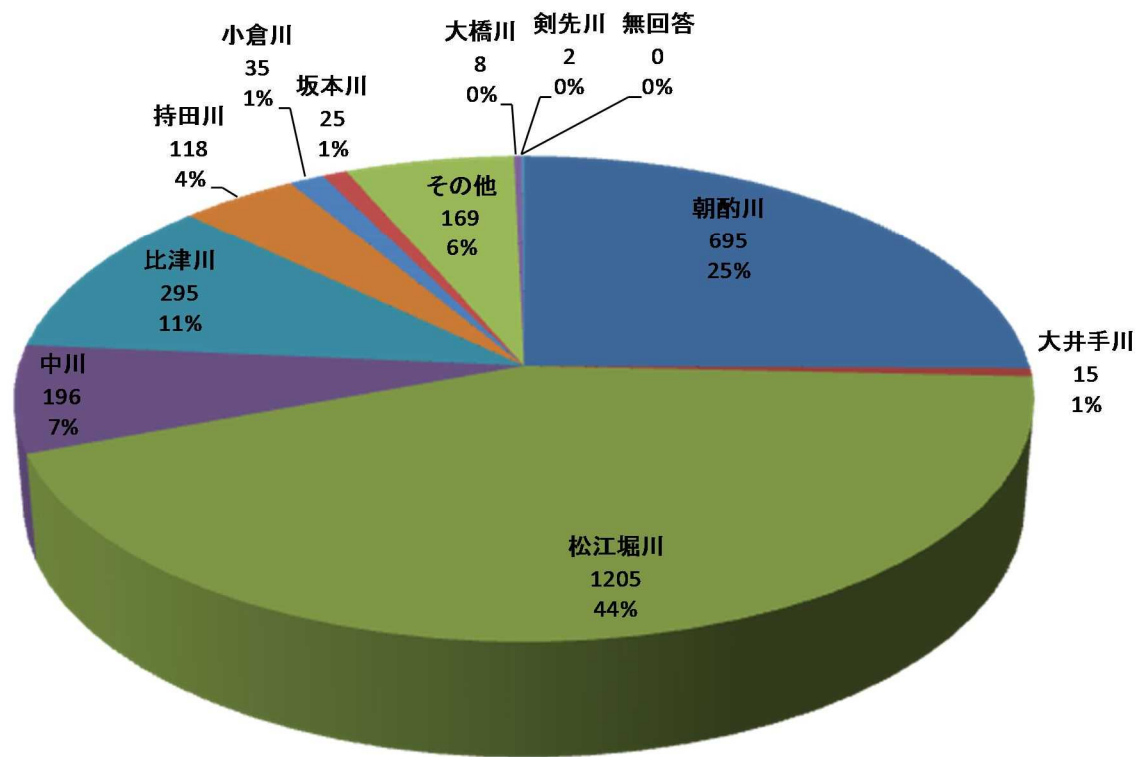
◆回答河川

【全数】

	回答数	回答割合
朝酌川	695	25.2%
大井手川	15	0.5%
松江堀川	1205	43.6%
中川	196	7.1%
比津川	295	10.7%
持田川	118	4.3%
小倉川	35	1.3%
坂本川	25	0.9%
その他	169	6.1%
大橋川	8	0.3%
剣先川	2	0.1%
無回答	0	0.0%
合計	2763	100.0%

【主要4河川】

	回答数	回答数計	回答割合	
朝酌川	695	2,391	86.5%	朝酌川、松江堀川、中川、比津川の回答が全体の87% 特に松江堀川周辺が全体の44%
松江堀川	1,205			
中川	196			
比津川	295			
大橋川	8	10	0.4%	大橋川、剣先川の回答は0.4%
剣先川	2			



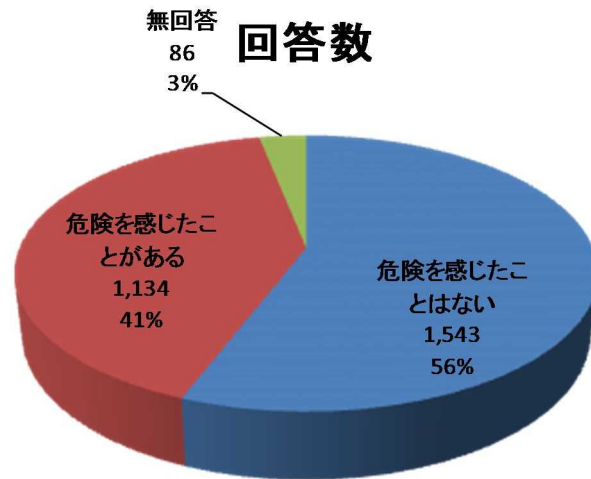
河川位置図



問3「問2で答えた川での大雨時の危険度認識」に関する集計結果

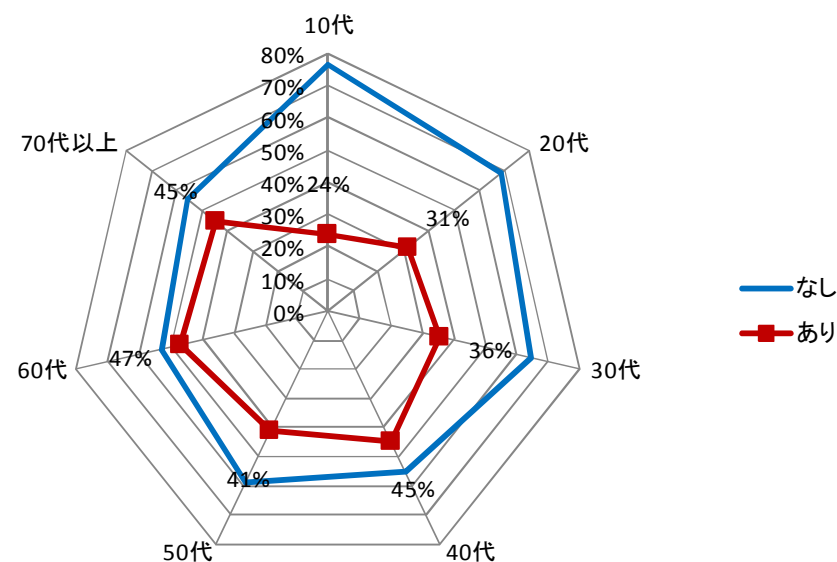
◆全数での危険度認識割合

	回答数	回答割合
危険を感じたことはない	1,543	56%
危険を感じたことがある	1,134	41%
無回答	86	3%
合計	2763	100%



◆年齢別集計

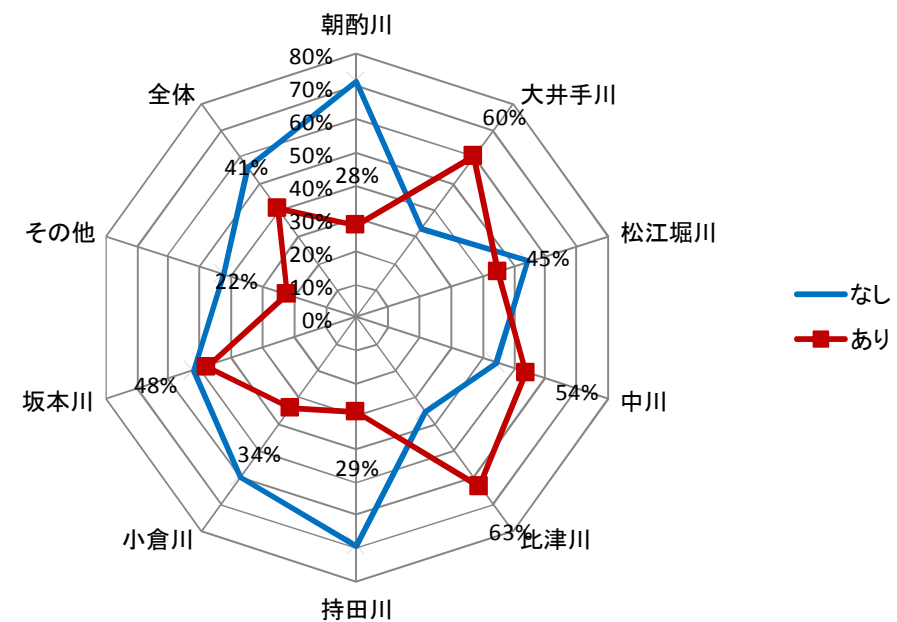
	回答数			回答割合	
	なし	あり	全体	なし	あり
10代	99	31	130	76%	24%
20代	57	26	83	69%	31%
30代	132	73	205	64%	36%
40代	217	175	392	55%	45%
50代	312	218	530	59%	41%
60代	340	300	640	53%	47%
70代以上	381	306	687	55%	45%
計	1538	1129	2667	58%	42%



◆河川別集計

	回答数			回答割合	
	なし	あり	全体	なし	あり
朝酌川	496	194	695	71%	28%
大井手川	5	9	15	33%	60%
松江堀川	659	540	1205	55%	45%
中川	87	106	196	44%	54%
比津川	104	187	295	35%	63%
持田川	82	34	118	69%	29%
小倉川	21	12	35	60%	34%
坂本川	13	12	25	52%	48%
その他	76	40	179	42%	22%
全体	1543	1134	2763	56%	41%

※その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



【集計結果の概要】

全体から見れば、危険を感じたことがあるとの回答が41%。

年齢別に見れば、

- ・すべての年代で危険を感じたことが無い人はある人より多い
- ・高齢世代に危険を感じた人の割合が多い

河川別に見れば、

- ・危険を感じたことがあるとの回答比率が 堀川、中川、比津川で多い
- ・朝酌川は危険を感じたことがないとの回答が圧倒的に多い

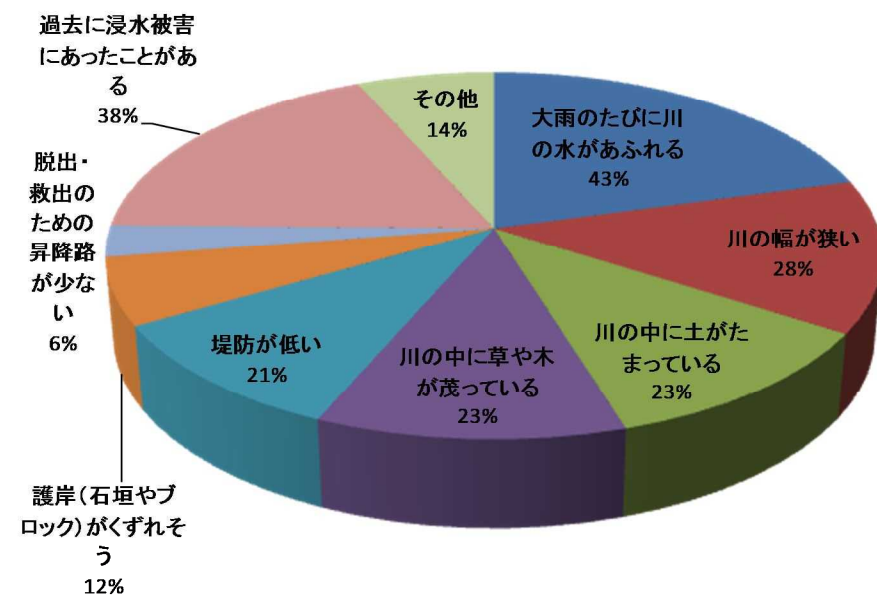


問4「問3で危険を感じる理由」に関する集計結果

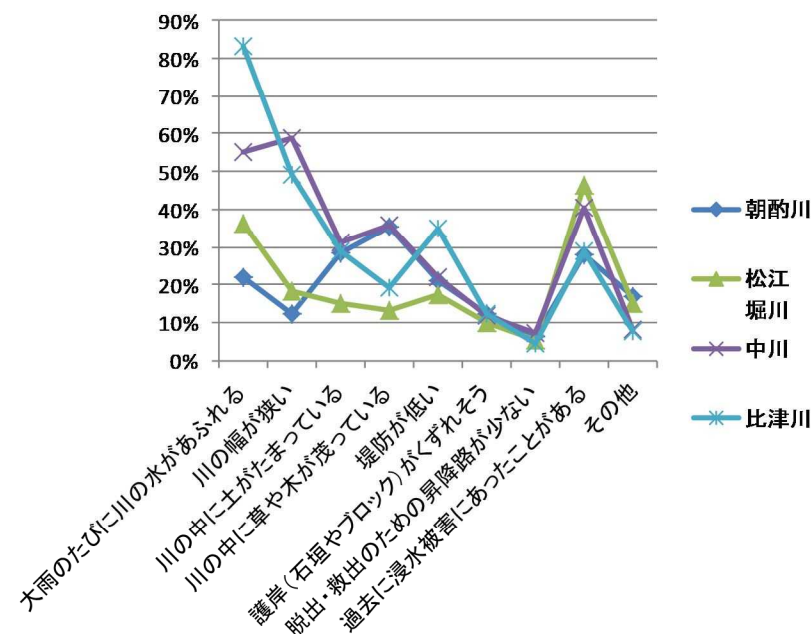
◆河川別、年齢別集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体
問4回答者数		193	9	536	109	187	35	14	11	43	1,137	30	25	70	172	216	303	316	5	1137
複数回答数の集計	1 大雨のたびに川の水があふれる	42	3	194	60	156	10	2	6	18	491	19	12	44	88	96	121	109	2	491
	2 川の幅が狭い	24	4	98	64	92	16	3	7	11	319	5	7	23	49	61	85	88	1	319
	3 川の中に土がたまっている	55	7	80	34	54	11	6	5	13	265	3	6	5	16	45	93	95	2	265
	4 川の中に草や木が茂っている	68	4	70	39	36	18	10	10	12	267	4	6	7	30	51	86	81	2	267
	5 堤防が低い	41	1	94	24	65	5	0	3	7	240	6	8	17	53	46	57	52	1	240
	6 護岸(石垣やブロック)がくずれそう	24	5	53	13	23	8	2	6	7	141	0	2	10	23	24	45	37	0	141
	7 脱出・救出のための昇降路が少ない	12	0	29	8	8	6	1	0	2	66	2	2	1	11	15	17	18	0	66
	8 過去に浸水被害にあったことがある	54	4	249	44	54	7	3	4	11	430	6	5	11	42	77	120	169	0	430
	9 その他	33	1	80	9	14	1	3	4	12	157	2	0	11	19	31	38	54	2	157
	10 全体	353	29	947	295	502	82	30	45	93	2,376	47	48	129	331	446	662	703	10	2376
複数回答者の数	1 大雨のたびに川の水があふれる	22%	33%	36%	55%	83%	29%	14%	55%	49%	43%	63%	48%	63%	51%	44%	40%	34%	40%	43%
	2 川の幅が狭い	12%	44%	18%	59%	49%	46%	21%	64%	30%	28%	17%	28%	33%	28%	28%	28%	28%	20%	28%
	3 川の中に土がたまっている	28%	78%	15%	31%	29%	31%	43%	45%	32%	23%	10%	24%	7%	9%	21%	31%	30%	40%	23%
	4 川の中に草や木が茂っている	35%	44%	13%	36%	19%	51%	71%	91%	32%	23%	13%	24%	10%	17%	24%	28%	26%	40%	23%
	5 堤防が低い	21%	11%	18%	22%	35%	14%	0%	27%	14%	21%	20%	32%	24%	31%	21%	19%	16%	20%	21%
	6 護岸(石垣やブロック)がくずれそう	12%	56%	10%	12%	12%	23%	14%	55%	19%	12%	0%	8%	14%	13%	11%	15%	12%	0%	12%
	7 脱出・救出のための昇降路が少ない	6%	0%	5%	7%	4%	17%	7%	0%	5%	6%	7%	8%	1%	6%	7%	6%	6%	0%	6%
	8 過去に浸水被害にあったことがある	28%	44%	46%	40%	29%	20%	21%	36%	27%	38%	20%	20%	16%	24%	36%	40%	53%	0%	38%
	9 その他	17%	11%	15%	8%	7%	3%	21%	36%	24%	14%	7%	0%	16%	11%	14%	13%	17%	40%	14%
	10 全体	183%	322%	177%	271%	268%	234%	214%	409%	232%	209%	157%	192%	184%	192%	206%	218%	222%	200%	209%

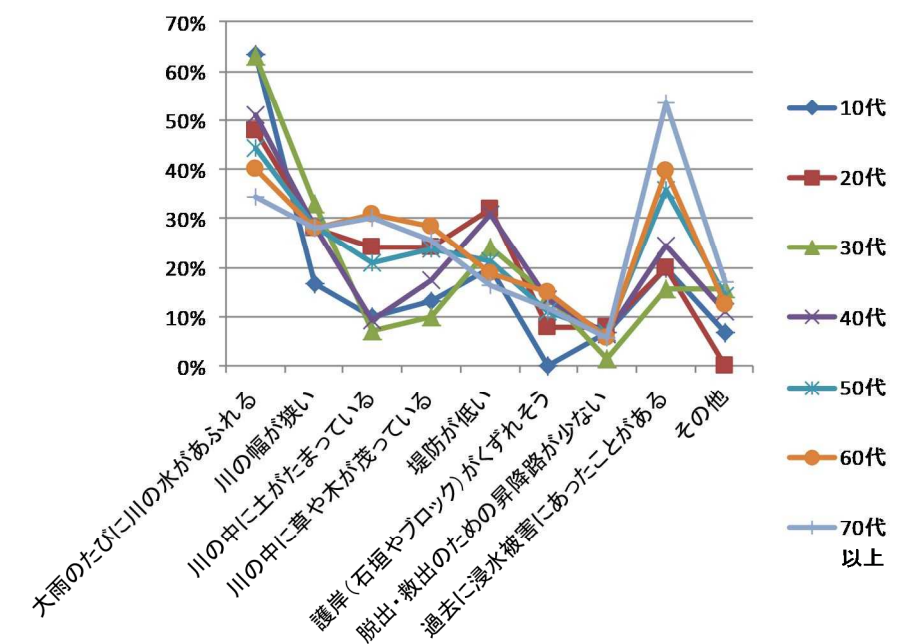
※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



河川別集計



年齢別集計



#### 【集計結果の概要】

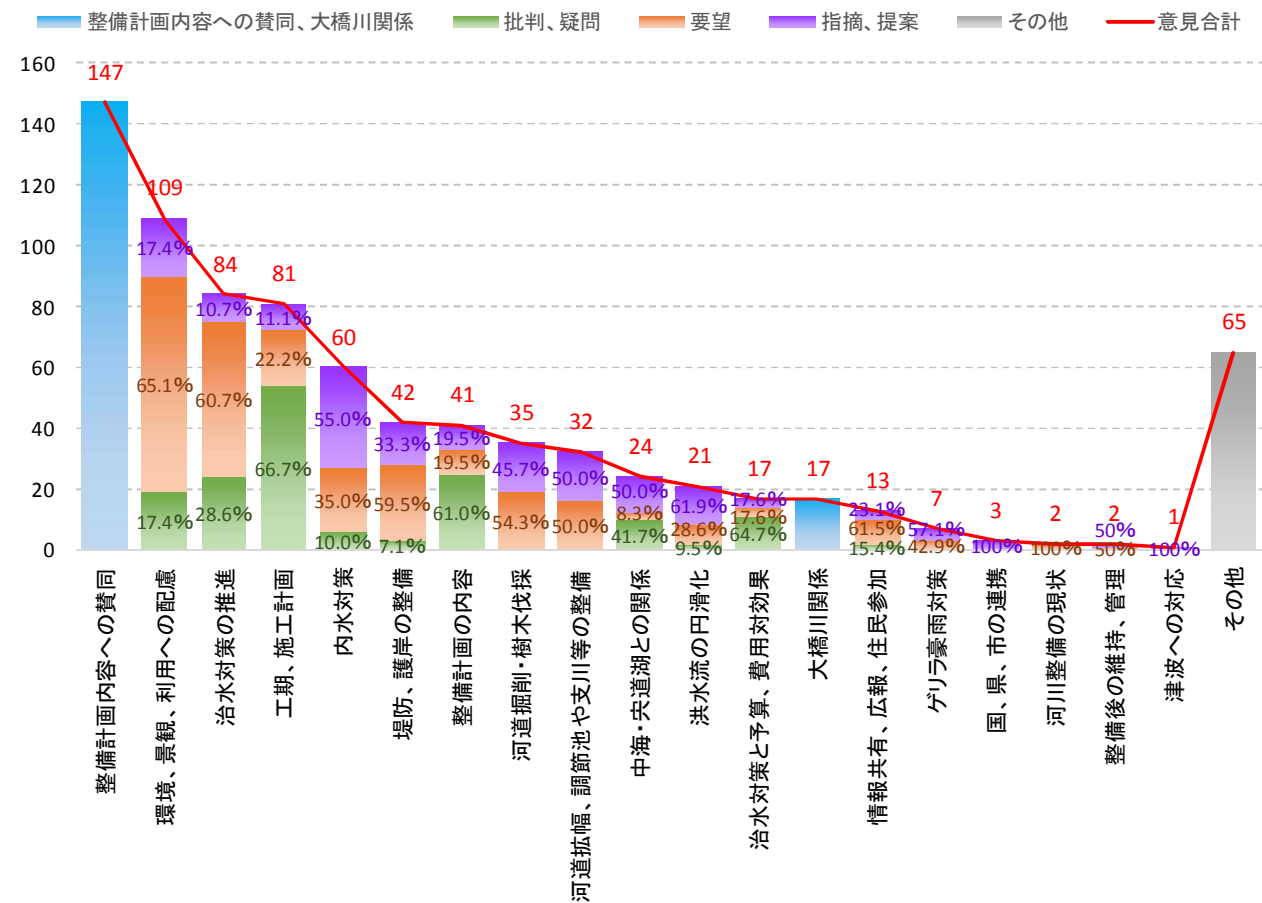
- ・「大雨のたびにあふれる」、「過去に浸水被害にあったことがある」の回答は、松江堀川、比津川、中川、朝酌川が多い
- ・「川の幅が狭い」の回答は松江堀川、中川、比津川が多い
- ・朝酌川は3河川に比べると、比率が低い -----> 改修済み区間が多いため
- ・「川の中に土が溜っている」、「草木が茂っている」の回答は、松江堀川、比津川、中川、朝酌川が多い

#### ◆その他意見の集約（青字は自由意見）

- 複数回答の人が多い → 危険を感じる要素が多くある
- 水位上昇についての意見
  - ・道路では、道路に水があふれ、車が水没しそうになり、大変危険を感じたことがある。河川では、雨が降るたび、あふれるのではないかと不安。
  - ・水の量が増えて流れが速くなるから周辺では、他・畑、大雨のたびに浸水被害あり。
- 構造改善についての意見
  - ・道路では、水が道路にあふれると非難に利用できる道路がない。河川では、一部の川幅は広いが、護岸整備がされていないので流水面が狭い。
- 地形状況についての意見
  - ・道路では、側溝から水があふれて道路が川になる。河川では、川辺に草や木が茂っていることがある。周辺では、土地の高低の差が殆ど無い為、降った雨の逃げ場が無い。
- 環境についての意見
  - ・河川では、ごみをすてる人がいる。周辺では、田が埋立てられ保水作用としての機能がなくなった。



問5「朝酌川流域の河川工事」に関する集計結果【記述設問】



項目	意見数			
	内訳	意見分類		
		批判、疑問	要望	指摘、提案
整備計画内容への賛同	147	18.3%	—	—
環境、景観、利用への配慮	109	13.6%	19	71
治水対策の推進	84	10.5%	24	51
工期、施工計画	81	10.1%	54	18
内水対策	60	7.5%	6	21
堤防、護岸の整備	42	5.2%	3	25
整備計画の内容	41	5.1%	25	8
河道掘削・樹木伐採	35	4.4%	0	19
河道拡幅、調節池や支川等の整備	32	4.0%	0	16
中海・宍道湖との関係	24	3.0%	10	2
洪水流の円滑化	21	2.6%	2	6
治水対策と予算、費用対効果	17	2.1%	11	3
大橋川関係	17	2.1%	—	—
情報共有、広報、住民参加	13	1.6%	2	8
ゲリラ豪雨対策	7	0.9%	0	3
国、県、市の連携	3	0.4%	0	0
河川整備の現状	2	0.2%	0	2
整備後の維持、管理	2	0.2%	0	1
津波への対応	1	0.1%	0	0
その他	65	8.1%	—	—
合計	803		156	254

※その他の「特になし」:78、「わからない」:42 は除外

◆集約意見 (1/3)

項目	分類	集約意見
整備計画内容への賛同 意見数(割合) 147 (18.3%)	-	・昨今の異常気象を考えると、水害対策として早急に治水工事を進めてほしい。
環境、景観、利用への配慮	批判・疑問 19	・動植物の生態に配慮した工事としてほしい。 ・現況の自然環境を極力保全し、改変は最小限としてほしい。 ・直線化でなく現況河道形態に基づいた計画としてほしい。 ・拡幅による景観や水質などの変化が懸念される。 ・松江北高グラウンドを調整池として整備、活用するためには、多くの課題がある。
	要望 71	・魚類・昆虫の生息に配慮して、三面コンクリートはやめ、穴あきブロックなどを使用してほしい。 ・できるだけコンクリートは使わず、石垣や敷石、植物を使って歴史的景観を保持してほしい。 ・歩道、親水公園、歩行者用の橋がほしい。 ・交融橋の架替にはいろいろな配慮が必要。 ・全面的に暗渠化し、その上を道路として利用する。 ・工事の際は、周辺利用者等に対して、安全面で十分な配慮をしてほしい。 ・街灯や監視カメラをつけてほしい。 ・水郷都市にふさわしい施設整備してほしい。 ・扇橋から街区公園まで、歩道を整備してほしい。 ・みしまや春日店、いない春日店横の市道を比津川浸水防止のため嵩上げてほしい。 ・城下町の風情に配慮した工事としてほしい。 ・朝酌川周辺は学校が多いので、登下校に配慮した整備をしてほしい。 ・工事期間が長いと、周辺での事業活動への影響も大きいと思われるので、対策をお願いしたい。
	指摘・提案 109 (13.6%)	・護岸工事により魚の溜まり場がなくなった。生態系への配慮が必要。 ・コンクリート護岸で景観が損なわれることが心配。 ・松江北高グラウンドを調整池とする案は、必要性は分かるが本来の利用目的に支障が出ないか心配。 ・市民にとって、もっと身近な存在となるような整備をしてほしい。 ・中川、比津川については、堤防道路を2車線にして交通対策も合わせて行ったり、遊歩道、自転車道の整備をしてはどうか。
治水対策の推進	批判・疑問 24	・河川工事よりも、土地利用の規制、防災・避難体制の整備等の施策による方が効果的である。 ・工事の着手が遅く、また、工事にも時間がかかりすぎている。 ・工事により、どのように改善されたのか、不明確である。 ・現状の整備状況で十分であると感ずる。
	要望 51	・北田川の普門院から国引き道路間の改修を急ぐべきだ。 ・比津川の改修工事を早期に着工し、短期間に完了させるべきだ。 ・上流部だけでなく、並行して下流部の改修も早急に進めるべきだ。 ・住民や通学路に近い区間は、早急に整備すべきだ。 ・向島川拡幅と水門、上追子川のポンプ増強、放水路新設工事等を急いでほしい。 ・四十間堀川の改修と放水路新設を急いでほしい。 ・坂本川中下流部の改修を急いでほしい。 ・松江市中心街の対策を優先してほしい。 ・中川の工事を早く進めてほしい。
	指摘・提案 84 (10.5%)	・昨今の気象状況(ゲリラ豪雨、大型台風等)を考えると、治水工事は大変重要である。 ・宅地開発を当面中止して河川改修を促進すべきだ。 ・黒田町キャスパル裏にある水路が気になり。 ・嵩山下の地水ダム付近の川の中流域の整備が必要。 ・比津川の改修工事が早急に必要。
工期、施工計画	批判・疑問 54	・計画の達成期間を短縮すべきだ。 ・より安価で、工期の短い代替案も検討すべきだ。 ・優先順位をつけて、効果的に進めてほしい。 ・工期や事業費について、一般の理解が得られるように説明してほしい。 ・工事には、地区住民の意見や要望を汲みとってほしい。
	要望 18	・早期に着工し、工期は短くしてほしい。 ・地権者への説明を早急に行ってほしい。 ・整備区間に優先順位をつけて効果的に工事を進めてほしい。 ・ゲリラ豪雨が多発している昨今、できるだけ早く工事を完了してほしい。
	指摘・提案 81 (10.1%)	・工期が長すぎる。
内水対策	批判・疑問 6	・黒田地区や松江中心部などの浸水は、河川工事のみでは防止できないと思う。
	要望 60 (7.5%)	・排水ポンプを増設すべきだ。 ・島大前、黒田町、東本町、平成ニュータウン、みしまや春日店南側などの早急な浸水対策を望む。 ・グリーンゴルフ場付近の住宅団地開発により、被害の発生が懸念される。 ・河川工事も重要だが、小規模な水路の改修を進めてほしい。

◆集約意見 (2/3)

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
内水対策	指摘・提案 33	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険地域の建物制限、遊水池の造成、土地の嵩上げ、側溝の拡幅等を図るべきだ。</li> <li>雨水浸透マスの設置を奨励してはどうか。</li> <li>喫緊の対策としてポンプによる排水は有効と思われる。</li> <li>堤防の嵩上げと水門による調整。</li> <li>四十間堀川の放水路を道路下に新設したことによる危険はないか。</li> <li>市成灘地区や黒田町付近では、早急な内水対策が必要だ。</li> <li>調節池による対策は有効と思われる。</li> </ul>
	42 (5.2%)	
堤防、護岸の整備	批判・疑問 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年浸水がないので、北堀川の堤防工事は必要はないと思う。</li> </ul>
	要望 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に朝酌川の堤防工事は必要である。</li> <li>比津川(特にみしまや春日店以北)の護岸整備・堤防の嵩上げを望む。</li> <li>堤防や護岸を強固なものにしてほしい。</li> <li>中、上流域でも護岸の新設や改修を進めてほしい。</li> <li>市成地区から下流の左岸側に護岸や堤防を整備してほしい。</li> </ul>
	指摘・提案 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の蛇行部の堤防の強化が必要。</li> <li>朝酌川下流部での堤防整備が急務である。</li> <li>堤防・護岸の新設や嵩上げが必要(朝酌川と剣先川に挟まれた中州、「いない」春日店前あたり、松崎島六区、市成周辺の朝酌川下流部)</li> </ul>
整備計画の内容	批判・疑問 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>斐伊川本川やダム、放水路等の整備が進んだ中で、これらの河川整備が本当に必要なのか疑問である。</li> <li>浸水を防止するだけでなく、ある程度は許容することも必要であり、そのための啓蒙を図るべきだ。</li> <li>着工時期を早め、工事期間を短縮すべきだ。</li> <li>過去とは社会環境や降雨状況が異なっており、これらの条件を見越した計画となっているのか。</li> <li>河川改修以外にも、もっと効果的な方法もしくは安価な方法があるのではないか。</li> </ul>
	要望 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地の工事も大事だが、田畑への溢水も考慮してほしい。</li> <li>年度別の計画策定を望む。</li> <li>抜本的な問題として、危険な地域を緩衝帯としておくなどの政策も必要だと思う。</li> <li>昭和47年7月の長期降雨を基準に目標値を設定するだけでなく、昨今の集中豪雨の影響を見越した計画を立ててほしい。</li> </ul>
	指摘・提案 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>四十間堀川放水路新設を最優先とすべきで、地下方式と掘削方式をコスト面、メンテナンス面から検討すべき。</li> <li>宍道湖治水や大橋川拡幅工事を含めた治水対策の全体像とその効果が分かりにくい。</li> </ul>
河道掘削・樹木伐採	批判・疑問 0	
	要望 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>川底の浚渫、草木の除去を定期的に行うべきだ。</li> <li>北田川の水深を、少なくとも1mぐらいにほしい。</li> </ul>
	指摘・提案 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の拡幅も重要だが、川底の浚渫も必要。</li> <li>土砂の堆積により中洲に草木が生えるので、草木の除去が必要。</li> </ul>
河道拡幅、調節池や支川等の整備	批判・疑問 0	
	要望 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>中川、四十間堀川支流の拡幅を望む。</li> <li>朝酌川の護岸工事を進めてほしい。</li> <li>向島、比津川では、調節池によって対応してはどうか。</li> <li>校庭の下に貯留するのは、良い方法だと思う。</li> </ul>
	指摘・提案 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>中流・上流域の拡幅では不十分であるし、下流の拡幅から着手するべきだ。</li> <li>北田川支流、持田川、中川の拡幅が必要。</li> <li>堀川→大橋川への放水路を増設すべき。</li> <li>ポンプによる強制排水等の対策も必要と思う。</li> </ul>
中海・宍道湖との関係	批判・疑問 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>四十間堀川放水路は、宍道湖の水位上昇に対応できるのか。</li> <li>過去の水害は宍道湖の水位上昇によるものであり、河川改修が効果的であるのか疑問だ。</li> <li>宍道湖の水位変動に対する整備計画の妥当性について、一般への説明が足りない。</li> </ul>
	要望 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>中海・宍道湖への放水路を造ってほしい。</li> <li>中海への排水を改善するために、大根島に通じる道路に切れ込みを入れたらどうか。</li> </ul>
	指摘・提案 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍道湖の増水による新たな浸水被害や、逆流による被害などが懸念される。</li> <li>比津川から山越えて佐陀川へ流し、さらに日本海へ排水する方法はとれないか。</li> </ul>
洪水流の円滑化	批判・疑問 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>上流の整備により、下流の負担を増加させるのではないか。</li> </ul>
	要望 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧市街地の河川はポンプに頼らず自然に流れる改修を望む。</li> <li>中川、比津川、四十間川等への放流と比津川側→佐陀川等への放流を検討してほしい。</li> </ul>
	指摘・提案 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>水草やヘドロの除去が必要。</li> <li>大内谷付近より下流には水田がなくなっているので、手具水門を閉める必要はないと思う。</li> <li>比津川の減水には、堀川のきめ細かい水位管理をしなくては、比津川水門のラバー堰を下げても効果がないと思う。</li> <li>北田川水門の運用に問題がある。</li> </ul>

◆集約意見 (3/3)

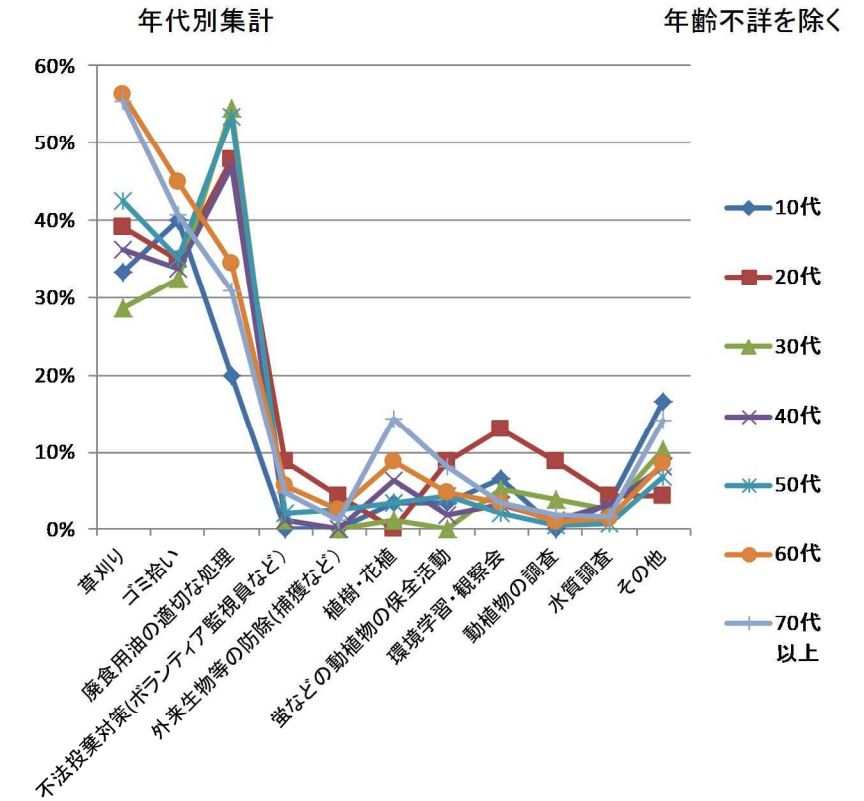
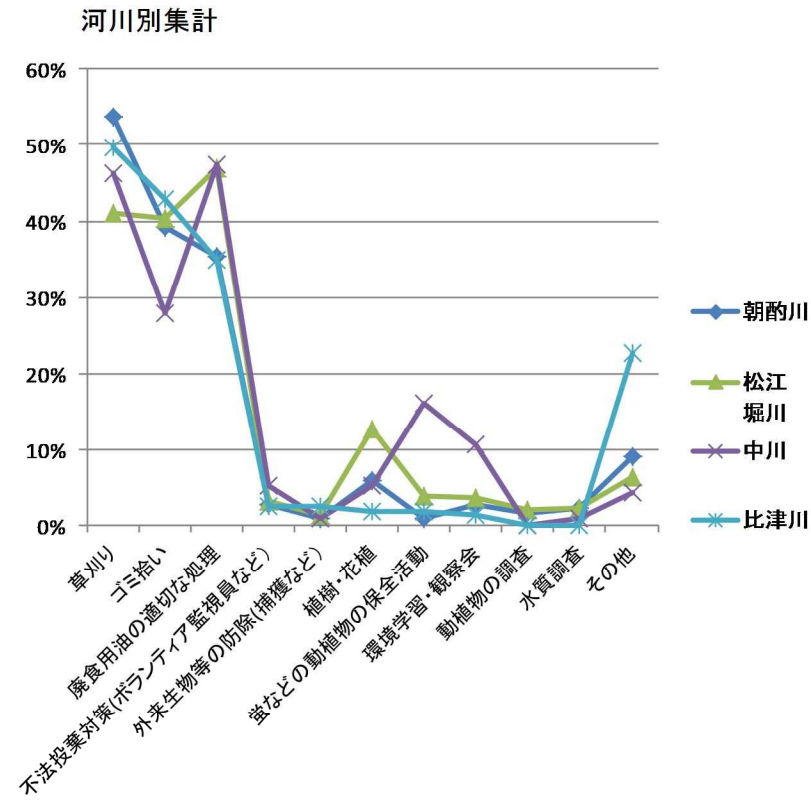
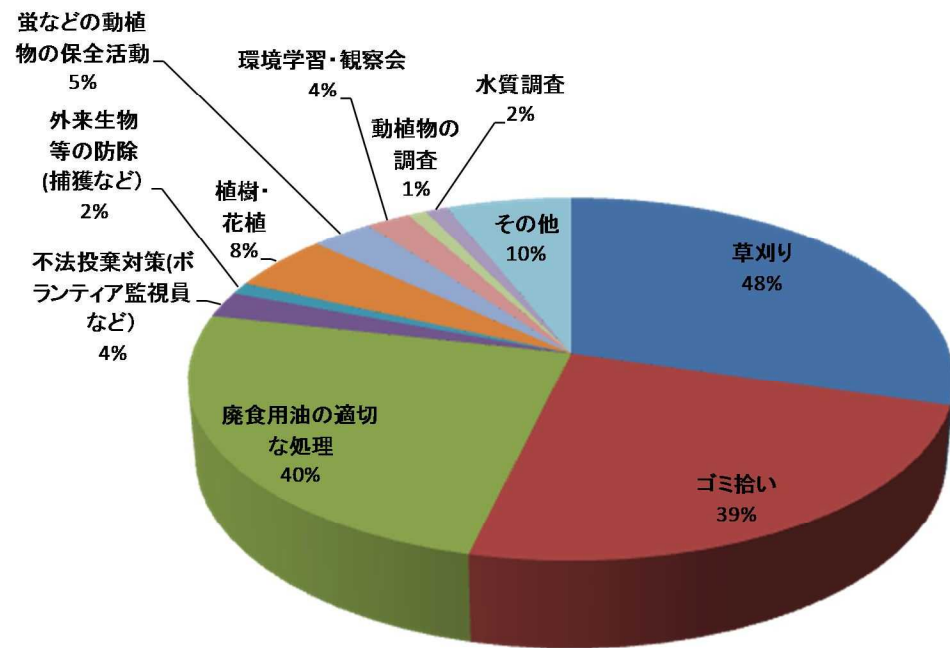
項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
治水対策と予算、費用対効果	批判・疑問 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果について、一般への説明が不足している。</li> <li>河川改修よりも、浸水を回避する土地利用や都市計画で対処すべきだ。</li> </ul>
	要望 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算は、優先順位をつけて抑え目にしてほしい。</li> <li>費用対効果を示してほしい。</li> </ul>
17 (2.1%)	指摘・提案 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総事業費を知りたい。</li> </ul>
大橋川関係	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>大橋川の拡幅は必要。</li> <li>神戸川へ分水すれば大橋川の改修は必要ない。</li> <li>根本的な問題として、まずは大橋川の改修を急ぐべきと思う。</li> </ul>
	17 (2.1%)	
情報共有、広報、住民参加	批判・疑問 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽山橋付近に、水位標を立ててほしい。</li> <li>工事の目的、着工時期、進捗状況等の情報を逐次提供してもらいたい。</li> <li>工事による被害の軽減効果を数量的に知りたい。</li> <li>近隣地区住民の要望を募って治水計画を策定し、その計画を住民にフィードバックすべきだ。</li> </ul>
	要望 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報が伝わっていない。</li> <li>改修工事による効果を具体的に知らせるべき。</li> </ul>
	指摘・提案 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事内容や効果等について、住民への説明が不足している。</li> </ul>
13 (1.6%)		
ゲリラ豪雨対策	批判・疑問 0	
	要望 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の災害例に囚われずに大きな被害を想定して対策してほしい。</li> </ul>
	指摘・提案 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲリラ豪雨に対する効果(雨量に対する安全度)を知りたい。</li> </ul>
7 (0.9%)		
国、県、市の連携	批判・疑問 0	
	要望 0	
	指摘・提案 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>他部署との連携が必要。</li> <li>内水排除は国に頼むべきだ。</li> </ul>
3 (0.4%)		
河川整備の現状	批判・疑問 0	
	要望 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事の前に、まず草刈をすべきだ。</li> </ul>
	指摘・提案 0	
2 (0.2%)		
整備後の維持、管理	批判・疑問 0	
	要望 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事後の維持・管理がもっと大事。</li> </ul>
	指摘・提案 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事後の維持・管理がもっと大事。</li> </ul>
2 (0.2%)		
津波への対応	批判・疑問 0	
	要望 0	
	指摘・提案 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>警報、避難の手順を策定すべき。</li> </ul>
1 (0.1%)		
その他	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットの記述が分かりにくい。</li> <li>アンケートの設問が漠然としていて分かりにくい。</li> <li>施設の老朽化対策をしっかりやってほしい。</li> </ul>
	65 (8.1%)	



問6「問2で答えた川の河川環境を保全・改善のための現在の取り組み」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	計		
問6回答者数		606	12	1069	180	262	101	28	20	99	2,377	116	81	197	366	492	574	542	9	2,377		
1つでも取り組んでいる		285	11	529	93	149	50	12	11	49	1,189	30	23	77	160	236	340	320	3	1,189		
何も取り組んでいない		321	1	540	87	113	51	16	9	50	1,188	86	58	120	206	256	234	222	6	1,188		
取組割合		47.0%	91.7%	49.5%	51.7%	56.9%	49.5%	42.9%	55.0%	49.5%	50.0%	25.9%	28.4%	39.1%	43.7%	48.0%	59.2%	59.0%	33.3%	50.0%		
複数回答数の集計	1 草刈り	153	10	217	43	74	28	5	11	28	569	1	10	9	22	58	100	191	177	2	569	
	2 ゴミ拾い	112	7	213	26	64	15	3	5	21	466	2	12	8	25	54	83	153	130	1	466	
	3 廃食用油の適切な処理	101	2	248	44	52	16	1	6	6	476	3	6	11	42	75	126	117	99	0	476	
	4 不法投棄対策(ボランティア監視員など)	8	2	17	5	4	2	1	3	2	44	4	0	2	1	2	5	19	15	0	44	
	5 外来生物等の防除(捕獲など)	3	2	8	1	4	0	1	1	1	20	5	0	1	0	0	6	9	4	0	20	
	6 植樹・花植	17	0	68	5	3	1	0	0	0	96	6	1	0	1	10	8	30	46	0	96	
	7 虫などの動植物の保全活動	3	0	21	15	3	7	4	0	0	58	7	1	2	0	3	10	16	26	0	58	
	8 環境学習・観察会	8	0	20	10	2	1	0	0	0	42	8	2	3	4	5	5	12	11	0	42	
	9 動植物の調査	5	0	11	0	0	0	1	0	0	17	9	0	2	3	2	1	3	6	0	17	
	10 水質調査	7	0	12	1	0	0	0	0	0	21	10	1	1	2	5	2	5	5	0	21	
	11 その他	26	1	34	4	34	5	4	0	0	117	11	5	1	8	13	16	29	45	0	117	
	12 全体	443	24	869	154	240	75	20	26	75	1,926	12	38	40	108	227	362	584	564	3	1,926	
／取り組んでいる回答者数	1 草刈り	54%	91%	41%	46%	50%	56%	42%	100%	57%	48%	1	33%	39%	29%	36%	42%	56%	55%	67%	48%	
	2 ゴミ拾い	39%	64%	40%	28%	43%	30%	25%	45%	43%	39%	2	40%	35%	32%	34%	35%	45%	41%	33%	39%	
	3 廃食用油の適切な処理	35%	18%	47%	47%	35%	32%	8%	55%	12%	40%	3	20%	48%	55%	47%	53%	34%	31%	0%	40%	
	4 不法投棄対策(ボランティア監視員など)	3%	18%	3%	5%	3%	4%	8%	27%	4%	4%	4	0%	9%	1%	1%	2%	6%	5%	0%	4%	
	5 外来生物等の防除(捕獲など)	1%	18%	2%	1%	3%	0%	8%	9%	0%	2%	5	0%	4%	0%	0%	3%	3%	1%	0%	2%	
	6 植樹・花植	6%	0%	13%	5%	2%	2%	0%	0%	0%	4%	8%	3%	0%	1%	6%	3%	9%	14%	0%	8%	
	7 虫などの動植物の保全活動	1%	0%	4%	16%	2%	14%	33%	0%	10%	5%	7	3%	9%	0%	2%	4%	5%	8%	0%	5%	
	8 環境学習・観察会	3%	0%	4%	11%	1%	2%	0%	0%	0%	2%	4%	8	7%	13%	5%	3%	2%	4%	3%	0%	4%
	9 動植物の調査	2%	0%	2%	0%	0%	0%	8%	0%	0%	1%	9	0%	9%	4%	1%	0%	1%	2%	0%	1%	
	10 水質調査	2%	0%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	10	3%	4%	3%	3%	1%	1%	2%	0%	2%
	11 その他	9%	9%	6%	4%	23%	10%	33%	0%	18%	10%	11	17%	4%	10%	8%	7%	9%	14%	0%	10%	
	12 全体	155%	218%	164%	166%	161%	150%	167%	236%	153%	162%	12	127%	174%	140%	142%	153%	172%	176%	100%	162%	

※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



【集計結果の概要】

- ・何も取り組んでいない人が50%
- ・主要4河川の取り組み状況の傾向は変わらない
- ・若い世代ほど取り組み割合が低い
- ・草刈り、ゴミ拾い、廃食用油の適切な処理が全体の48% 身近な取り組みが多い

◆その他意見の整理（青字は、自由意見）

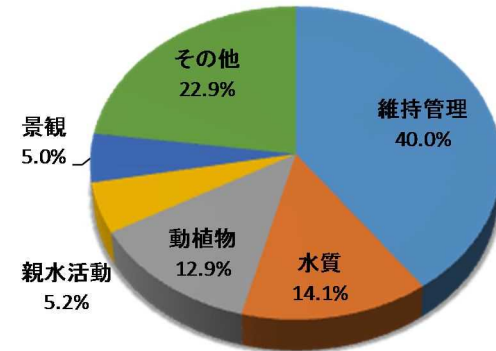
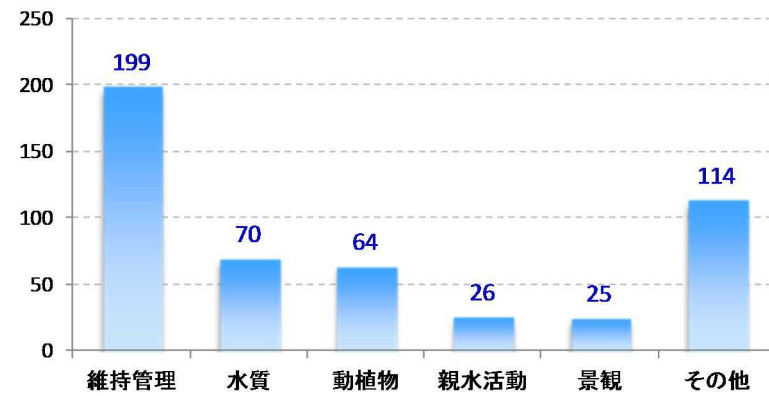
- 動植物に関する回答はなし
  - 水質について
    - ・「公共下水道への接続」、「コメのとぎ汁は下水には捨てない」
  - 景観について
    - ・クリーン松江の時、毎回協力
    - ・自治会で年1度側溝等の土砂さらい・草木の除去
- ※草刈、溝掃除は「クリーン松江」、「自治会」での作業と個人としてゴミを拾う、草を取るの意見が多くある



問7「河川環境の保全・改善のための今後取り組みたいこと」に関する集計結果【記述設問】

項目	意見数	河川別意見数										
		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	無回答	
維持管理	199	40.0%	62	0	71	21	24	10	4	2	5	0
水質	70	14.1%	15	0	41	2	8	2	0	0	2	0
動植物	64	12.9%	20	0	25	5	5	5	1	0	3	0
親水活動	26	5.2%	11	0	12	0	1	1	1	0	0	0
景観	25	5.0%	11	0	10	1	1	1	0	0	1	0
その他	114	22.9%	66	2	116	25	31	7	0	3	10	0
合計	498		185	2	275	54	70	26	6	5	21	0

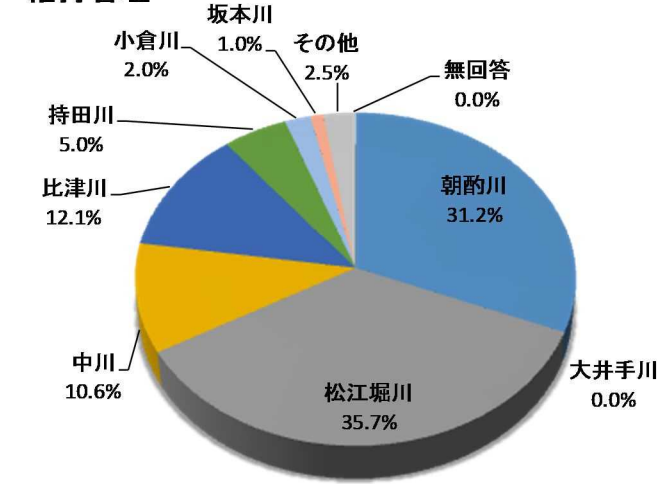
※その他の「特になし」:138、「わからない」:9は除外



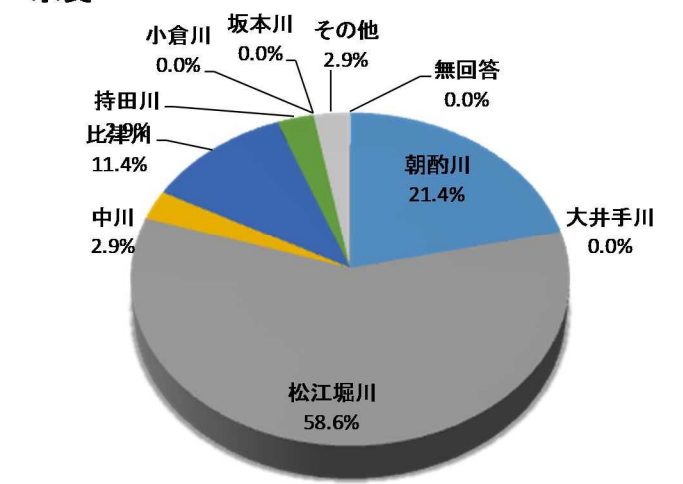
◆集約意見

項目	集約意見
意見数(割合)	
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草刈り・樹木の剪定やゴミ拾い、水草やヘドロの除去。</li> <li>・関係行政機関(松江市など)などへの要請活動。</li> <li>・川にゴミを捨てないこと。</li> <li>・河川愛護団の結成や見回り活動。</li> <li>・排水溝や水路のこまめな清掃。</li> </ul> <p>199 (40.0%)</p>
水質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃油・生活排水等の適切な処理</li> <li>・水質に関する調査・学習</li> <li>・川底の清掃など、水質の保全、向上活動</li> </ul> <p>70 (14.1%)</p>
動植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚類・水生昆虫・植物の保護のための調査・学習観察会</li> <li>・外来動植物の駆除</li> <li>・上流域の森林の整備</li> <li>・ホタルの保護、育成活動</li> <li>・生物の生息・生育環境の保全、再生</li> <li>・希少種、特定外来種などの周知、啓発</li> </ul> <p>64 (12.9%)</p>
親水活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川を知るためのイベント・堀川遊覧の促進</li> <li>・水辺利用、堀川遊覧を促進させる活動</li> <li>・川遊び、とんぼつり等の遊びの復活</li> <li>・ジョギング、散歩</li> </ul> <p>26 (5.2%)</p>
景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹、花植</li> <li>・草刈り</li> <li>・水郷都市としての景観の保全、美化活動</li> </ul> <p>25 (5.0%)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習・観察会への参加。</li> <li>・学校、地域で取り組むシステムづくり。</li> </ul> <p>114 (22.9%)</p>

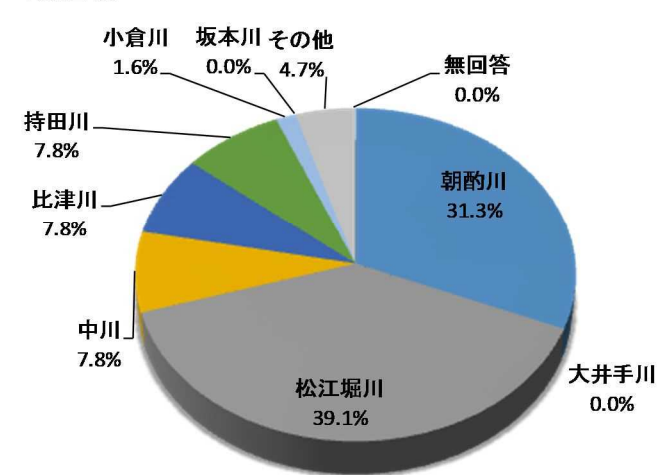
維持管理



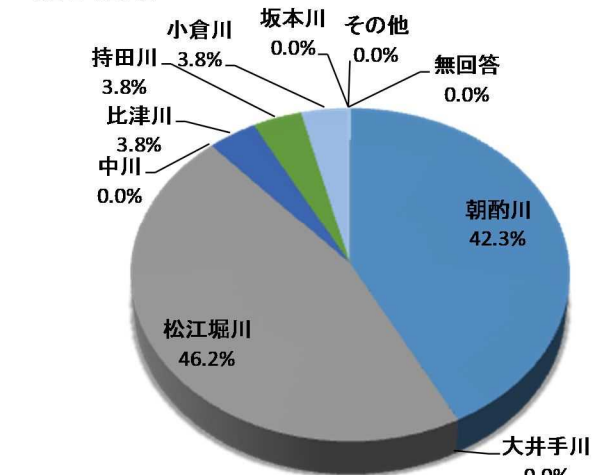
水質



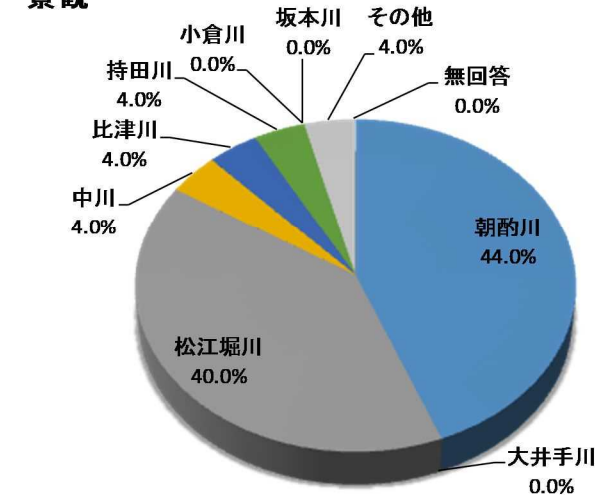
動植物



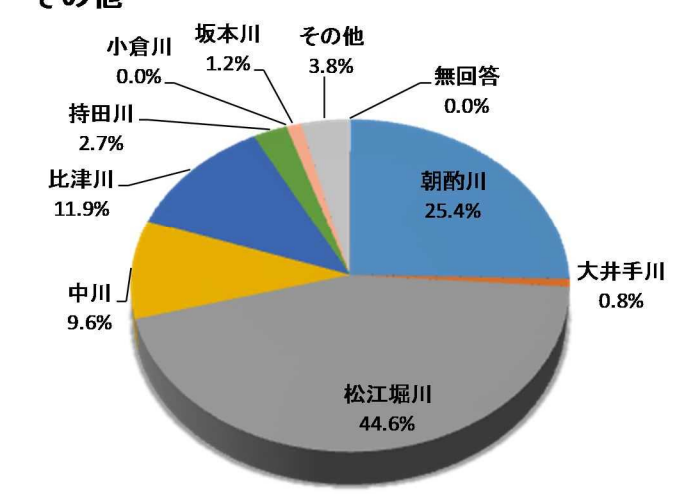
親水活動



景観

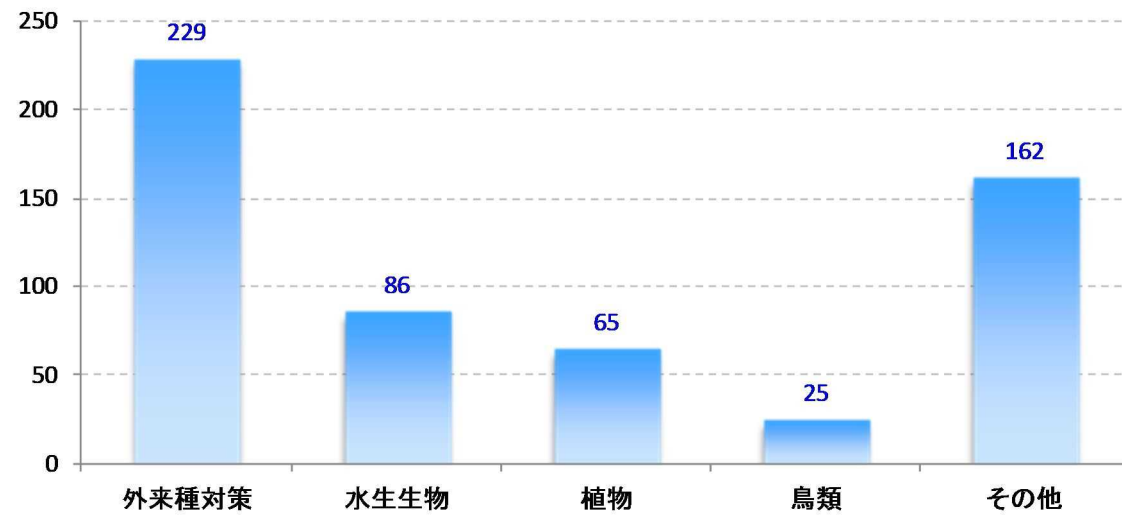


その他



問8「河川環境（動植物、水質、景観、その他）」に関する集計結果【記述設問】

1. 動植物



項目	意見数	割合
外来種対策	229	40.4%
水生生物	86	15.2%
植物	65	11.5%
鳥類	25	4.4%
その他	162	28.6%
合計	567	

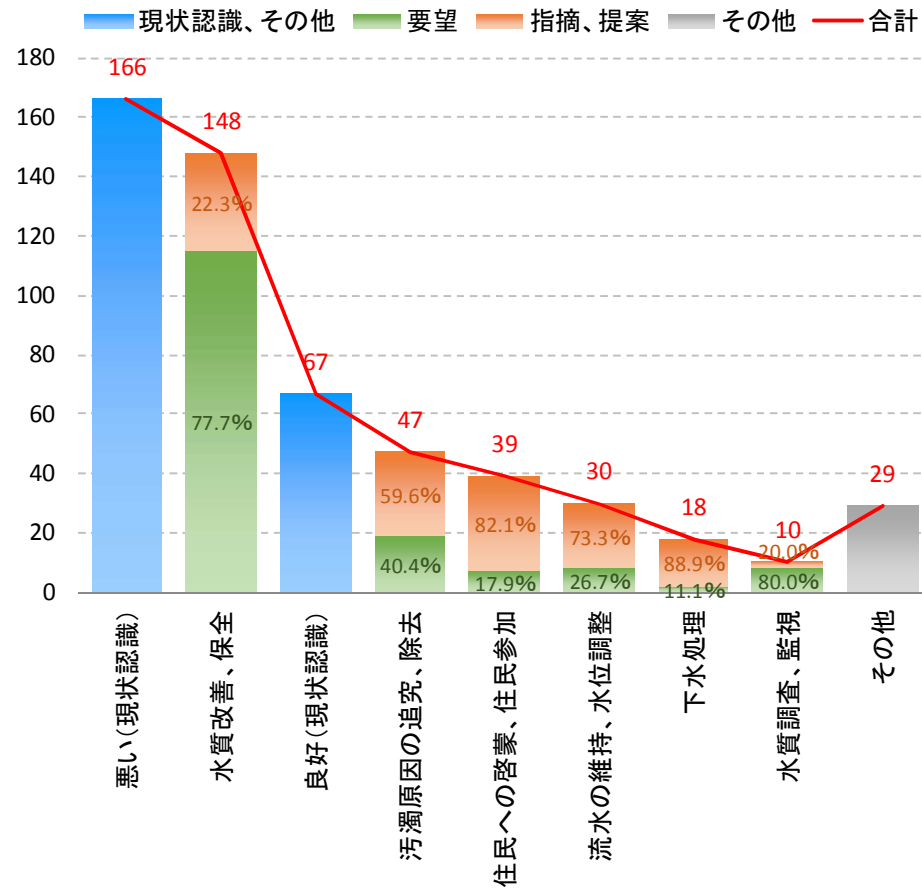
※その他の「特になし」: 41、「わからない」: 14 は除外

◆集約意見（動植物）

項目 意見数(割合)	集約意見
外来種対策 229 (40.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビラ、立て看板、釣り具屋等で外来魚のリリース禁止を注意喚起したり条例を作ってはどうか。</li> <li>・外来魚を釣った人に得点を与えて提出を促してはどうか。</li> <li>・飼育者に対して遺棄禁止のPR、監視体制・罰則を設けるなどしてはどうか。</li> <li>・現状を知らせるためにバス釣り大会を催してはどうか。</li> <li>・ヌートリア、ミシシッピーアカミミガメ、ワニガメ、カミツキガメを駆除してほしい。</li> <li>・バス、ブルーギル1kg当り100円で取り引きする等、具体的な対策をとってはどうか。</li> <li>・セイタカアワダチソウ、ブタクサ、オオキンケイギクを駆除してほしい。</li> <li>・外来植物駆除週間を設けてはどうか。</li> <li>・鵜を駆除してほしい。</li> <li>・行き過ぎた排除の取組みには反対。</li> <li>・オオクチバス、ブルーギル、オオキンケイギク等は「帰化動物・植物」として許容すべきだ。</li> </ul>
水生生物 86 (15.2%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水生生物が生息できる水質を保持すべきだ。</li> <li>・護岸にコンクリート張り以外に石垣を用い、草木を残し、魚礁や魚道を設けてほしい。</li> <li>・魚の減少には鳥害も関係しているのではないか。</li> <li>・シジミの減少には水草の発生が関係しているのではないか。</li> <li>・三面張りコンクリートの川底にいる生物を川掃除で取り除いてしまつてよいものか疑問だ。</li> <li>・ホタルの生息地の保全については、観察できるように整備するというものと、観察より生息を重視して整備しないでよいという意見がある。</li> <li>・朝酌川の水門を撤去して宍道湖と中海間を魚が行き来できるようにしてはどうか。</li> <li>・白魚、ウグイ、ハゼ、オイカワ、タナゴ、メダカ、ワタカ、コイ、フナ、ナマズ、ウナギ、サワガニ、ケガニ、ズボデガニ(モクスガニ)、エビが減少している。</li> <li>・セミ、トンボ、オンジヨ、ミト、オニヤンマ、サンショウウオ、カスミが減少している。</li> <li>・坂本川ではホタルが激減しており、老人ホームからの排水の影響と思われる。</li> <li>・北田川のホタルの保全に、尽力してもらいたい。</li> <li>・大井手川ではモクスガニが生息していたが、河川改修後にみられなくなった。</li> </ul>
植物 65 (11.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水草(藻)の異常繁茂を抑制してほしい。</li> <li>・草刈り、樹木の伐採を継続してほしい。</li> <li>・ヨシ、アシの生息域を広げてほしい。</li> <li>・水質を浄化するために有効な植物を植えるとよい。</li> <li>・周辺住民の協力を得て、草花を植えたらよい。</li> <li>・桜並木をつくったらよい。</li> <li>・マツやヤナギを植えると、松江らしさが向上すると思う。</li> </ul>
鳥類 25 (4.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸工事は、鳥類が生息できるよう土や草を残すようにしてほしい。</li> <li>・鵜、アオサギ、カラス、渡り鳥の増加には問題がある。</li> <li>・シラサギ、アオサギ、オオヨシキリが見られなくなった。</li> </ul>
その他 162 (28.6%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物の管理・保護に関して専門家や教育機関・行政によるアドバイス、広報活動、学習会・イベント、親水公園の整備などが望まれる。</li> <li>・河川や河川敷の草刈り、ゴミ取り、川底の改善、水質改善を進めるべき。</li> <li>・害虫、外来種の駆除が必要だ。</li> <li>・すべての河川で人工的に環境保全する必要はない。</li> </ul>



## 2. 水質



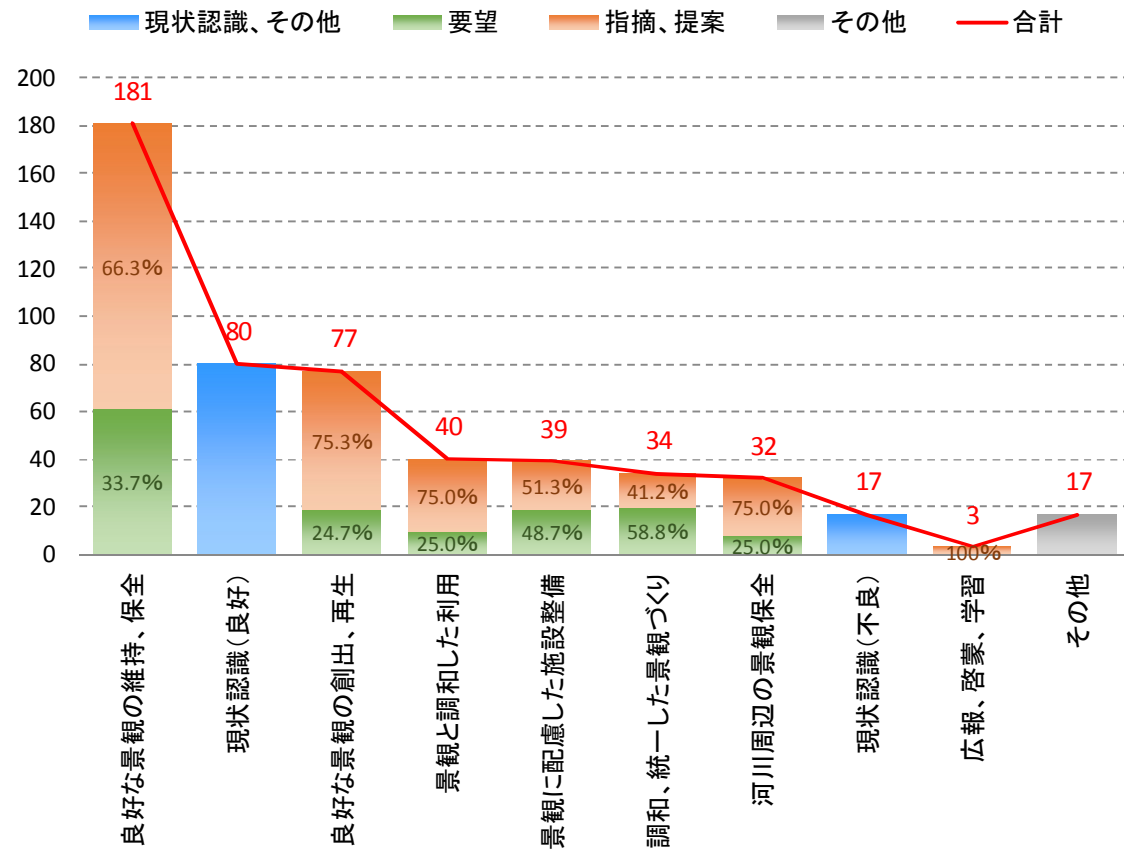
項目	意見数			
	内訳	意見分類		
		要望	指摘、提案	合計
悪い(現状認識)	166	30.0%	—	—
水質改善、保全	148	26.7%	115	33
良好(現状認識)	67	12.1%	—	—
汚濁原因の追及、除去	47	8.5%	19	28
住民への啓蒙、住民参加	39	7.0%	7	32
流水の維持、水位調整	30	5.4%	8	22
下水処理	18	3.2%	2	16
水質調査、監視	10	1.8%	8	2
その他	29	5.2%	—	—
合計	554		159	133

※その他の「特になし」:33、「わからない」:12 は除外

## ◆集約意見（水質）

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
悪い (現状認識) 166 (30.0%)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>流れが弱い場所や時期に濁りや悪臭、アオコの発生がある。</li> <li>生活排水やゴミによる汚染がある。</li> <li>観光資源として重要な堀川の水質が悪い。</li> </ul>
水質改善、保全 148 (26.7%)	要望 115	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域管理をしてほしい。</li> <li>宍道湖、松江堀川、百足橋の北西側の水門の北西側、川津地区の朝酌川の水質を改善してほしい。</li> <li>飲料水になるくらいの水質に改善してほしい。</li> <li>子どもが遊べるくらいの水質に改善してほしい。</li> <li>堀川の水質を改善してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 33	<ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物の調査を実施し、公表してほしい。</li> <li>汚排水の監視を徹底すべき。</li> <li>すべての河川で行う必要はなく、選択が必要である。</li> <li>支流、本流を含めた全体の水質浄化活動が必要。</li> <li>宍道湖の対策も重要と思う。</li> </ul>
良い、やや良い (現状認識) 67 (12.1%)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道の整備のおかげで良くなっていると思う。</li> <li>水底が見えるようになった。</li> <li>住宅地としては限界があり、この程度で良いと思う。</li> <li>概ね良くなっていると思うが、夏季など、季節により悪化することがある。</li> </ul>
汚濁原因の追及、除去 47 (8.5%)	要望 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>アオコの発生原因を究明してほしい。</li> <li>川底のヘドロを除去してほしい。</li> <li>下水道利用の促進、汚排水の規制等の施策に取り組んでほしい。</li> <li>近年、水草の異常発生がみられるので対策をお願いしたい。</li> </ul>
	指摘、提案 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>合成洗剤の使用禁止、家庭排水・工業排水の監視と住民への開示が必要。</li> <li>汚泥、ゴミ、草の除去、不法投棄の防止が必要。</li> <li>シジミやアン・ヨシ等の動植物の水質浄化機能の利用。</li> <li>噴水の曝気作用による水質浄化。</li> </ul>
住民への啓蒙、住民参加 39 (7.0%)	要望 7	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民に水質の現状(各河川のPH値等)や、住民ができる取り組みを考えてほしい。</li> <li>水質保全に対する市民への啓蒙を、より活発にしてほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 32	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の意識を高めるための情報提供・学習会、学校教育が必要。</li> <li>住民によるゴミ拾い、草取り等の活動、排水への注意が必要。</li> </ul>
流水の維持、水位調整 30 (5.4%)	要望 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>水門の開閉を増やして宍道湖との水の循環を高めてほしい。</li> <li>堀川の水位調整を行ってほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍道湖と水を循環させるために水門を開くべきで、汽水域が拡大すれば水質も改善すると思う。</li> <li>ポンプで水の流れを作り、浄化装置も取り付けしてほしい。</li> </ul>
下水処理 18 (3.2%)	要望 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道の利用を促してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道利用・下水処理施設の設置を促し、違反を取り締まる。</li> <li>し尿はトイレに流さず田畑に還元すべき。</li> </ul>
水質調査、監視 10 (1.8%)	要望 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>水質調査の結果(COD値も含む)を公表してほしい。</li> <li>ホタルの生息可能な水質の維持を目標に行ってほしい。</li> <li>専門家による集中的な改良を望む。</li> </ul>
	指摘、提案 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>宍道湖の汽水の水質メカニズムの調査・研究が必要。</li> <li>BODだけでなく、透明度や水色、臭いなどにも注目すべき。</li> </ul>
その他 29 (5.2%)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>H10年以前からの長期データを示してほしい。</li> <li>BOD値だけでなくCOD、DOの表層、中層、低層の値、年間での変動も示してほしい。</li> </ul>

3. 景観



項目	意見数			
	内訳	意見分類		
		要望	指摘、提案	
良好な景観の維持、保全	181	34.8%	61	120
現状認識(良好)	80	15.4%	—	—
良好な景観の創出、再生	77	14.8%	19	58
景観と調和した利用	40	7.7%	10	30
景観に配慮した施設整備	39	7.5%	19	20
調和、統一した景観づくり	34	6.5%	20	14
河川周辺の景観保全	32	6.2%	8	24
現状認識(不良)	17	3.3%	—	—
広報、啓蒙、学習	3	0.6%	0	3
その他	17	3.3%	—	—
合計	520		137	269

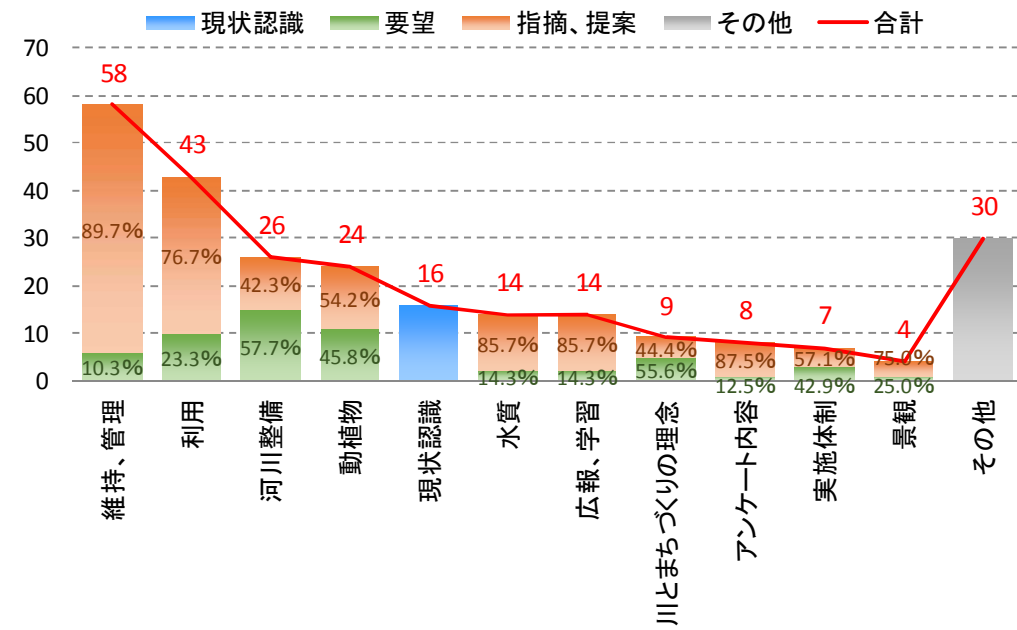
※その他の「特になし」:41、「わからない」:9 は除外

◆集約意見（景観）

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
良好な景観の維持、保全	要望 61	・ゴミ捨ての見回り、草刈り、枯れ木の除去をしてほしい。 ・低コストに抑えてほしい。 ・自然を保全することが良好な景観につながる。 ・現在の歴史的景観を維持して、これ以上工事はしないでほしい。 ・アシのある風景を保全してほしい。
	指摘、提案 120	・草刈り、枯れ木の伐採、ゴミ拾いを行政や住民が行うべきだ。 ・放置されている舟や舟小屋を撤去すべき。 ・ポイ捨て禁止の看板を増やしたり、ダミーの監視カメラを設置してはどうか。 ・外来植物の繁茂が問題。 ・維持費を確保してほしい。 ・自然のままに維持するのがよい。
良好(現状認識)	80 (15.4%)	・四季折々の花木、歴史的景観が楽しくて良い。 ・水が清ければ最高の景観。 ・草刈りが定期的に行われていてよい。 ・夕日が川面に映り美しい。 ・行政のとくみもあって、向上したと思う。 ・堀川沿川が良好である。 ・景観保全にとりくまれている地域の方々に感謝している。
良好な景観の創出、再生	要望 19	・桜並木を造ってほしい。 ・川の水をきれいにしてほしい。 ・川の蛇行をうまく生かしてほしい。
	指摘、提案 58	・土手に桜や柳を植えたり花壇を造る。 ・水質を改善して濁りや藻の大量発生を防ぐ。 ・歴史的景観を復活させる。 ・維持管理の予算を確保し、ボランティアを補助してはどうか。 ・植樹は個人配布せずに町内会で行ってはどうか。
景観と調和した利用	要望 10	・親水公園、遊歩道等、川と親しむ施設を造ってほしい。
	指摘、提案 30	・親水のための遊歩道、公園を整備してほしい。 ・桜の花見などのイベントを開催してはどうか。
景観に配慮した施設整備	要望 19	・なるべくコンクリートを使用しないで、石積みを活用してほしい。 ・景観を守るためにも堤防は最小限にしてほしい
	指摘、提案 20	・護岸整備にはコンクリート等の人工物ではなく、歴史的石垣を修復したり玉石・木杭・植栽等を使用したりすべきだ。 ・中川では景観地区以外ではコンクリート護岸が多くなるので、景観を統一してほしい。 ・堤防は景観を損なわない高さにすべきだ。 ・水面の夜間照明にももう少し工夫がほしい。 ・景観に配慮した手すりを設置してほしい。 ・川土手の樹木も大事にしてほしい。
調和、統一した景観づくり	要望 20	・水の都松江として、城下町の街並みと調和した景観が望まれる。 ・画一的にせず、松江としての独自性を強調してほしい。
	指摘、提案 14	・中川では景観地区以外ではコンクリート護岸が多くなるので、景観を統一してほしい。 ・観光地以外では景観に配慮がない。 ・観光ルートでは重点的、連続的に水辺空間を形成した方がよい。 ・観光や一般住民かなど利用形態を考慮した景観づくりが必要だ。 ・生活空間の中にある水辺というのが、松江の景観形成の特長だ。
河川周辺の景観保全	要望 8	・美観地区にして保全してほしい。 ・河川と一体となった良好な景観を、これからも維持・保全してほしい。
	指摘、提案 24	・高層ビルは法律で規制すべきだ。 ・歩道、古い街並みを趣のあるものに変えてはどうか。 ・「伝統美観保存区域」内の道路は狭いほうがよい。 ・すべての建物を瓦葺や白壁にしなくてもよいのではないか。 ・ゴミ収集日のゴミの集積場を工夫してはどうか。
不良(現状認識)	17 (3.3%)	・藻やアシ・ヨシの繁茂、水の濁りが見苦しい。 ・観光資源である割に、堀川は汚いと思う。
広報、啓蒙、学習	要望 0	
	指摘、提案 3 (0.6%)	・もっとPRが必要。
その他	17 (3.3%)	・文化財の調査と保存を進めていく。 ・堀川の松の排ガス被害に配慮が必要ではないか。



4. その他



項目	意見数			
	内訳	意見分類		
		要望	指摘、提案	その他
維持、管理	58	22.9%	6	52
利用	43	17.0%	10	33
河川整備	26	10.3%	15	11
動植物	24	9.5%	11	13
現状認識	16	6.3%	-	-
水質	14	5.5%	2	12
広報、学習	14	5.5%	2	12
川とまちづくりの理念	9	3.6%	5	4
アンケート内容	8	3.2%	1	7
実施体制	7	2.8%	3	4
景観	4	1.6%	1	3
その他	30	11.9%	-	-
合計	253		56	151

※その他の「特になし」:51、「わからない」:7 は除外

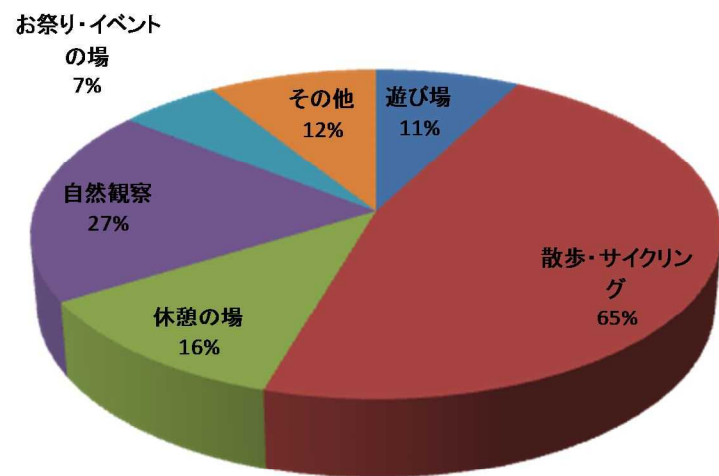
◆集約意見（その他）

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
維持、管理 58 (22.9%)	要望 6	・川底の浚渫、護岸の土や立木の撤去を至急やってほしい。
	指摘、提案 52	・安全のために、歩道を拡幅や舗装、柵や照明の設置、定期的な草刈り・樹木の剪定、清掃が必要。 ・ゴミの不法投棄に注意を喚起するため、清掃イベント・看板等によるPRや罰則強化が必要。 ・ベンチの修理。
利用 43 (17.0%)	要望 10	・川に親しめる場所、歩道がほしい。
	指摘、提案 33	・親水公園、遊歩道、サイクリングロードがほしい。 ・遊歩道に距離標を設置し、ベンチを増やしてほしい。 ・宍道湖と堀川を一周できる遊覧船のルート、堀川遊覧船の無料乗車券等を望む。 ・観光都市としてバス交通を止めて水上交通にしてはどうか。 ・堤防掘付道路は、通学路や避難路としての利用を視野に整備してほしい。 ・幅の狭い河川は、蓋をして歩道として活用してはどうか。 ・防火用水の取水設備を河川に造れないか。 ・中洲を街づくりの一環として活用してはどうか。 ・手具水門を撤去して、朝酌川をシジミの漁場にしてはどうか。
河川整備 26 (10.3%)	要望 15	・全河川、湖に整備は必要。 ・短期間で完了させてほしい。 ・環境・景観を保全しつつ、早急に危険個所に着手してほしい。 ・すべての河川で行う必要はない。 ・環境・景観保全よりも治水対策を最優先してほしい。 ・自然のままが良く、新たな堤防は不要。 ・遺跡に配慮してほしい。
	指摘、提案 11	・まずは治水工事を第一とすべきで、必要以上に経費をかけるべきではない。(河川環境は二の次である。) ・人間が自然を治めるのではなく、人間が自然にあわせるという考え方が重要だ。
動植物 24 (9.5%)	要望 11	・動植物に悪影響の出ないように環境保全に配慮してほしい。(・外来種を駆除して在来種を守ってほしい。)
	指摘、提案 13	・施設と自然環境の調和を図ってほしい。 ・護岸にはコンクリートやブロックを使用しないでほしい。 ・動物が見えるよう川辺の草を刈ってほしい。 ・ホタルを飼育してはどうか。 ・特定外来生物について松江市独自の条例等を設けてはどうか。
現状認識 16 (6.3%)	-	・良くなっている。 ・水質、水量が悪化している。 ・現状のままでよい。
水質 14 (5.5%)	要望 2	・生活排水等への対策をして水質を改善してほしい。
	指摘、提案 12	・小水路を含む水質管理。 ・四十間堀、東茶町裏の舟泊付近の流れを良くしてほしい。 ・下水道利用の促進。 ・ヘドロの除去。 ・行政による産廃施設、工場等の定期的な監視。 ・水質を悪化させない洗剤と浄化微生物の開発。
広報、学習 14 (5.5%)	要望 2	・水の都・松江の情報を発信してほしい。
	指摘、提案 12	・小・中学校の授業で堀川遊覧や河川散策をして川を学ばせてはどうか。 ・朝酌川に特化した動植物・景観を広報してほしい。 ・遺跡や川津のかっぱ伝説を紹介して歴史も伝えるべきだ。
川とまちづくりの理念 9 (3.6%)	要望 5	・自然と人が共生する町を目指す。 ・松江の良さ、松江らしさを生かす。 ・水害のない安全な町を目指す。
	指摘、提案 4	・「水の都・松江」を掲げて努力すべきだ。 ・環境より防災を主とすべきだ。
アンケート内容 8 (3.2%)	要望 1	・リーフレットの内容が設問に対応していない。
	指摘、提案 7	・説明が不十分で、設問の意味が分からない。 ・関係区域ごとの情報や具体的な図面が必要。
実施体制 7 (2.8%)	要望 3	・行政区域や担当部署の横断的なプロジェクトチームを設けて、速やかに進めてほしい。
	指摘、提案 4	・専門家による学習会やイベントを開催して、市民の意見を吸い上げるべきだ。 ・一般公募員の活用など、学生や住民が参加した保全体制の構築。
景観 4 (1.6%)	要望 1	・水の流れているところが見たい。
	指摘、提案 3	・桜並木を造る。 ・ヘドロ、ゴミ、草の除去によって水質を改善する。
その他 30 (11.9%)	-	・田畑の利用者、定住者を増やさなければ河川環境の管理ができなくなる。

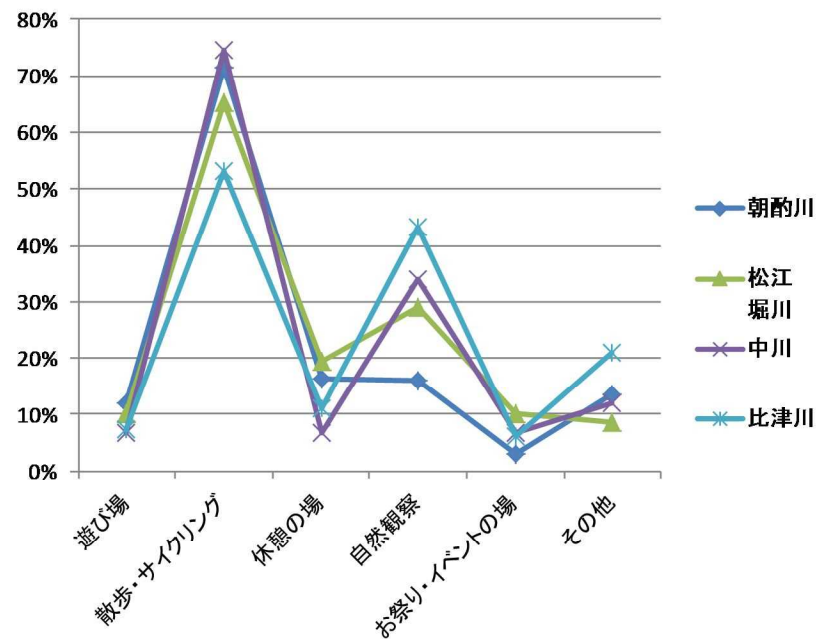
問9「問2で答えた川での普段の利用」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	計
問9回答者数		606	11	1064	171	262	103	27	21	88	2,353	118	79	194	361	497	557	537	10	2353
1つでも利用している		298	7	519	59	81	42	12	8	23	1,049	25	32	98	138	185	282	284	5	1049
利用していない		308	4	545	112	181	61	15	13	65	1,304	93	47	96	223	312	275	253	5	1304
利用割合		49.2%	63.6%	48.8%	34.5%	30.9%	40.8%	44.4%	38.1%	26.1%	44.6%	21.2%	40.5%	50.5%	38.2%	37.2%	50.6%	52.9%	50.0%	44.6%
複数回答数の集計	1 遊び場	36	1	53	4	6	6	1	0	5	112	3	5	10	17	19	28	28	2	112
	2 散歩・サイクリング	213	1	338	44	43	26	6	3	5	679	10	23	60	81	125	181	196	3	679
	3 休憩の場	49	0	101	4	9	1	2	0	3	169	3	5	22	19	35	37	47	1	169
	4 自然観察	48	1	150	20	35	15	4	2	5	280	5	9	27	40	51	71	77	0	280
	5 お祭り・イベントの場	9	1	53	4	5	1	2	0	3	78	4	4	10	13	12	20	15	0	78
	6 その他	40	5	44	7	17	6	1	3	8	131	7	2	9	14	18	42	39	0	131
	7 全体	395	9	739	83	115	55	16	8	29	1,449	32	48	138	184	260	379	402	6	1449
複数回答者の人の割合	1 遊び場	12%	14%	10%	7%	7%	14%	8%	0%	22%	11%	12%	16%	10%	12%	10%	10%	10%	40%	11%
	2 散歩・サイクリング	71%	14%	65%	75%	53%	62%	50%	38%	22%	65%	40%	72%	61%	59%	68%	64%	69%	60%	65%
	3 休憩の場	16%	0%	19%	7%	11%	2%	17%	0%	13%	16%	12%	16%	22%	14%	19%	13%	17%	20%	16%
	4 自然観察	16%	14%	29%	34%	43%	36%	33%	25%	22%	27%	20%	28%	28%	29%	28%	25%	27%	0%	27%
	5 お祭り・イベントの場	3%	14%	10%	7%	6%	2%	17%	0%	13%	7%	16%	13%	10%	9%	6%	7%	5%	0%	7%
	6 その他	13%	71%	8%	12%	21%	14%	8%	38%	35%	12%	28%	6%	9%	10%	10%	15%	14%	0%	12%
	7 全体	133%	129%	142%	141%	142%	131%	133%	100%	126%	138%	128%	150%	141%	133%	141%	134%	142%	120%	138%

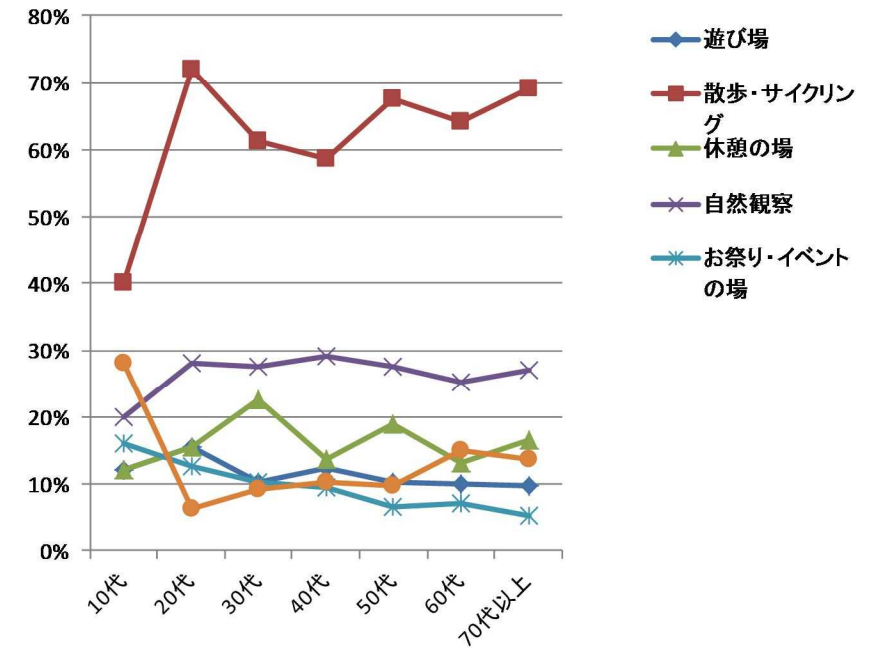
※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



河川別集計



年代別集計



【集計結果の概要】

- ・利用している割合が45%
- ・河川別では自然観察を除き、大きな傾向の違いはみられない
- ・年齢別では10代を除き大きな傾向の違いはみられない
- ・散歩・サイクリング・自然観察での利用が多い
- ・お祭り・イベントの場・休憩の場として利用が少ない

◆その他意見の集約（青字は自由意見）

- 「その他」の回答では、農業利用、通勤通学の回答が多くみられる。

項目	回答数	割合
農業利用	33	26%
漁業関係者	7	5%
通勤・買物	30	23%
自然観察、休憩の場、釣り	12	9%
散歩、ウォーキング	7	5%
堀川遊覧船	10	8%

自由意見として、

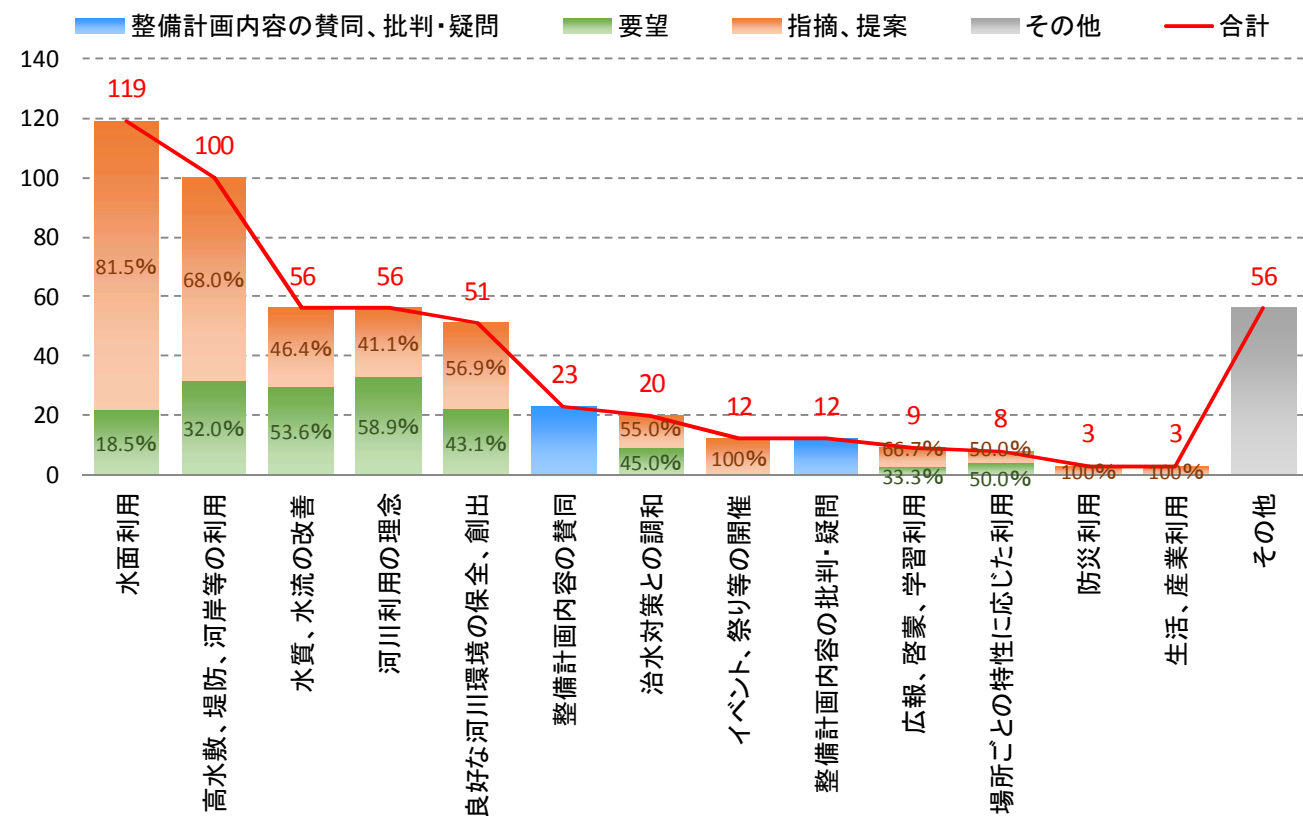
- ・利用はしていないが季節の花・草などを通る度にながめられてうれしい（買物などのとき）
- ・魚とり、えびとり、子供が川で魚取りをして遊んでいることが多くなった。
- ・友人が来れば舟にのせたり、ほぼ毎日通勤時に眺めたり、夕日や夜景がキレイなときは立ち止まって写真撮影をしたりゆったりとしたながめを観て穏やかになる
- ・毎日4人以上と散歩を友にしている。顔知らない人達と行動を共にしている散歩。20~30人に会う。

●利用頻度

項目	毎日	週4~5	週1~3	月1	月2~3	年1	年2~5	年6~11
遊び場	6	1	11	6	6	2	10	1
散歩・サイクリング	91	31	132	30	52	4	20	5
休憩の場	27	5	32	8	11	0	8	5
自然観察	42	14	29	11	13	2	14	3
お祭り・イベントの場	5	4	7	2	6	5	11	1
利用していない	1	0	1	0	0	0	3	0
その他	31	14	18	1	5	1	6	0



問10「河川利用」に関する集計結果【記述設問】



項目	意見数		
	内訳	意見分類	
		要望	指摘、提案
水面利用	119	22	97
高水敷、堤防、河岸等の利用	100	32	68
水質、水流の改善	56	30	26
河川利用の理念	56	33	23
良好な河川環境の保全、創出	51	22	29
整備計画内容の賛同	23	-	-
治水対策との調和	20	9	11
イベント、祭り等の開催	12	0	12
整備計画内容の批判・疑問	12	-	-
広報、啓蒙、学習利用	9	3	6
場所ごとの特性に応じた利用	8	4	4
防災利用	3	0	3
生活、産業利用	3	0	3
その他	56	-	-
合計	528	155	282

※その他の「特になし」:80、「わからない」:12 は除外

◆集約意見 (1/2)

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
水面利用 119 (22.5%)	要望 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀川遊覧はコースを広げて、今後も続けてほしい。</li> <li>舟遊び、カヌー体験をしたい。</li> <li>魚釣りがしたい。</li> <li>水遊び、自然観察がしたい。</li> <li>宍道湖→美術館の定期船があるとよい。</li> </ul>

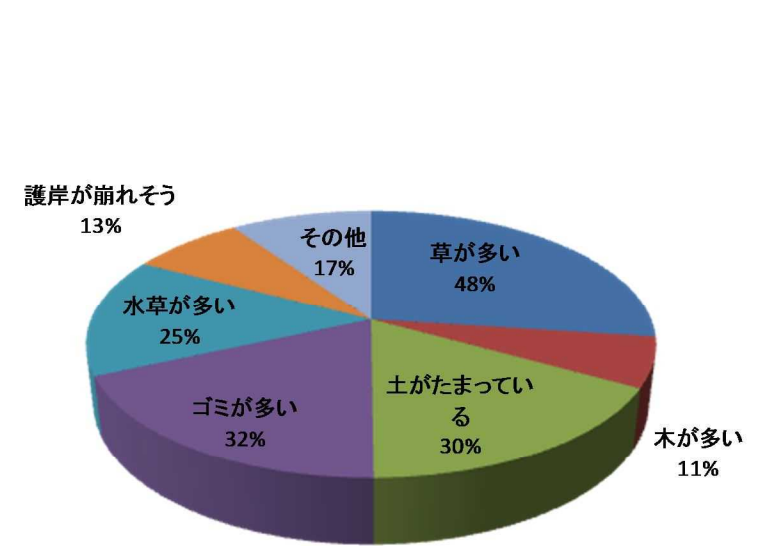
◆集約意見 (2/2)

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
	指摘、提案 97	<ul style="list-style-type: none"> <li>堀川以外の河川・湖にも遊覧船を拡大してはどうか。</li> <li>カヌー・ボートレース等の舟遊びや魚釣りができるようにしてはどうか。</li> <li>観光地ではカヌーやルアー釣りはしない方がよい。</li> </ul>
高水敷、堤防、河岸等の利用	要望 32 指摘、提案 68	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩、ウォーキング、ジョギング、サイクリングに利用したい。</li> <li>休憩、スポーツ、遊び、魚釣り、親水、自然観察に利用したい。</li> <li>ウォーキングコースの設定。</li> <li>水辺公園、自然観察園。</li> </ul>
水質、水流の改善	要望 30 指摘、提案 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源として改善が必要。</li> <li>川遊びや魚釣りの魚を増やすために必要。</li> <li>堀川遊覧や野鳥観察場、ミニコンサート等の集客のために必要。</li> <li>親水やボート・カヌー遊びをするために必要。</li> </ul>
河川利用の理念	要望 33 指摘、提案 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客だけでなく、市民が親しめるような場所としてほしい。</li> <li>「水の都・松江」を目標に掲げて努力することを望む。</li> <li>子供達にとって安全に遊べる場所、身近な存在として創生してほしい。</li> <li>河川を生活の場として利用する漁師や農家の意見も考慮してほしい。</li> <li>人々の集う場としてほしい。</li> <li>市民が日常的に川に親しめるようにする。</li> <li>子どもに川遊びの場を提供する。</li> <li>水の都・松江独自の魅力を打ち出し、観光に資する。</li> <li>イベント、川遊びで市民の交流・活力を促進する。</li> </ul>
良好な河川環境の保全、創出	要望 22 指摘、提案 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源として保全が必要。</li> <li>川や動植物に親しむために必要。</li> <li>散歩や休息の場として必要。</li> <li>渡り鳥、魚類を増やすために必要。</li> <li>堀川遊覧へのリピーターを増やすために必要。</li> <li>市民が気持ちよく散歩したり水に親しむために必要。</li> <li>水辺のライトアップやイルミネーション。</li> <li>川辺の桜並木。</li> </ul>
整備計画内容へ賛同	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状のままでよい。</li> <li>景観、水質の改善につながるので堀川遊覧はよい。</li> <li>松江堀川は全国に誇れる観光資源だ。</li> <li>もっと利用すべきだ。</li> </ul>
治水対策との調和	要望 9 指摘、提案 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>水量・流速の変化の対策を万全に行った上で利用に供してほしい。</li> <li>出水期や降雨が事前に分かっている場合は、予め水位を下げておいてほしい。</li> <li>治水対策を優先してほしい。</li> <li>堀川遊覧を運休せずに工事を進めてほしい。</li> </ul>
イベント、祭り等の開催	要望 12 指摘、提案 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な河川に特化したイベントを開催して地元住民の川への関心を高めてはどうか。</li> <li>河川を利用した企画がまだ少ない。(例:ホーランエンヤを復活させてはどうか。)</li> </ul>
整備計画内容の批判・疑問	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊び場としての利用は静かな環境を壊すので、これ以上の利用は必要ない。</li> <li>景観に経費をかけすぎている。</li> <li>利用より整備を急いでほしい。</li> <li>堀川遊覧船による水質や川岸への悪影響が心配。</li> </ul>
広報、啓蒙、学習利用	要望 9 指摘、提案 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境学習や観察会の場として利用したい。</li> <li>行政の側から、利用方法を提供、アピールしてほしい。</li> <li>子どもの環境教育に利用してほしい。</li> </ul>
場所ごとの特性に応じた利用	要望 8 指摘、提案 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデルゾーンを作ってほしい。</li> <li>住宅地区への観光客の立入りは問題。</li> <li>観光エリアではもっと水辺と親しめるような場所が必要。</li> <li>利用と保全についての明確な方針を示してほしい。</li> <li>堀川と朝酌川は別の視点で利用を検討すべきだ。</li> </ul>
防災利用	要望 3 指摘、提案 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災用水として利用してはどうか。</li> <li>舟による避難路として利用してはどうか。</li> </ul>
生活、産業利用	要望 3 指摘、提案 0	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業用水として利用</li> </ul>
その他	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画段階から「利用案」を企業に示して意見を募り、庁内でも部署間で意見交換をするべきだ。</li> </ul>

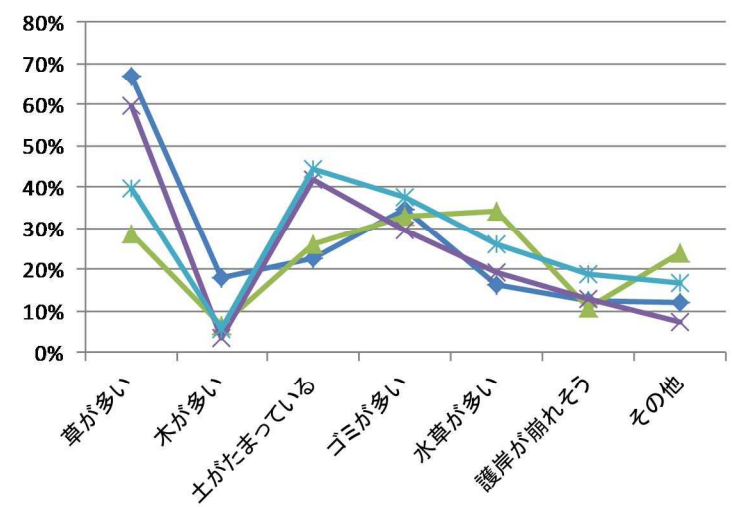
問11「問2で答えた川の維持管理上、日頃から気になっていること」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体
問11回答者数		574	13	998	172	253	100	30	23	87	2,250	116	79	177	349	464	540	515	10	2,250
1つでも気になる		462	13	689	139	206	86	27	19	66	1,707	59	54	129	244	344	440	427	10	1,707
気にならない		112	0	309	33	47	14	3	4	21	543	57	25	48	105	120	100	88	0	543
気になる人の割合		80.5%	100.0%	69.0%	80.8%	81.4%	86.0%	90.0%	82.6%	75.9%	75.9%	50.9%	68.4%	72.9%	69.9%	74.1%	81.5%	82.9%	100.0%	75.9%
複数回答数の集計	1 草が多い	310	9	198	83	82	65	23	13	30	813	21	27	52	100	178	221	210	4	813
	2 木が多い	84	3	44	5	12	13	5	8	6	180	7	6	11	19	30	64	43	0	180
	3 土がたまっている	105	9	180	58	91	23	12	9	17	504	4	6	22	54	93	166	155	4	504
	4 ゴミが多い	160	2	228	41	77	17	8	3	17	553	28	20	45	81	97	141	138	3	553
	5 水草が多い	76	1	235	27	54	14	7	0	20	434	22	15	41	72	80	108	95	1	434
	6 護岸が崩れそう	57	7	74	18	39	12	5	5	12	229	3	3	18	30	40	71	64	0	229
	7 その他	55	1	165	10	34	7	2	2	12	288	9	9	20	53	57	60	77	3	288
	8 全体	847	32	1,124	242	389	151	62	40	114	3,001	94	86	209	409	575	831	782	15	3,001
複数回答者の割合	1 草が多い	67%	69%	29%	60%	40%	76%	85%	68%	45%	48%	36%	50%	40%	41%	52%	50%	49%	40%	48%
	2 木が多い	18%	23%	6%	4%	6%	15%	19%	42%	9%	11%	12%	11%	9%	8%	9%	15%	10%	0%	11%
	3 土がたまっている	23%	69%	26%	42%	44%	27%	44%	47%	26%	30%	7%	11%	17%	22%	27%	38%	36%	40%	30%
	4 ゴミが多い	35%	15%	33%	29%	37%	20%	30%	16%	26%	32%	47%	37%	35%	33%	28%	32%	32%	30%	32%
	5 水草が多い	16%	8%	34%	19%	26%	16%	26%	0%	30%	25%	37%	28%	32%	30%	23%	25%	22%	10%	25%
	6 護岸が崩れそう	12%	54%	11%	13%	19%	14%	19%	26%	18%	13%	5%	6%	14%	12%	12%	16%	15%	0%	13%
	7 その他	12%	8%	24%	7%	17%	8%	7%	11%	18%	17%	15%	17%	16%	22%	17%	14%	18%	30%	17%
	8 全体	183%	246%	163%	174%	189%	176%	230%	211%	173%	176%	159%	159%	162%	168%	167%	189%	183%	150%	176%

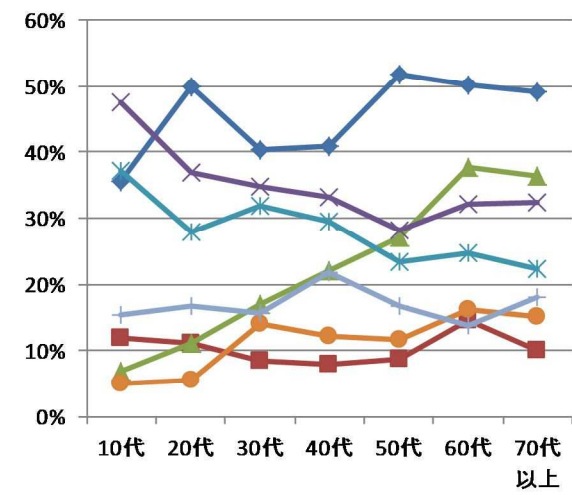
※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



河川別集計



年齢別集計



年齢不詳を除く

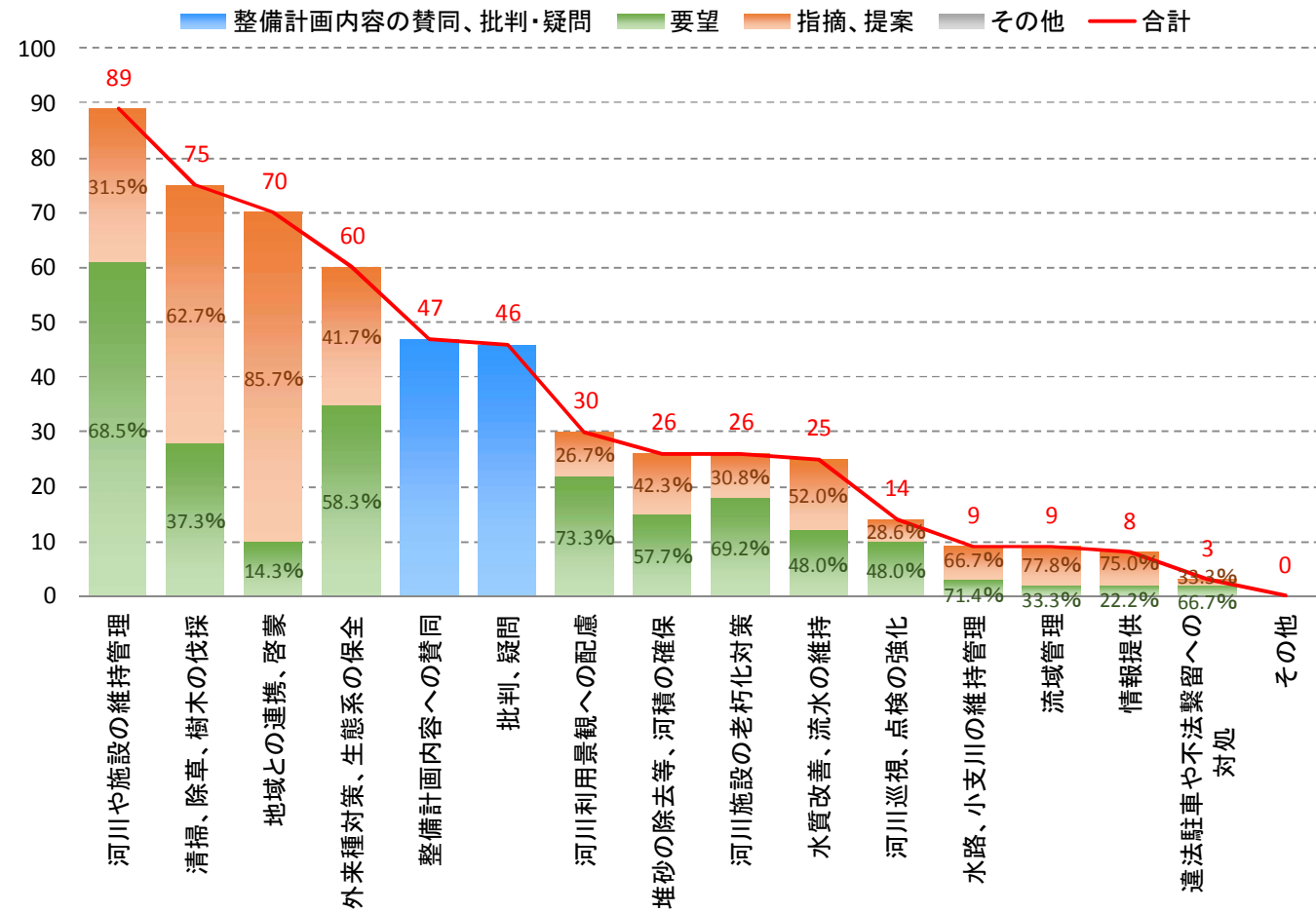
【集計結果の概要】

- ・気になる人の回答率が高い年代ほど多い
- ・年齢は傾向の違いが少ない
- ・河川毎に傾向が異なる(土がたまっているを除く)
- ・水草が多いは松江堀川が高い

◆その他意見の集約(青字は自由意見)

- 複数回答の人が多 → 管理上気になることが多くある
- 水質
  - ・少数ではあるが、綺麗になったと思っている人もある。 → 地域の方が綺麗に花を植えており素晴らしい
  - ・圧倒的に水質の悪さを指摘している。 → 水の濁り、汚濁が気になる。  
水がにごっていて遊覧船に乗る気がしない
- 土が溜まった、ゴミが多い等の指摘も多い。 → 大雨の時、ゴミが流れて来て溜まる。
- 河川の計画、構造についての指摘 → 集中豪雨があった場合住宅地に溢れないよう排水されるか不安

問 12 「維持管理」に関する集計結果【記述設問】



項目	意見数		
	内訳	意見分類	
		要望	指摘、提案
河川や施設の維持管理	89	61	28
清掃、除草、樹木の伐採	75	28	47
地域との連携、啓蒙	70	10	60
外来種対策、生態系の保全	60	35	25
整備計画内容への賛同	47	-	-
批判、疑問	46	-	-
河川利用景観への配慮	30	22	8
堆砂の除去等、河積の確保	26	15	11
河川施設の老朽化対策	26	18	8
水質改善、流水の維持	25	12	13
河川巡視、点検の強化	14	10	4
水路、小支川の維持管理	9	3	6
流域管理	9	2	7
情報提供	8	2	6
違法駐車や不法繋留への対処	3	2	1
その他	0	-	-
合計	537	220	224

◆集約意見 (1/2)

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
河川や施設の維持管理 89 (16.6%)	要望 61	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡視で異常を早期に発見して対処してほしい。</li> <li>管理者で浚渫、除草を行ってほしい。</li> <li>長期的な計画を立て、中断せずに進めてほしい。</li> <li>重点箇所を明確にして効率的に進めてほしい。</li> <li>予算を増やし関係部署の横の連携を密にして進めてほしい。</li> <li>大雨時の水門の管理に配慮してほしい。</li> <li>橋梁は道路と同時に工事してほしい。</li> <li>河川と同時に道路も整備してほしい。</li> <li>河川の幅の狭い箇所、護岸の低い箇所を早急に工事してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会任せにせず行政(専門業者)が行うべきだ。</li> <li>椿谷沿いの堀川土手(城側)の亀裂を補修してほしい。</li> <li>中川の鉄板橋(法吉町)が滑りやすい。</li> <li>大橋川の中州の除去を事業化してはどうか。</li> </ul>
清掃、除草、樹木の伐採 75 (14.0%)	要望 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>川岸や大量に繁茂している場所の草刈りや、川の中の大型草木の除去は、行政で行ってほしい。</li> <li>年に2回くらい定期的に草刈りしてほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 47	<ul style="list-style-type: none"> <li>コン等の草刈りを自治会に委託してはどうか。</li> <li>人力で除草できない場合には小型重機や防草シートを利用してはどうか。</li> <li>川への転落防止のために川岸の除草が必要。</li> <li>歩道に出ている街路樹の根が危険(交差橋から黒田にかけて)</li> </ul>
地域との連携、啓蒙 70 (13.0%)	要望 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの異常箇所の通報、提案を受け付けるシステムを作ってほしい。</li> <li>除草、浚渫工事等の日程を通知してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 60	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の巡視・点検(河川モニターイベント等)を住民が行って関心を高めては?</li> <li>住民に維持管理の現状や目標値、活動への参加方法を周知して、住民からの異常通報を活用する。</li> <li>自治会やボランティア団体に有償で協力を求める。</li> <li>きれいな川募金をしてはどうか。</li> </ul>
外来種対策、生態系の保全 60 (11.2%)	要望 35	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来生物は行政が駆除してほしい。</li> <li>専門家から生態系保全へのアドバイスを心得て対策を練ってほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来種の侵入防止を優先すべきで、罰則を強化すべきだ。</li> <li>国内外来種も問題。</li> <li>穴あきブロックを多用してはどうか。</li> <li>河川環境について定期的に情報発信してはどうか。</li> </ul>
整備計画内容への賛同 47 (8.8%)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃、草取り等、現状に満足している。</li> <li>施設の老朽対策が重要だ。</li> </ul>
批判、疑問 46 (8.6%)	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会任せにせず行政の職員が草刈りをするべきだ。</li> <li>予算は維持管理に重点を置くべきだ。</li> <li>限られた予算内で効果を上げる方策を議論すべきだ。</li> <li>部分的にではなく全体を一斉に着手できないのか。</li> <li>外来生物の防除、河川の巡視、老朽化対策の具体的内容を知りたい。</li> <li>関係部署と自治会が連携して取り組むべきだ。</li> <li>住民の意見をまとめて計画を策定するべきだ。</li> </ul>
河川利用景観への配慮 30 (5.6%)	要望 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>石垣の補修を早急に行ってほしい。</li> <li>新大橋は今までにない特色のあるデザインにし、橋脚や橋板の裏側にも配慮してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>川岸の危険な場所、物(生物)をなくしてほしい。</li> <li>地域の特性を生かした景観を心掛けるべきだ。</li> </ul>
堆砂の除去等、河積の確保 26 (4.8%)	要望 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>川底の土砂の除去は定期的に行行政で行ってほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>川底の浚渫は行政が管理計画に組み込んで10年おきぐらいに行ってほしい。</li> <li>比津川、大橋川は川幅が狭いので対処が必要。</li> </ul>
河川施設の老朽化対策 26 (4.8%)	要望 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽施設対策は集約も視野に、優先順位を定めて進めてほしい。</li> <li>老朽化対策の全体計画を示し、対象施設の施工順序を知らせてほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>経費を抑えるために日頃のメンテナンスが必要。</li> <li>施設管理維持を優先すべきで、新規工事とのバランスの見直しが必要。</li> </ul>
水質改善、流水の維持 25 (4.7%)	要望 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭でできることを示してほしい。</li> <li>下水道利用を促してほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道利用の徹底。</li> <li>手貝潮止水門より上流の低湿水田を嵩上げてはどうか。</li> <li>中海と河川の水を循環させることが必要。</li> <li>大橋川の浚渫と拡幅による流水の改善が必要。</li> </ul>
河川巡視、点検の強化 14 (2.6%)	要望 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的および大雨時に行ってほしい。</li> </ul>
	指摘、提案 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所によってはカメラの設置も必要。</li> <li>月に1回ぐらいは舟で回ってみてはどうか。</li> <li>早朝や深夜にも点検を実施してはどうか。</li> </ul>



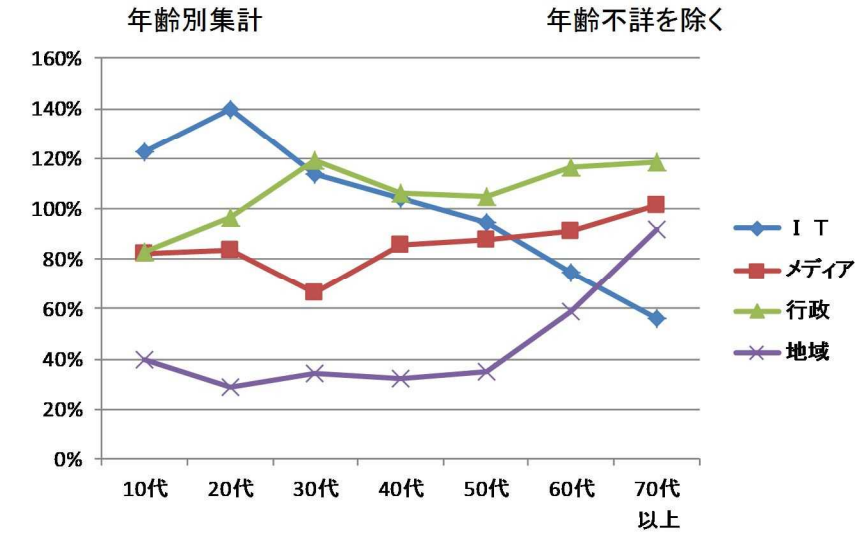
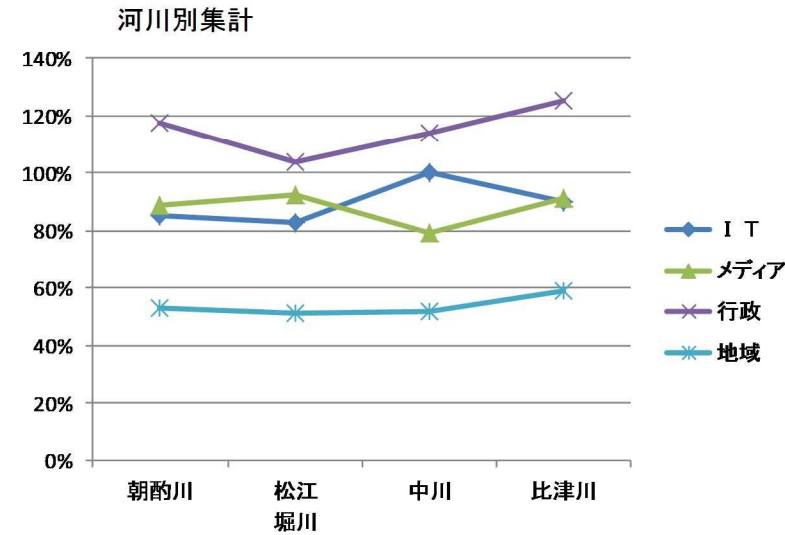
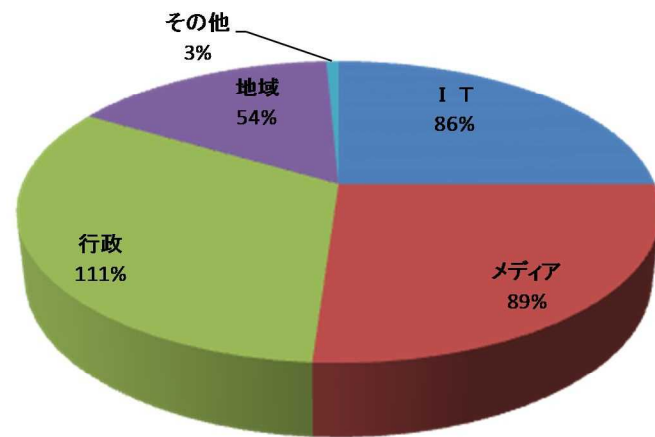
◆集約意見 (2/2)

項目 意見数(割合)	分類 意見数	集約意見
水路、小支川の維持管理 9 (1.7%)	要望 3	・水質向上のための雑排水対策を望む。 ・市で側溝の掃除をしてほしい。
	指摘、提案 6	・市と連携して真剣に維持管理に取り組んでほしい。
流域管理 9 (1.7%)	要望 2	・宍道湖と朝酌川の管理者の連携を望む。
	指摘、提案 7	・流域全体でのゴミ対策が必要。
情報提供 8 (1.5%)	要望 2	・維持管理報告を該当の河川に常時表示してほしい。
	指摘、提案 6	・水位標を立ててはどうか。 ・管理する区間としない区間に分けて管理の重要性を知らせるべきだ。
違法駐車や不法繋留への対処 3 (0.6%)	要望 2	・監視員を派遣してほしい。
	指摘、提案 1	・不法繋留が多い。
その他 0 (0.0%)		

問 13「防災および災害情報を今後どのような方法で入手できたらよいと思うか」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体	
問13回答者数		650	14	1138	193	280	111	34	21	131	2,572		133	80	197	381	515	615	641	10	2,572	
複数回答数の集計	1 携帯電話	351	6	567	116	153	65	12	11	65	1,346	1	95	60	143	267	328	286	165	2	1,346	
	2 固定電話	50	0	89	22	27	14	4	1	16	223	2	10	3	3	12	18	53	122	2	223	
	3 FAX	20	1	34	2	11	3	1	0	2	74	3	4	1	2	5	4	24	34	0	74	
	4 インターネット	133	5	254	53	62	22	2	4	27	562	4	54	48	76	112	135	97	39	1	562	
	5 地上波テレビ	253	3	502	65	118	51	7	6	49	1,054	5	60	37	73	167	207	239	269	2	1,054	
	6 ケーブルテレビ	173	5	294	52	81	22	7	9	34	677	6	17	15	32	91	141	177	201	3	677	
	7 ラジオ	152	2	254	36	57	25	5	4	34	569	7	32	15	26	69	103	145	178	1	569	
	8 広報車	226	2	380	51	118	31	7	8	34	857	8	16	14	55	103	145	220	301	3	857	
	9 防災行政無線	113	3	143	40	57	26	10	3	26	421	9	18	14	35	58	81	124	90	1	421	
	10 サイレン	182	6	265	44	62	26	8	6	21	620	10	29	20	58	84	117	152	157	3	620	
	11 屋外スピーカー	217	6	345	75	103	44	13	10	34	847	11	35	21	75	138	173	203	200	2	847	
	12 掲示板・電光掲示板	25	0	48	10	10	7	0	1	4	105	12	12	8	11	22	22	18	11	1	105	
	13 住民同士の声かけ	117	2	211	39	55	28	11	3	30	496	13	23	13	25	35	61	130	206	3	496	
	14 自治会	107	3	192	33	53	28	6	2	23	447	14	9	5	17	39	62	120	194	1	447	
	15 自主防災組織	43	1	82	10	19	9	3	0	11	178	15	8	1	8	14	20	48	79	0	178	
	16 消防署・消防団員	78	2	101	18	38	14	6	4	17	278	16	13	4	17	35	38	63	107	1	278	
	17 その他	16	0	30	7	7	1	0	0	4	65	17	1	1	3	7	9	19	24	1	65	
	18 IT	554	12	944	193	253	104	19	16	110	2,205	18	163	112	224	396	485	460	360	5	2,205	
	19 メディア	578	10	1,050	153	256	98	19	19	117	2,300	19	109	67	131	327	451	561	648	6	2,300	
	20 行政	763	17	1,181	220	350	134	38	28	119	2,850	20	110	77	234	405	538	717	759	10	2,850	
	21 地域	345	8	586	100	165	79	26	9	81	1,399	21	53	23	67	123	181	361	586	5	1,399	
	22 その他	16	0	30	7	7	1	0	0	4	65	22	1	1	3	7	9	19	24	1	65	
	23 全体	2,256	47	3,791	673	1,031	416	102	72	431	8,819	23	436	280	659	1,258	1,664	2,118	2,377	27	8,819	
複数回答者数	1 携帯電話	54%	43%	50%	60%	55%	59%	35%	52%	100%	52%	1	71%	75%	73%	70%	64%	47%	26%	20%	52%	
	2 固定電話	8%	0%	8%	11%	10%	13%	12%	5%	25%	9%	2	8%	4%	2%	3%	3%	9%	19%	20%	9%	
	3 FAX	3%	7%	3%	1%	4%	3%	3%	0%	3%	3%	3	3%	1%	1%	1%	1%	4%	5%	0%	3%	
	4 インターネット	20%	36%	22%	27%	22%	20%	6%	19%	42%	22%	4	41%	60%	39%	29%	26%	16%	6%	10%	22%	
	5 地上波テレビ	39%	21%	44%	34%	42%	46%	21%	29%	75%	41%	5	45%	46%	37%	44%	40%	39%	42%	20%	41%	
	6 ケーブルテレビ	27%	36%	26%	27%	29%	20%	21%	43%	52%	26%	6	13%	19%	16%	24%	27%	29%	31%	30%	26%	
	7 ラジオ	23%	14%	22%	19%	20%	23%	15%	19%	52%	22%	7	24%	19%	13%	18%	20%	24%	28%	10%	22%	
	8 広報車	35%	14%	33%	26%	42%	28%	21%	38%	52%	33%	8	12%	18%	28%	27%	28%	36%	47%	30%	33%	
	9 防災行政無線	17%	21%	13%	21%	20%	23%	29%	14%	40%	16%	9	14%	18%	18%	15%	16%	20%	14%	10%	16%	
	10 サイレン	28%	43%	23%	23%	22%	23%	24%	29%	32%	24%	10	22%	25%	29%	22%	23%	25%	24%	30%	24%	
	11 屋外スピーカー	33%	43%	30%	39%	37%	40%	38%	48%	52%	33%	11	26%	26%	38%	36%	34%	33%	31%	20%	33%	
	12 掲示板・電光掲示板	4%	0%	4%	5%	4%	6%	0%	5%	6%	4%	12	9%	10%	6%	6%	4%	3%	2%	10%	4%	
	13 住民同士の声かけ	18%	14%	19%	20%	20%	25%	32%	14%	46%	19%	13	17%	16%	13%	9%	12%	21%	32%	30%	19%	
	14 自治会	16%	21%	17%	17%	19%	25%	18%	10%	35%	17%	14	7%	6%	9%	10%	12%	20%	30%	10%	17%	
	15 自主防災組織	7%	7%	7%	5%	7%	8%	9%	0%	17%	7%	15	6%	1%	4%	4%	4%	8%	12%	0%	7%	
	16 消防署・消防団員	12%	14%	9%	9%	14%	13%	18%	19%	26%	11%	16	10%	5%	9%	9%	7%	10%	17%	10%	11%	
	17 その他	2%	0%	3%	4%	3%	1%	0%	0%	6%	3%	17	1%	1%	2%	2%	2%	3%	4%	10%	3%	
			朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体
	18 IT		85%	86%	83%	100%	90%	94%	56%	76%	169%	86%	18	123%	140%	114%	104%	94%	75%	56%	50%	86%
	19 メディア		89%	71%	92%	79%	91%	88%	56%	90%	180%	89%	19	82%	84%	66%	86%	88%	91%	101%	60%	89%
	20 行政		117%	121%	104%	114%	125%	121%	112%	133%	183%	111%	20	83%	96%	119%	106%	104%	117%	118%	100%	111%
	21 地域		53%	57%	51%	52%	59%	71%	76%	43%	125%	54%	21	40%	29%	34%	32%	35%	59%	91%	50%	54%
	22 その他		2%	0%	3%	4%	3%	1%	0%	0%	6%	3%	22	1%	1%	2%	2%	2%	3%	4%	10%	3%
23 全体		347%	336%	333%	349%	368%	375%	300%	343%	663%	343%	23	328%	350%	335%	330%	323%	344%	371%	270%	343%	

※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



【集計結果の概要】

- ・河川別に傾向の大きな違いはない
- ・携帯電話の回答率が60代以下で47%以上の回答率
- ・地上波テレビの回答率は全年齢層に高い(37%~46%)
- ・IT(特にインターネット)は特に10代、20代が多く、年齢による差異が大きい
- ・メディア、行政は全年齢で比率が高い
- ・地域の取組へは年齢毎の差が多いが、60代、70代の比率は高い
- ・多種多様な情報発信を必要としている。

◆その他意見の集約(青字は自由意見)

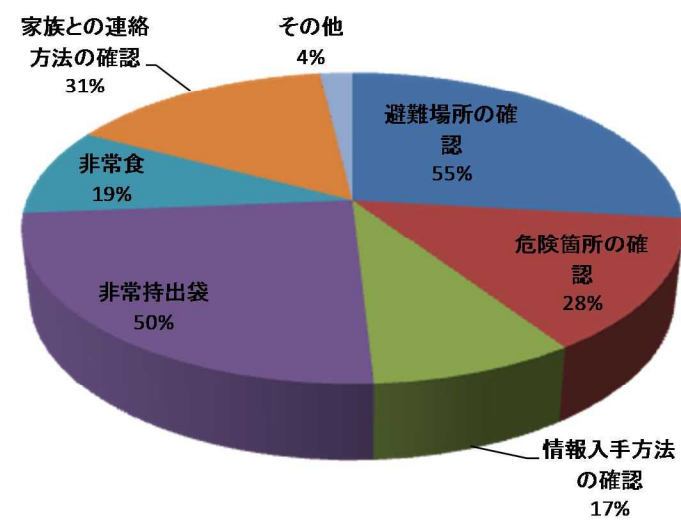
- IT
  - ・当方は高齢者のみの生活でファックスもインターネットも携帯も何もありません。連絡は固定電話のみです。
  - ・現在、市から防災メールで入手している
- メディア
  - ・屋内告知端末装置を全家庭に
- 行政
  - ・今ある設備を最大限活用しこれもあれもあつたらいいのではという考えでは予算もよく大変
  - ・個人の思いをではなく、全ての人を対象にであり、常に全ての人への情報発信であってほしいです。
  - ・普段から災害意識を高め自己判断ができる力
  - ・屋外スピーカーは近く以外は聞こえない、又、風の向きによる)
  - ・情報の把握については人それぞれ。多種類の方が良い。
- 地域
  - ・突然では戸惑うと思います。町内会、自治会で平常から周知していなければならないと思います。



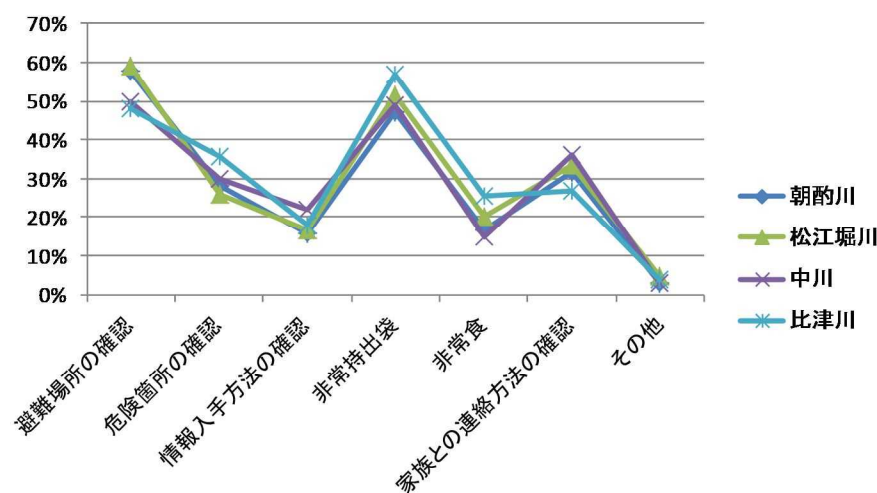
問 14 「日頃の災害への備え」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体
問14回答者数		649	14	1125	191	274	105	32	23	131	2,544	127	76	190	381	513	607	640	10	2544
1つでも準備している		441	10	800	141	199	69	26	17	83	1,786	67	46	123	273	349	455	466	7	1786
準備していない		208	4	325	50	75	36	6	6	48	758	60	30	67	108	164	152	174	3	758
準備している割合		68.0%	71.4%	71.1%	73.8%	72.6%	65.7%	81.3%	73.9%	63.4%	70.2%	52.8%	60.5%	64.7%	71.7%	68.0%	75.0%	72.8%	70.0%	70.2%
複数回答数の集計	1 避難場所の確認	254	4	471	70	96	28	7	7	41	978	30	27	66	128	192	262	269	4	978
	2 危険箇所の確認	125	4	206	42	71	21	10	9	16	504	11	14	34	74	89	146	134	2	504
	3 情報入手方法の確認	70	3	133	31	36	11	4	6	16	310	11	9	25	49	64	84	68	0	310
	4 非常持出袋	207	5	414	69	113	29	13	7	38	895	26	10	43	131	147	231	304	3	895
	5 非常食	74	0	161	21	51	9	4	0	12	332	20	9	27	65	62	76	72	1	332
	6 家族との連絡方法の確認	139	2	266	51	53	22	2	9	15	559	22	19	42	85	127	141	120	3	559
	7 その他	13	0	36	4	8	2	3	1	2	69	2	0	4	6	9	11	37	0	69
	全体	882	18	1687	288	428	122	43	39	140	3,647	122	88	241	538	690	951	1004	13	3647
複数回答者数／準備をしている	1 避難場所の確認	58%	40%	59%	50%	48%	41%	27%	41%	49%	55%	45%	59%	54%	47%	55%	58%	58%	57%	55%
	2 危険箇所の確認	28%	40%	26%	30%	36%	30%	38%	53%	19%	28%	16%	30%	28%	27%	26%	32%	29%	29%	28%
	3 情報入手方法の確認	16%	30%	17%	22%	18%	16%	15%	35%	19%	17%	16%	20%	20%	18%	18%	18%	15%	0%	17%
	4 非常持出袋	47%	50%	52%	49%	57%	42%	50%	41%	46%	50%	39%	22%	35%	48%	42%	51%	65%	43%	50%
	5 非常食	17%	0%	20%	15%	26%	13%	15%	0%	14%	19%	30%	20%	22%	24%	18%	17%	15%	14%	19%
	6 家族との連絡方法の確認	32%	20%	33%	36%	27%	32%	8%	53%	18%	31%	33%	41%	34%	31%	36%	31%	26%	43%	31%
	7 その他	3%	0%	5%	3%	4%	3%	12%	6%	2%	4%	3%	0%	3%	2%	3%	2%	8%	0%	4%
	全体	200%	180%	211%	204%	215%	177%	165%	229%	169%	204%	182%	191%	196%	197%	198%	209%	215%	186%	204%

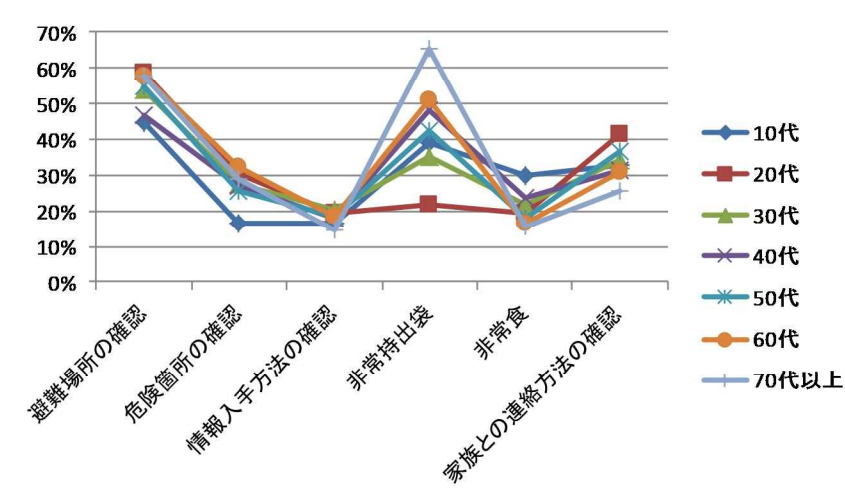
※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



河川別集計



年齢別集計



【集計結果の概要】

- ・全体の70%の回答が何らかの準備をしている。防災意識が高い
- ・河川毎の傾向は同じ。
- ・若い世代ほど準備をしていない。
- ・高齢者ほど備えに対する意識が高くなっている。

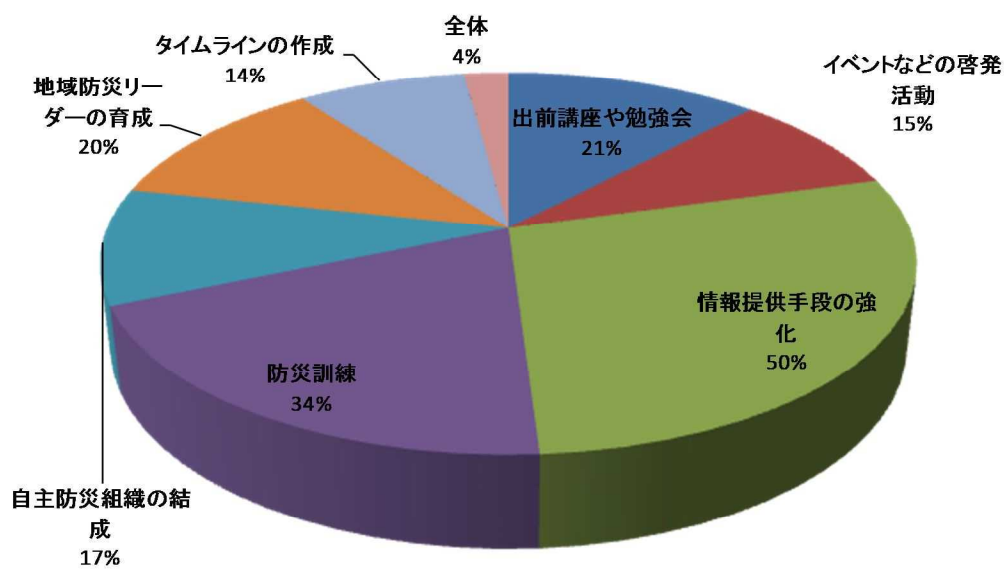
◆その他意見の集約（青字は自由意見）

- 災害全般 : ・準備でないが懐中電灯、ラジオ、ケイタイ電話を持出るよう心掛けている。  
・ラジオ、日常食、トイレ用品、衣類、現金
- 水害 : ・土のうを準備している  
・車を移動させ侵入に備えています
- 災害に対する意識 : ・具体的なことはしてません。避難のための具体的なことを知らねばならないと思っています。  
・特に準備していない。避難までには時間があると考えている

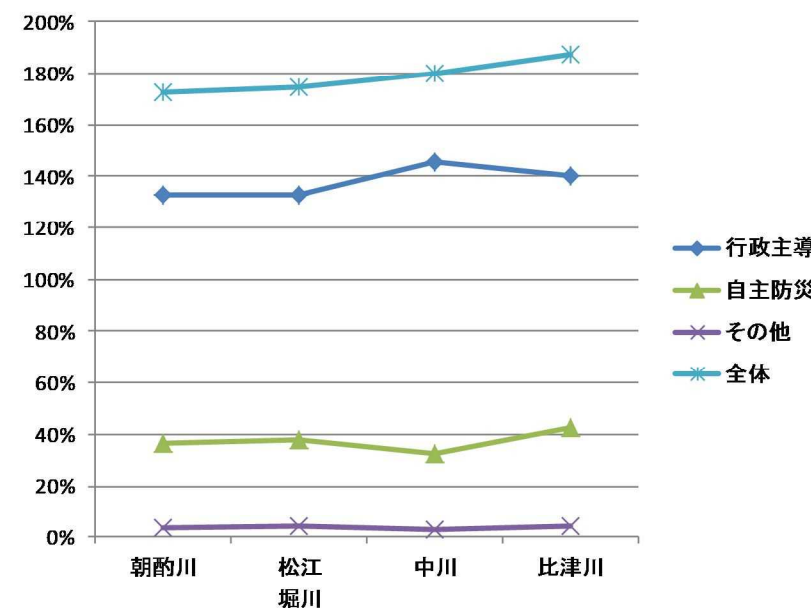
問15「災害発生しそうなときに迅速な避難を行うための体制・仕組み」を整備するために有効と思われるもの」に関する集計結果

回答者数の集計		朝酌川	大井手川	松江堀川	中川	比津川	持田川	小倉川	坂本川	その他	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	年齢不詳	全体
問15回答者数		618	12	1082	183	269	100	29	20	119	2,432	121	77	189	373	502	575	585	10	2432
複数回答数の集計	1 出前講座や勉強会	133	3	219	47	55	22	6	3	25	513	19	11	40	67	91	116	168	1	513
	2 イベントなどの啓発活動	100	3	163	25	42	19	3	5	9	369	17	23	45	81	64	74	64	1	369
	3 情報提供手段の強化	308	5	521	100	147	45	14	10	61	1,211	51	42	83	191	287	296	256	5	1211
	4 防災訓練	196	4	376	69	93	35	10	8	47	838	67	26	74	115	167	206	181	2	838
	5 自主防災組織の結成	108	1	181	29	52	21	4	2	22	420	9	3	22	44	80	126	133	3	420
	6 地域防災リーダーの育成	117	2	228	30	63	14	9	4	25	492	12	13	27	65	85	117	171	2	492
	7 タイムラインの作成	84	2	156	25	41	13	5	2	12	340	16	14	35	58	85	63	68	1	340
	8 全体	1068	21	1886	330	505	172	51	34	206	4,273	192	132	335	630	874	1031	1063	16	4273
	9 行政主導	821	17	1435	266	378	134	38	28	154	3,271	170	116	277	512	694	755	737	10	3271
	10 自主防災	225	3	409	59	115	35	13	6	47	912	21	16	49	109	165	243	304	5	912
	11 その他	22	1	42	5	12	3	0	0	5	90	1	0	9	9	15	33	22	1	90
	12 全体	1068	21	1886	330	505	172	51	34	206	4273	192	132	335	630	874	1031	1063	16	4273
複数回答者数	1 出前講座や勉強会	22%	25%	20%	26%	20%	22%	21%	15%	21%	21%	16%	14%	21%	18%	18%	20%	29%	10%	21%
	2 イベントなどの啓発活動	16%	25%	15%	14%	16%	19%	10%	25%	8%	15%	14%	30%	24%	22%	13%	13%	11%	10%	15%
	3 情報提供手段の強化	50%	42%	48%	55%	55%	45%	48%	50%	51%	50%	42%	55%	44%	51%	57%	51%	44%	50%	50%
	4 防災訓練	32%	33%	35%	38%	35%	35%	34%	40%	39%	34%	55%	34%	39%	31%	33%	36%	31%	20%	34%
	5 自主防災組織の結成	17%	8%	17%	16%	19%	21%	14%	10%	18%	17%	7%	4%	12%	12%	16%	22%	23%	30%	17%
	6 地域防災リーダーの育成	19%	17%	21%	16%	23%	14%	31%	20%	21%	20%	10%	17%	14%	17%	17%	20%	29%	20%	20%
	7 タイムラインの作成	14%	17%	14%	14%	15%	13%	17%	10%	10%	14%	13%	18%	19%	16%	17%	11%	12%	10%	14%
	8 全体	4%	8%	4%	3%	4%	3%	0%	0%	4%	4%	1%	0%	5%	2%	3%	6%	4%	10%	4%
	9 行政主導	133%	142%	133%	145%	141%	134%	131%	140%	129%	134%	140%	151%	147%	137%	138%	131%	126%	100%	134%
	10 自主防災	36%	25%	38%	32%	43%	35%	45%	30%	39%	38%	17%	21%	26%	29%	33%	42%	52%	50%	38%
	11 その他	4%	8%	4%	3%	4%	3%	0%	0%	4%	4%	1%	0%	5%	2%	3%	6%	4%	10%	4%
	12 全体	173%	175%	174%	180%	188%	172%	176%	170%	173%	176%	159%	171%	177%	169%	174%	179%	182%	160%	176%

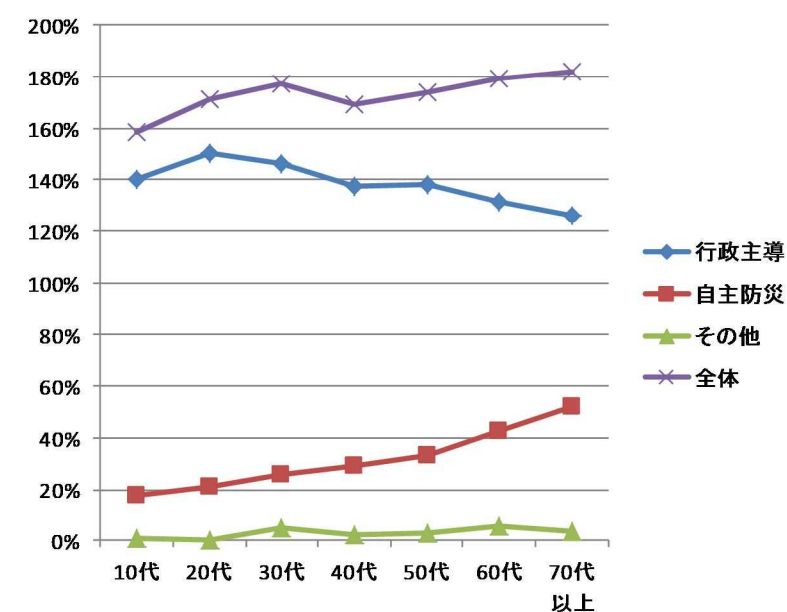
※回答者のみ集計、その他は「大橋川」「剣先川」を含んでいる。



河川別集計



年齢別集計



年齢不詳を除く

【集計結果の概要】

- ・ 情報提供手段の強化、防災訓練の回答率が高い
- ・ 自主防災組織の結成、地域防災リーダーの育成が37%
- ・ 特に情報提供手段の強化、防災訓練の回答率が高い
- ・ 自主防災での対応には限界を感じている。
- ・ 行政主導の取組に期待されている。

◆その他意見の集約（青字は自由意見）

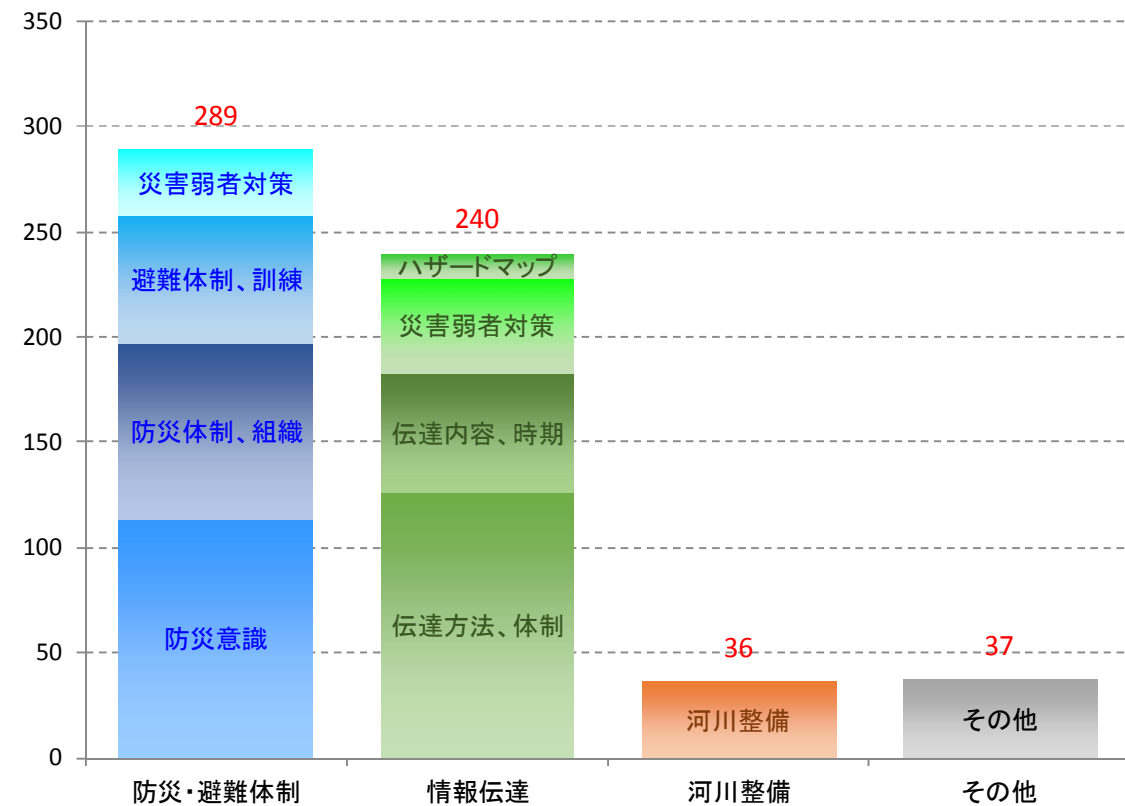
- 行政主導の体制、仕組み
  - ・ 行政が速やかに指示を出し、それが住民一人一人にすぐに伝わる体制の整備。
  - ・ 防災訓練など行われているが、関係者以外は全くどうして良いかわからない
  - ・ 地震時、洪水時の対応、避難訓練を小規模の地区毎に行う（地域事情に合わせた、又特に高齢者に対応する訓練）
  - ・ 防災訓練の義務化、そのために一年に何回もする必要があると思う。
  - ・ 災害が発生しそうなときの行政の対応をパンフレット等で配布つまり、災害対応の周知（市民レベルも行政レベルも）
  - ・ 危険地域に危険度（避難指示）をすばやく出せるかが重要
- 地域主導の体制、仕組み
  - ・ 自治会単位毎等の会合が行われる場所等での勉強が有効
  - ・ 各自治会では年に何回かの集合等がありますが、普段からこまめに周知徹底を！
  - ・ 各地域は大方高齢化で組織の結成、防災リーダー育成などは現実的ではないと思う。
- 住民の意識改革
  - ・ 「自ら守る意識」の啓発（行政に頼り過ぎは良くない）
  - ・ 自分の命は自分で守るという自覚がないといくら勉強しようと訓練をしようと無駄だと思う。
  - ・ 自らの危機意識（自己責任の意識）。行政に甘えない様に。
  - ・ 大型災害においては、ケースバイケースでの対応が必要柔軟に対応する。
  - ・ 水害等の自主避難なら平野部なのであまり必要ないと思う。原発事故なら訓練が必要。

※個人の意識改革、災害に対する認識を変えることが大切

※防災訓練は住民主体での実施が望まれる。



問 16 「防災」に関する集計結果【記述設問】



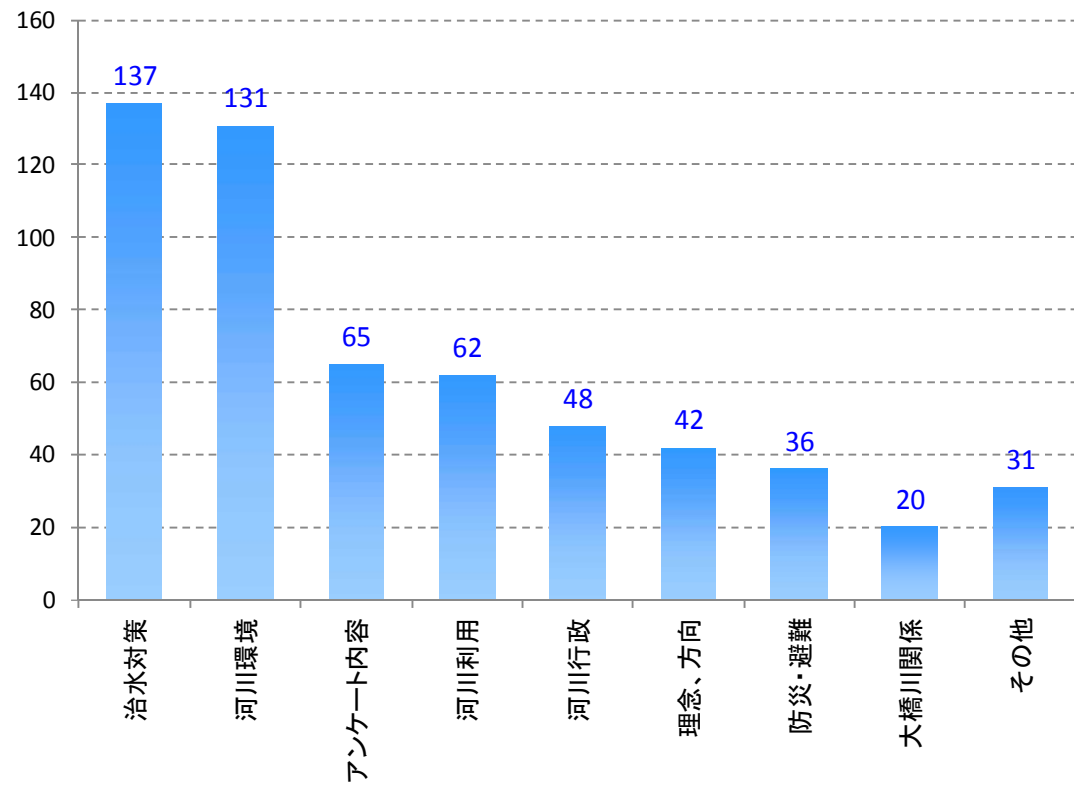
大項目	内訳	小項目	内訳
防災・避難体制	289	防災意識	114 18.9%
		防災体制、組織	83 13.8%
		避難体制、訓練	61 10.1%
		災害弱者対策	31 5.1%
情報伝達	240	伝達方法、体制	126 20.9%
		伝達内容、時期	57 9.5%
		災害弱者対策	45 7.5%
		ハザードマップ	12 2.0%
河川整備	36	-	36 6.0%
その他	37	-	37 6.1%
合計	602	-	602

※その他の「特になし」:45、「わからない」:5 は除外

◆集約意見

大項目 意見数(割合)	小項目 (意見数)	集約意見
289 (48.0%)	114 (18.9%)	防災意識 ・防災対策の重要性を知らせる。 ・行政の対策の限界を知らせ、気象、危険箇所、避難場所、災害事例等の知識を十分提供する。 ・HP以外にチェックシート、音声や画像による案内、勉強会等の分かりやすい情報提供方法を工夫してほしい。 ・防災訓練の回数を増やす。 ・地域別、戸別に対処すべき災害は何かを示してほしい。 ・どの程度の水害対策が必要か地域住民と話し合うべき。
	83 (13.8%)	防災体制、組織 ・自主防災組織と地域の防災リーダーを育成する。 ・自治会による防災組織作りと災害時の活動範囲には限界がある。 ・災害時には地元在住の県職員が県本部の指示を伝える役目を担うべきだ。 ・国交省・県・市、関係部署間の密接な連携が必要。
	61 (10.1%)	避難体制、訓練 ・市で避難マニュアルを作成して各自治会の役割を理解させておくべきだ。 ・各地域別に想定される災害の種類別の避難方法を設定するべきだ。 ・避難場所は地域ごとで決めるのではなく、各家に最も近いところにしてはどうか。 ・自動車専用道路で自動車以外が避難できるように道交法を改正してほしい。 ・海上の避難経路も設定してほしい。 ・自治会活動に参加しない住民の情報入手、訓練への参加、避難等の方法を検討するべきだ。 ・訓練はポイントを絞って行うと分かりやすいのではないか。 ・防災訓練の実施を防災メールやインターネットで知らせるべきだ。
	31 (5.1%)	災害弱者対策 ・隣人同士の声掛け、助け合いが重要。 ・災害弱者のリスト作成。 ・子どもにも災害弱者の存在を認識させることが必要。 ・対策について災害弱者に説明がほしい。 ・災害弱者には行政の保護が必要。
240 (39.9%)	126 (20.9%)	情報伝達 伝達方法、体制 ・災害時にどのような状態にあってもリアルタイムに情報を得られるようにあらゆる媒体を活用し、空振り恐れず避難勧告・指示を出すべきだ。 ・情報提供手段をもっと周知すべき。 ・県からの情報も市で入手できるようにすべき。 ・インターネット情報はパソコン使用時にしか見ることができない。 ・非常時にはパソコンのトップ画面にHPへのリンク画面が表示されるとよい。 ・テレビ放送でもっと詳細な情報を流してほしい。 ・防災メールの内容と発信頻度、登録方法等に工夫が必要。 ・防災メールの登録者以外にも一定エリア内の携帯電話に強制的に送信すべきだ。 ・防災無線、屋外スピーカー、広報車では音声が聞き取りにくい場合があり、性能の向上が必要。 ・有線スピーカーを各家庭に設置すれば、正確、迅速に夜間でも情報が伝わる。 ・連絡網を作って声掛けをする。 ・電光掲示板を配置してほしい。 ・印刷物は各戸に配布してほしい。
	57 (9.5%)	伝達内容、時期 ・警報をサイレンやテレビで流してほしい。 ・河川状況のライブ映像が見たい。 ・間隔の短いリアルタイムの雨量、水位が知りたい。 ・観測地点を増やしてきめ細かい水位情報や洪水予報を提供してほしい。 ・道路沿いの崩壊箇所を知りたい。 ・水位ごとの冠水状況のシミュレーションマップがほしい。 ・昼夜別、年齢別の対応についてきめ細かい情報がほしい。 ・河川の位置がすぐ分かるような表示してほしい。 ・外来語、専門用語を使わず分かりやすい文章にしてほしい。 ・誤報を恐れず、雨量予測をして早めに予報を出してほしい。
	45 (7.5%)	災害弱者対策 ・インターネットだけでなく、災害弱者に確実に届く伝達手段を設けるべきだ。 ・災害弱者には誤報を恐れず早めに避難指示を出すべきだ。
240 (39.9%)	12 (2.0%)	ハザードマップ ・情報を更新して毎年全家庭に配布するべきだ。 ・地域ごとに作成してもらいたい。
36 (6.0%)	-	河川整備 ・中海の洪水水位を下げるのが先決なので弓ヶ浜半島に日本海に向け通水路を掘削してほしい。 ・下流の朝酌川、大橋川の改修が先決。 ・追子団地堤防、比津川、京橋川、四十間堀川の早期の排水ポンプ場の設置・能力アップが必要。 ・四十間堀川の放水路創設は早期に着工すべき。 ・堀川の老朽化に対処してほしい。 ・大雨時に百足橋付近の水門を開けると朝酌川が氾濫するのではないかと心配。 ・地下に貯水池を造ってほしい。 ・護岸上の道路と公園の出入口を避難時に利用できるような設計にしてはどうか。 ・想定外の雨量には対処できないので今以上の整備は望まない。
	37 (6.1%)	その他 ・原発事故対策として地下シェルターを体育館、公民館、公園に設置してほしい。 ・原発事故時の避難のために交通網の整備が必要。 ・原発事故に関するアンケートを実施してほしい。 ・土砂災害への対策もしてほしい。

問 17 「朝酌川の川づくり（設問以外）」に関する集計結果【記述設問】



項目	内訳
治水対策	137 24.0%
河川環境	131 22.9%
アンケート内容	65 11.4%
河川利用	62 10.8%
河川行政	48 8.4%
理念、方向	42 7.3%
防災・避難	36 6.3%
大橋川関係	20 3.5%
その他	31 5.4%
合計	572

※その他の「特になし」:71、「わからない」:7 は除外

◆集約意見

分類 意見数(割合)	集約意見
治水対策 137 (24.0%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>治水対策を優先し、河川環境や景観にも配慮してほしい。</li> <li>川をなくす、という発想はいけな。</li> <li>近年の降雨量の変化に対応して、施設的设计・管理の見直しが必要だ。</li> <li>貯水能力を上げるにはまず都市開発による田畑・山林の減少をとどめるべきで、行政による規制や植林が必要だ。</li> <li>調節池を造成すべきだ。</li> <li>早急に放水ポンプの能力・設置数を増強し、ポンプが作動しない場合のバックアップを用意しておくべきだ。</li> <li>強力なポンプ排水は大きな被害をもたらす(鳥取県の事例)。</li> <li>下流を早急に整備すべきだ。</li> <li>小河川の整備も同時に進めるべきだ。</li> <li>整備済み河川の各地点での計画洪水量、危険水位、降雨量等のデータ、今後の改修予定を知りたい。</li> <li>工期が長すぎるので早急に着工すべきだ。</li> </ul>
河川環境 131 (22.9%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート護岸は景観上、生態系保全上よろしくない。</li> <li>河川につながる小水路の清掃も必要。</li> <li>環境美化と称して外来植物を植えるのはよろしくない。</li> <li>川岸近くまでの宅地造成は規制すべきだ。</li> <li>魅力的な河川利用ができれば河川環境への関心が高まる。</li> </ul>
アンケート内容 65 (11.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>このようなアンケートは税金の無駄使い。</li> <li>このアンケートが河川について考えるきっかけになった。</li> <li>全世帯を対象とする意味はなく、自治会単位でよい。</li> <li>アンケートより直接意見を述べる場を設けてもらいたい。</li> <li>現場を見て意見を求める方がよいのではないか。</li> <li>インターネットで回答できるようにしてほしい。</li> <li>アンケートの集計結果・意見、その活かし方を公開してほしい。</li> <li>アンケートの目的を示してもらいたかった。</li> <li>設問の意図がわかりにくく、リーフレットの内容も不十分。</li> <li>自由回答欄が多すぎる。</li> <li>外来語・専門語が多く、言葉があいまいで分かりにくい。</li> </ul>
河川利用 62 (10.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>船着き場を利用して水上タクシーや渡し船を運行してはどうか。</li> <li>生活の場としての水路の良さを残してほしい。</li> </ul>
河川行政 48 (8.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の意見を聞く取り組みを今後も行ってほしい。</li> <li>工事の目的や工程を分かりやすく示してほしい。</li> <li>事業を計画通り進めてほしい。</li> <li>S47年以降の住環境の変化を加味して必要な整備、住民から求められる整備についての費用対効果の検証を行ってほしい。</li> <li>1級河川は市ではなく県が責任をもってほしい。</li> <li>市民が河川管理に参加できるような仕組みを考えてほしい。</li> </ul>
理念、方向 42 (7.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の都という財産を誇りをもって未来へ継承する。</li> <li>市街地化や山野・田畑も視野に入れた川づくり。</li> <li>街づくり、観光基盤整備、防災対策の連携。</li> </ul>
防災・避難 36 (6.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路は住民が決めるべきだ。</li> <li>避難所が安全な場所にあるのか心配。</li> <li>災害時の支給品の備蓄場所は分散すべきだ。</li> <li>道路建設時には流水による被害を予測して予防措置を講じてほしい。</li> <li>避難時の安全のために道路の穴を補修してほしい。</li> <li>避難路に使えるよう橋を増やしてほしい。</li> <li>浸水危険区域の宅地造成には規制が必要。</li> <li>新築住宅の高い盛土は従来の住宅に浸水被害をもたらす恐れがあるため、地面は周囲に合わせることを条例で定められないか。</li> <li>各治水対策で想定している効果を具体的に説明してほしい。</li> </ul>
大橋川関係 20 (3.5%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>斐伊川・宍道湖・大橋川・中海・境水道全体を視野に入れて対策を立てるべきだ。</li> <li>大橋川の拡幅は必要ない。</li> <li>大橋川の拡幅より朝酌川の拡幅、大橋川の浚渫の方が効果があると思う。</li> <li>改修のメリット、デメリット、費用対効果を説明してほしい。</li> <li>中洲の撤去だけではだめか。</li> <li>大橋川の拡幅は断行してほしい。</li> <li>大橋川の方を優先すべきだ。</li> <li>中の島の全部(南側の半分でも可)を掘削・拡幅できないか(耕作地には補償金を当てるなどする)。</li> <li>天神川(川尻)の合流地点から中海水道に至る朝酌上流地域と大井の一部を掘削・拡幅できないか。</li> </ul>
その他 31 (5.4%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門家の定期的な点検により維持管理してほしい。</li> <li>交差橋の橋梁と歩道の拡幅は早急に行ってほしい。</li> </ul>

記述設問におけるワード整理

◆キーワード整理

ジャンル	意見数		ワード	意見数		問5 治水	問8 河川環境					問10 河川利用	問12 維持管理	問16 防災	問17 川づくり 全般
	割合	全数		割合	小計										
					動植物		水質	景観	その他						
1. 防災	1446	29.3%	洪水、水害、浸水	336	6.2%	159	9	1	1	3	4	6	21	76	65
			防災	224	4.1%	5	4	0	0	2	2	4	6	179	26
			情報	164	3.0%	4	2	0	0	0	2	2	4	149	3
			災害	148	2.7%	23	1	0	0	0	1	2	6	90	26
			大雨、ゲリラ豪雨	118	2.2%	40	5	1	1	1	2	8	18	17	30
			意識	99	1.8%	1	16	1	6	3	6	5	8	58	11
			インターネット	92	1.7%	0	1	0	0	0	1	0	0	89	2
			避難	79	1.5%	6	0	0	0	0	0	1	0	65	7
			高齢者、老人	76	1.4%	0	4	1	0	1	2	1	5	63	3
			提供	58	1.1%	1	0	0	0	0	0	2	1	50	4
訓練	52	1.0%	2	0	0	0	0	0	0	0	48	2			
2. 日常的な川との関わり 河川利用、景観、 その他	920	18.6%	市民、住民	328	6.0%	15	80	10	24	25	21	34	61	64	74
			松江	283	5.2%	40	84	7	19	40	18	43	14	24	78
			観光	139	2.6%	16	56	1	17	30	8	39	8	1	19
			行政	104	1.9%	6	17	5	3	3	6	4	23	37	17
			水の都	66	1.2%	5	17	0	10	5	2	16	2	3	23
3. 治水事業、河川工事	896	18.2%	整備、工事	429	7.9%	35	139	22	23	67	27	75	30	28	122
			早急、早期、早く	164	3.0%	47	25	8	4	4	9	1	17	32	42
			堤防	130	2.4%	38	46	10	4	26	6	12	9	4	21
			護岸	119	2.2%	44	21	4	0	13	4	13	22	5	14
			30年	54	1.0%	50	1	0	1	0	0	1	0	0	2
4. 動植物 自然環境	520	10.5%	外来種、外来生物、 自然	194	3.6%	0	146	143	0	0	3	0	45	0	3
			ヌートリア	190	3.5%	28	80	23	8	31	18	27	9	12	34
			ヌートリア	86	1.6%	0	77	76	0	0	1	0	7	0	2
			ホタル	50	0.9%	0	44	36	4	0	4	1	1	0	4
5. 維持管理	430	8.7%	管理	166	3.1%	7	26	10	5	7	4	9	100	5	19
			ゴミ	130	2.4%	2	72	5	16	35	16	6	34	3	13
			草刈、除草	126	2.3%	5	58	14	1	37	6	6	45	0	12
			ゴミ拾い	8	0.1%	0	6	0	2	2	2	0	0	0	2
6. 河川水質、河川環境	278	5.6%	水質	278	5.1%	10	193	19	144	12	18	38	15	0	22
7. 個別河川、宍道湖	940	19.0%	堀川	296	5.5%	45	104	24	43	29	8	84	20	5	38
			朝酌川	180	3.3%	36	48	18	10	10	10	17	17	5	57
			宍道湖	164	3.0%	44	57	14	26	6	11	21	5	6	31
			比津川	84	1.5%	42	13	5	4	1	3	0	6	5	18
			大橋川	71	1.3%	10	0	3	4	5	5	10	4	8	39
			北田川	43	0.8%	16	13	7	4	0	2	1	2	1	10
			中川	39	0.7%	19	8	2	2	4	0	0	2	1	9
			四十間堀川	32	0.6%	14	9	3	2	3	1	4	1	1	3
			放水路	28	0.5%	14	2	0	0	2	0	1	0	1	10
			大井手川	3	0.1%	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
計	5430	-	計	5430		830	1485	474	388	407	233	494	568	1135	918

◆記述設問におけるワード数整理結果

自由意見設問	書き込み文字数	
問5 治水	40,135	17.2%
問8 環境	67,851	29.1%
環境(動植物)	20,953	9.0%
環境(水質)	16,768	7.2%
環境(景観)	18,202	7.8%
環境(その他)	11,928	5.1%
問10 河川利用	22,279	9.6%
問12 維持管理	23,460	10.1%
問16 防災	36,394	15.6%
問17 朝酌川の川づくり	42,682	18.3%
合計	232,801	



前回アンケートとの比較

分類	比較項目	細目	前回アンケート (H21.12実施)		今回アンケート (H26.11実施)		概要	
属性データ	配布数	総配布数	54,512		22,086		-	
		世帯配布数	53,534	98.2%	21,976	99.5%		
		学校配布数	978	1.8%	110	0.5%		
	性別	合計	2,778		2,763		性別割合は概ね同程度	
		男性	1,563	56.3%	1,604	58.1%		
		女性	1,203	43.3%	1,091	39.5%		
		無回答	12	0.4%	68	2.5%		
回答数	総回答数	2,778	5.1%	2,763	12.5%	アンケート対象範囲が異なるが、回収率から見れば、地元住民の河川に関する意識が高くなっている。		
	回答数(世帯配布)	1,800	3.4%	2,653	12.1%			
	回答数(学校)	978	100.0%	110	100.0%			
回答者の年齢構成 【世帯配布のみを対象】	10代	40	2.2%	30	1.1%	回答率から見れば、40代以上で増加傾向が見られる。 一方で30代以下では減少傾向である。		
	20代	63	3.5%	83	3.1%			
	30代	186	10.3%	205	7.7%			
	40代	226	12.6%	396	14.9%			
	50代	310	17.2%	535	20.2%			
	60代	495	27.5%	653	24.6%			
	70代以上	467	25.9%	710	26.8%			
	無回答	13	0.7%	41	1.5%			
河川構成 【朝酌川流域のみ】	松江堀川	731	64.5%	1,696	65.4%	朝酌川の近くに住む住民から回答割合が多くなっている。		
	朝酌川	263	23.2%	888	34.2%			
	大橋川	139	12.3%	10	0.4%			
治水関係	危険を感じたことがあるか	危険を感じたことは無い	634	22.8%	1,543	55.8%	「アンケート配布の対象地域(前回:圏域全体、今回:朝酌川流域)」および、「回答様式(今回は選択肢に「わからない」がない)」が異なるが、前回アンケート時に比べ、「危険を感じない人」の割合が大幅に増加している。	
		危険を感じたことがある	725	26.1%	1,134	41.0%		
		わからない、無回答	1,419	51.1%	86	3.1%		
	【年齢別】 10代	危険を感じたことは無い	234	23.0%	99	76.2%	各年齢層で見れば、30代以下の若い世代において「危険を感じなくなった」傾向が顕著であり、昭和47年7月洪水等を経験しているような40代以上では「危険を感じている」傾向が若干高くなってきていることが伺える。 これは、平成18年7月洪水以降、大きな浸水被害が発生しておらず、浸水被害への意識が薄れてきている可能性があるものと想定される。 また、河川別に見れば、朝酌川については、「安全」と感じている人の割合が大幅多くなっている一方、松江堀川では「安全」「危険」がほぼ同等の傾向であった。	
		危険を感じたことがある	634	62.3%	31	23.8%		
		わからない、無回答	150	14.7%				
		20代	危険を感じたことは無い	14	22.2%	57		68.7%
			危険を感じたことがある	36	57.1%	26		31.3%
			わからない、無回答	13	20.6%			
		30代	危険を感じたことは無い	28	15.1%	132		64.4%
	危険を感じたことがある		98	52.7%	73	35.6%		
	わからない、無回答		60	32.3%				
	40代	危険を感じたことは無い	43	19.0%	217	55.4%		
		危険を感じたことがある	111	49.1%	175	44.6%		
		わからない、無回答	72	31.9%				
50代	危険を感じたことは無い	74	23.9%	312	58.9%			
	危険を感じたことがある	119	38.4%	218	41.1%			
	わからない、無回答	117	37.7%					
60代	危険を感じたことは無い	121	24.4%	340	53.1%			
	危険を感じたことがある	190	38.4%	300	46.9%			
	わからない、無回答	184	37.2%					
70代以上	危険を感じたことは無い	117	25.1%	381	55.5%			
	危険を感じたことがある	175	37.5%	306	44.5%			
	わからない、無回答	175	37.5%					
【河川別】 松江堀川	危険を感じたことは無い	113	15.5%	850	50.1%			
	危険を感じたことがある	325	44.5%	833	49.1%			
	わからない、無回答	293	40.1%	13	0.8%			
朝酌川	危険を感じたことは無い	76	28.9%	617	69.5%			
	危険を感じたことがある	131	49.8%	261	29.4%			
	わからない、無回答	56	21.3%	10	1.1%			

※松江堀川には、中川、比津川を含めている。  
 ※朝酌川には、本川および大井手川、持田川、小倉川、坂本川を含めている。  
 ※大橋川には、剣先川を含めている。

分類	比較項目	細目	前回アンケート (H21.12実施)	今回アンケート (H26.11実施)	摘要
治水関係	危険と思う理由(複数回答)	①大雨のたびに川の水が溢れるから	380 25.7%	491 20.7%	<p>選択項目が多少異なるが、グルーピング結果から見れば、「浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)」から危険と認識する人の割合が増加している。「河川断面(①～④)」は前回とほぼ同割合であることから、「河川構造⑤～⑧」に対する危険意識は減少している。個別項目では、①⑤が減少し、②④⑩(≒⑨⑩)が増加している。その他は前回アンケートと概ね同様の傾向を示している。</p> <p>これは、 ・平成18年7月洪水以降、大きな浸水被害が発生していない(=①⑤) ・昭和47年7月洪水などを経験した高齢層の「経験」から洪水に対する危険性を認識(=⑩)ことが要因と推察される。</p> <p>河川別に見れば、 松江堀川では、大幅に意見数が増加し、グルーピング結果から見れば、「浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)」が大きく増加し、個別項目では、①⑤⑫が減少し、④⑦⑩(≒⑨⑩)が増加している。 朝酌川でも、大幅に意見数が増加しており、グルーピング結果から見れば、「浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)」および「河川断面①～④」が大きく増加している。</p> <p>個別項目では、①⑦が減少し、③④⑧⑩(≒⑨⑩)が増加している。 これは、上記の全体傾向と同様、 ・平成18年7月洪水以降、大きな浸水被害が発生していない(=①⑤) ・昭和47年7月洪水などを経験した高齢層の「経験」から洪水に対する危険性を認識(=⑩)ことのほか、 ・河道内樹木の伐採や護岸補修など「維持管理不足」(=④⑦)が意識されている可能性もある。</p>
		②川の幅が狭いから	166 11.2%	319 13.4%	
		③川の中に土がたまっているから	172 11.6%	265 11.2%	
		④川の中に草や木が茂っているから	109 7.4%	267 11.2%	
		⑤護岸(堤防)が低いから	200 13.5%	240 10.1%	
		⑥護岸が無いところがあるから	57 3.9%	-	
		⑦護岸が崩れそうだから	79 5.3%	141 5.9%	
		⑧脱出、救出のための昇降路が少ないから	36 2.4%	66 2.8%	
		⑨これまでに降ったことのないような大雨が降るかもしれないから	123 8.3%	-	
		⑩危険であるという思いが薄れたから	40 2.7%	-	
		⑪過去に浸水被害にあったことがある	-	430 18.1%	
		⑫その他	117 7.9%	157 6.6%	
★グルーピング					
河川断面(①～④)		827 55.9%	1,342 56.5%		
河川構造(⑤～⑧)		372 25.2%	447 18.8%		
浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)		163 11.0%	430 18.1%		
その他(⑫)		117 7.9%	157 6.6%		
【河川別：松江堀川】		575	1,744		
①大雨のたびに川の水が溢れるから	175 30.4%	410 23.5%			
②川の幅が狭いから	87 15.1%	254 14.6%			
③川の中に土がたまっているから	56 9.7%	168 9.6%			
④川の中に草や木が茂っているから	17 3.0%	145 8.3%			
⑤護岸(堤防)が低いから	77 13.4%	183 10.5%			
⑥護岸が無いところがあるから	13 2.3%	-			
⑦護岸が崩れそうだから	16 2.8%	89 5.1%			
⑧脱出、救出のための昇降路が少ないから	12 2.1%	45 2.6%			
⑨これまでに降ったことのないような大雨が降るかもしれないから	45 7.8%	-			
⑩危険であるという思いが薄れたから	14 2.4%	-			
⑪過去に浸水被害にあったことがある	-	347 19.9%			
⑫その他	63 11.0%	103 5.9%			
★グルーピング					
河川断面(①～④)		335 58.3%	977 56.0%		
河川構造(⑤～⑧)		118 20.5%	317 18.2%		
浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)		59 10.3%	347 19.9%		
その他(⑫)		63 11.0%	103 5.9%		
【河川別：朝酌川】		107	539		
①大雨のたびに川の水が溢れるから	20 18.7%	63 11.7%			
②川の幅が狭いから	10 9.3%	54 10.0%			
③川の中に土がたまっているから	12 11.2%	84 15.6%			
④川の中に草や木が茂っているから	15 14.0%	110 20.4%			
⑤護岸(堤防)が低いから	10 9.3%	50 9.3%			
⑥護岸が無いところがあるから	6 5.6%	-			
⑦護岸が崩れそうだから	15 14.0%	45 8.3%			
⑧脱出、救出のための昇降路が少ないから	1 0.9%	19 3.5%			
⑨これまでに降ったことのないような大雨が降るかもしれないから	6 5.6%	-			
⑩危険であるという思いが薄れたから	3 2.8%	-			
⑪過去に浸水被害にあったことがある	-	72 13.4%			
⑫その他	9 8.4%	42 7.8%			
★グルーピング					
河川断面(①～④)		57 53.3%	311 57.7%		
河川構造(⑤～⑧)		32 29.9%	114 21.2%		
浸水経験、降雨の大規模化、住民意識(⑨～⑪)		9 8.4%	72 13.4%		
その他(⑫)		9 8.4%	42 7.8%		
環境関係	環境保全、改善のための現在の取り組み【重複部分のみ】(複数回答)	465	1,672		
①河川清掃(草刈り、ゴミ拾い)	122 26.2%	1,035 61.9%			
②家庭でできる生活排水を減らす取り組み(廃油を流さないなど)	255 54.8%	476 28.5%			
③川にゴミを捨てない(不法投棄対策含む)	51 11.0%	44 2.6%			
④その他	37 8.0%	117 7.0%			

※松江堀川には、中川、比津川を含めている。  
 ※朝酌川には、本川および大井手川、持田川、小倉川、坂本川を含めている。  
 ※大橋川には、剣先川を含めている。

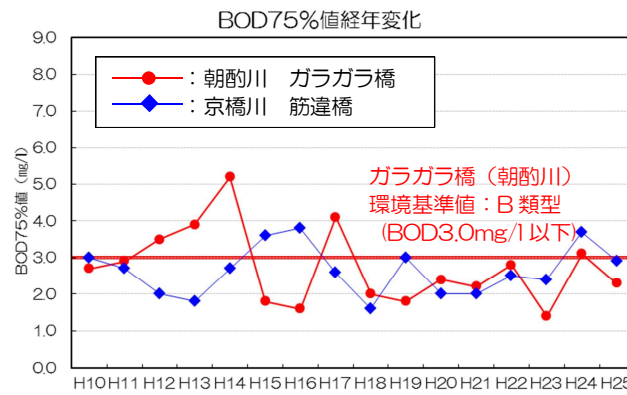
分類	比較項目	細目	前回アンケート (1,021名実施)	今回アンケート (1,198名実施)	摘要			
防災関連	防災および災害情報の今後の入手方法でよいと思うもの (複数回答)	①広報車	110	26.9%	857	9.7%		
		②サイレン、スピーカーによる一斉放送	93	22.7%	1,467	16.6%		
		③地域住民同士の声かけ、連絡網	58	14.2%	496	5.6%		
		④ヘリコプター、セスナ機による放送	26	6.4%	-	-		
		⑤自治会、自主防災組織	20	4.9%	625	7.1%		
		⑥固定電話、ファックス	16	3.9%	297	3.4%		
		⑦有線放送、無線(ラジオ、防災行政無線含む)	16	3.9%	990	11.2%		
		⑧ケーブルテレビ	11	2.7%	677	7.7%		
		⑨掲示板、電光掲示板	10	2.4%	105	1.2%		
		⑩消防署、消防団員	7	1.7%	278	3.2%		
		⑪情報入手環境の確立(テレビ等の緊急放送体制、防災チャンネル、自動伝達機器など)	20	4.9%	1,054	12.0%		
		⑫携帯電話	-	-	1,346	15.3%		
⑬インターネット	-	-	562	6.4%				
⑭その他(行政からの連絡、新聞等)	22	5.4%	65	0.7%				
防災関連	災害に向けた日頃の備え (複数回答)	①避難経路、避難場所の確認	799	20.0%	978	22.2%		
		②大雨が降った時の危険箇所の確認	429	10.7%	504	11.4%		
		③インターネット等で情報を入手する方法の確認	181	4.5%	310	7.0%		
		④非常持出袋(ラジオ、懐中電灯、軍手など)を用意している	638	16.0%	895	20.3%		
		⑤非常食	353	8.8%	332	7.5%		
		⑥家族との連絡方法の確認(安否確認方法、避難先の確認など)	436	10.9%	559	12.7%		
		⑦準備していない	1,111	27.8%	758	17.2%		
		⑧その他	48	1.2%	69	1.6%		
		【河川別：松江堀川】	【河川別：松江堀川】	①避難経路、避難場所の確認	225	20.7%	637	22.3%
				②大雨が降った時の危険箇所の確認	140	12.9%	319	11.2%
				③インターネット等で情報を入手する方法の確認	59	5.4%	200	7.0%
				④非常持出袋(ラジオ、懐中電灯、軍手など)を用意している	178	16.4%	596	20.9%
⑤非常食	102			9.4%	233	8.2%		
⑥家族との連絡方法の確認(安否確認方法、避難先の確認など)	117			10.8%	370	13.0%		
⑦準備していない	253			23.3%	450	15.8%		
⑧その他	12			1.1%	48	1.7%		
【河川別：朝酌川】	【河川別：朝酌川】			①避難経路、避難場所の確認	74	18.9%	300	22.0%
				②大雨が降った時の危険箇所の確認	38	9.7%	169	12.4%
				③インターネット等で情報を入手する方法の確認	28	7.2%	94	6.9%
				④非常持出袋(ラジオ、懐中電灯、軍手など)を用意している	68	17.4%	261	19.1%
		⑤非常食	29	7.4%	87	6.4%		
		⑥家族との連絡方法の確認(安否確認方法、避難先の確認など)	53	13.6%	174	12.8%		
		⑦準備していない	100	25.6%	260	19.1%		
		⑧その他	1	0.3%	19	1.4%		

※松江堀川には、中川、比津川を含めている。  
 ※朝酌川には、本川および大井手川、持田川、小倉川、坂本川を含めている。  
 ※大橋川には、剣先川を含めている。



### 3. 河川環境に関する事項

- 各河川では水質観測が定期的に行われており、河川水質の代表指標の一つであるBOD（生物化学的酸素要求量）について見ると、概ね環境基準を満足しています。
- 宍道湖は低塩分濃度の汽水湖で、多様な魚類が生息しており、シンジコハゼの主要な生息地となっています。鳥類や昆虫類なども多くの希少種が確認されています。一方、本圏域における特定外来生物として、哺乳類のヌートリアのほか、魚類のオオクチバス、ブルーギル、植物のオオキンケイギクが確認されています。



- 松江堀川沿いは、歴史上の意義を有する建造物や遺跡等で形成された町並み景観を有する区域として「伝統美観保存区域」、江戸時代の町並みを色濃く残す「北堀町景観形成区域」が指定してあります。

- ◎動植物の生息・生育・繁殖環境の保全、歴史的な景観や文化財の保存、周辺の景観、流域の歴史・文化および背後地の利活用と調和した水辺空間の形成に努め、地域住民が自然にふれあい、水辺に親しめる場、周辺の歴史・文化を学べる場を創出します。
- ◎水質の改善および河川を汚さないよう市民への啓発、そして、地域住民の活動と連携し、美しい河川環境を維持するように努めます。

### 4. 河川利用に関する事項

- 松江堀川で堀川遊覧船「ぐるっと松江堀川めぐり」が運航されています。

- ◎河川工事や維持管理にあたっては、河川利用に配慮して進めていきます。

### 5. 維持管理に関する事項

- ◎河川巡視や点検の実施により異常の早期発見に努め、適切な維持管理を行います。
- ◎今後多くの河川管理施設が耐用年数を迎えることから、必要に応じて老朽化対策を行います。
- ◎生物多様性の保全のため、関係機関とも協力し、外来生物の分布が拡大しないように努めます。

### 6. 防災等に関する事項

- ◎洪水による被害を最小限に食い止めるため、インターネット等によるリアルタイムの河川水位や雨量の情報を提供するほか、危険箇所や避難場所等を示した洪水ハザードマップの普及を推進し、日頃から防災意識の向上を図ります。

- ・「しまね防災情報」は、島根県ホームページのトップページにある **防災・気象** をご覧ください。

<http://www.bousai-shimane.jp/>

- ・河川水位や雨量のリアルタイム情報は、島根県ホームページのトップページにある

**防災・気象** の **雨量・水位情報** をご覧ください。

<http://www.bousai-shimane.jp/uryousui/pc/ssim0101g.html>

- ・しまね防災メールの登録は右のQRコードから読み取れるメールアドレス宛に空メールを送信してください。



- ◎水防活動との連携、情報伝達体制および警戒避難体制の整備はもとより、自主防災組織の育成強化に向けた協力支援など、地域のみなさまと協力して被害軽減対策を行います。

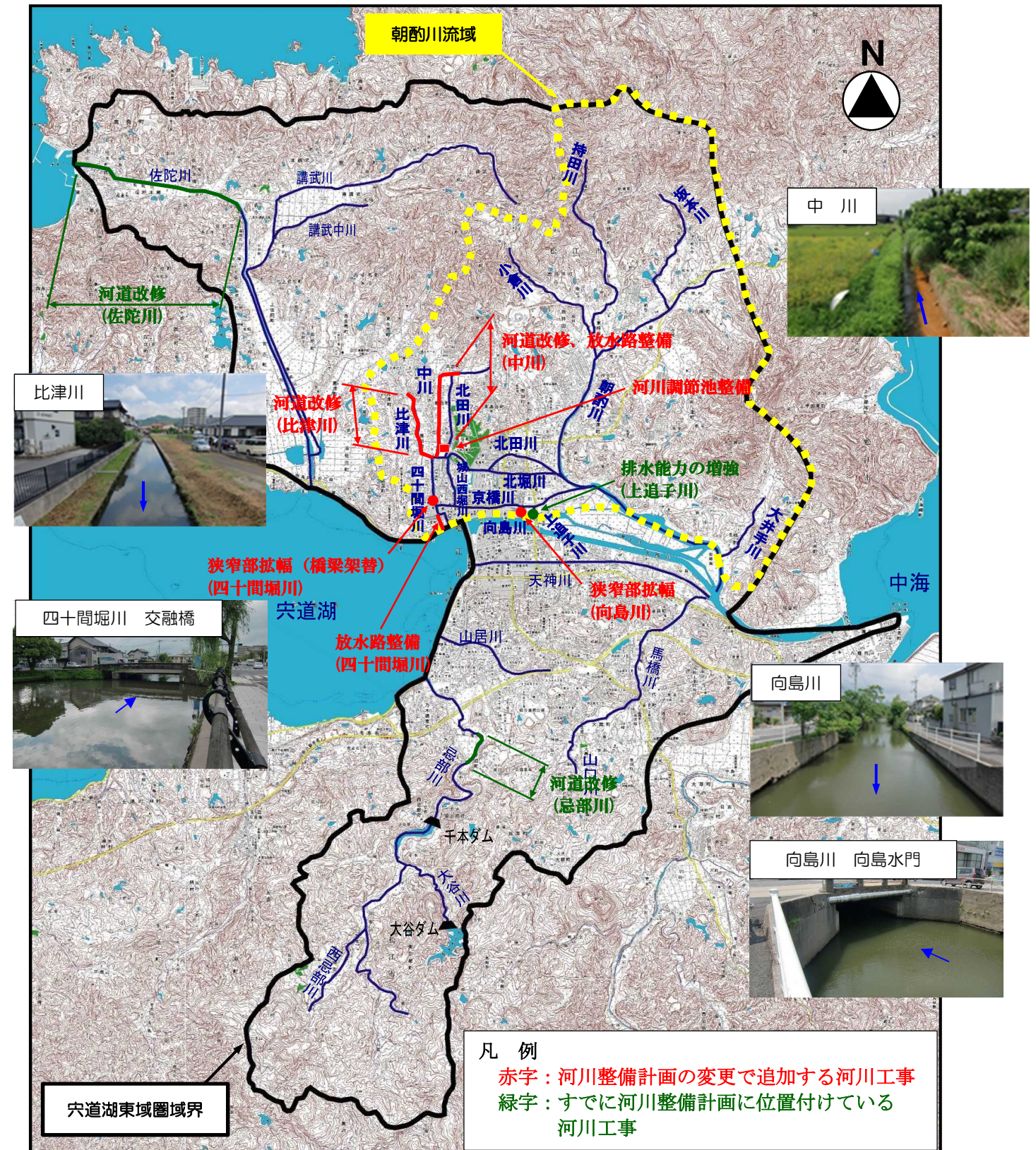
【問い合わせ先】 島根県土木部河川課 企画調査グループ 電話：0852-22-5198  
島根県松江県土整備事務所 土木工務第二課 電話：0852-32-5718

## 斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（変更）の概要

本リーフレットは、同封の「朝酌川流域の川づくりに関するアンケート」にお答えいただくため、斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（変更）の概要を示した参考資料です。主な変更内容は、**松江堀川**、**中川**、**比津川**の河川工事の追加に関する事項です。以下の項目の中で、■は現状を、◎は計画で実施する内容を示しています。

### 1. 宍道湖東域の河川の概要

- 宍道湖東域には、島根県が管理する河川が **24 河川**あります。

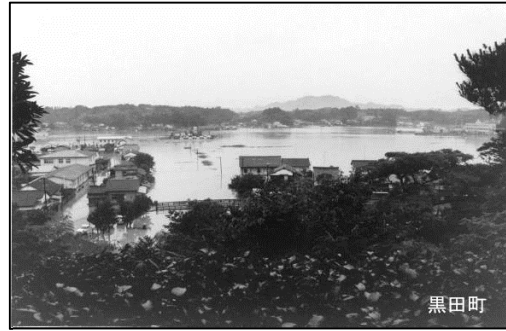


宍道湖東域の範囲と対象河川位置図



## 2. 治水対策に関する事項

■松江市街地は、昭和39年7月、昭和47年7月、平成18年7月と、過去には幾度も浸水被害がありました。特に昭和47年7月豪雨は、松江市街地で床上浸水約5,900棟、床下浸水約14,500棟など、戦後最大の浸水被害をもたらしました。



松江市黒田町（昭和47年7月）



松江市黒田町（平成18年7月）



松江市東本町（平成18年7月）

◎宍道湖東域河川整備計画の変更では、**松江堀川※・中川・比津川**の工事を追加し、**昭和47年7月豪雨と同等の洪水**に対して、松江市街地の**家屋等の浸水被害を軽減**します。

河川名	施行の場所および河川工事の種類	
まつえほりかわ 松江堀川※	しじゅっけんぼりがわ 四十間堀川	・放水路新設（施行延長＝約350m） ・狭窄部拡幅（交融橋架替）
	むこうしまがわ 向島川	・狭窄部拡幅（向島水門）
なかがわ 中川	・河道改修、放水路新設（施行延長＝約1,800m） ・河川調節池の新設（松江北高校グラウンド）	
ひつがわ 比津川	・河道改修（施行延長＝約1,600m）	

※松江堀川：北田川、城山西堀川、北堀川、四十間堀川、京橋川、上追子川、田町川、米子川、城山内堀川、向島川の10河川の総称です。

◎整備期間は概ね**30年間**とします。

◎以下に、河川工事の施行場所とイメージをお示しします。

**四十間堀川**

交融橋架替  
施行箇所

放水路  
施行区間  
L=約350m

約24.0m

狭い部分を広げます

四十間堀川の狭窄部（交融橋架替）拡幅

川幅の狭い部分を拡幅し、洪水を流れやすくします。

約8.0m

約6.9m

放水路を設け、洪水を直接宍道湖へ流します。

四十間堀川 放水路新設

**向島川**

施行箇所

向島水門

約9.5m

狭い部分を広げます

向島川狭窄部（向島水門）拡幅

川幅の狭い部分を拡幅し、洪水を流れやすくします。

**中川**

河道改修  
施行区間  
L=約1,400m

放水路  
施行区間  
L=約400m

河川調節池

中川 河川調節池整備  
（松江北高校グラウンド）

中川から松江堀川へ流入する洪水を一時的に貯めて、下流の負担を軽減します。洪水時以外はグラウンドとして利用します。

4000

約16.0m

4000

川を広げます

川底を下げます

中川河道改修・放水路新設

堤防を新設します

**比津川**

施行区間  
L=約1,600m

3.0m

約8.0m

1.0m

川を広げます

比津川河道改修

「松江市街地治水計画」および宍道湖東域川づくり検討委員会の資料は、島根県ホームページのトップページにある**県土づくりの河川・治水・治山の河川**をご覧ください。  
島根県河川課ホームページ  
<http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

堤防を新設します

河道を拡幅し、洪水の氾濫を防ぎます。



# 朝酌川流域の川づくりに関するアンケート

このアンケートは、朝酌川流域にお住まいの方を対象として送らせていただいております。

「ご自宅の近くを流れる川」や「普段の生活で関わりのある川」において、日ごろ感じられていることなど、地域の皆様からのご意見をもとに、「斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（変更）」に反映させ、より良い川づくりに努めていきたいと考えております。

ご多用のところ大変恐縮ですが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

島根県土木部河川課・島根県松江県土整備事務所

問14 災害の発生に備え、日頃どのような準備をしていますか。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

1. 避難経路、避難場所の確認 / 2. 危険箇所の確認  
3. 情報入手方法の確認 / 4. 非常持出袋（ラジオ、懐中電灯、軍手など）  
5. 非常食 / 6. 家族との連絡方法の確認 / 7. 準備していない  
8. その他（

問15 「災害が発生しそうなときに迅速な避難を行うための体制・仕組み」を整備するにあたって、次のうち、どれが有効と思われますか。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

1. 出前講座や勉強会 / 2. イベントなどの啓発活動 / 3. 情報提供手段の強化  
4. 防災訓練 / 5. 自主防災組織の結成 / 6. 地域防災リーダーの育成  
7. タイムライン\*の作成  
8. その他（

\*タイムライン：平常時から行政や関係機関、企業、住民組織などの複数の主体が、共通の時間軸に沿った具体的な災害時の対応を協議して策定する行動計画

問16 リーフレット「6. 防災等に関する事項」をご覧ください。「防災」についてのご意見をお聞かせください。

【自由意見】

## 7. 「朝酌川流域の川づくり」について

問17 設問以外のご意見をお聞かせください。【自由意見】

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】 島根県土木部河川課 企画調査グループ 電話：0852-22-5198  
島根県松江県土整備事務所 土木工務第二課 電話：0852-32-5718

## 1. あなたご自身のことをお聞かせください。

問1 あなたご自身の性別と年齢、地区名をお聞かせください。○をつけてご回答ください。

性別	1. 男性      ・      2. 女性
年齢	10代 / 20代 / 30代 / 40代 / 50代 / 60代 / 70代以上
地区名	城北 / 城西 / 城東 / 法吉 / 川津 / 持田 / 朝酌

問2 「ご自宅の近くを流れている川」もしくは「あなたの普段の生活で関わりのある川」はどの川ですか。ひとつ○をつけてご回答ください。河川名はリーフレットをご覧ください。

1. あさくみがわ朝酌川 / 2. おおいでがわ大井手川 / 3. まつえほりがわ松江堀川※ / 4. なかがわ中川 / 5. ひつがわ比津川  
6. もちだがわ持田川 / 7. おくらがわ小倉川 / 8. さかもとがわ坂本川 / 9. その他（

※松江堀川：きただがわ北田川、じょうざんにしほりがわ城山西堀川、きたほりがわ北堀川、しじゅうけんほりがわ四十間堀川、きょうぼしがわ京橋川、かみあいこがわ上追子川

たまらがわ準用河川の田町川、よなごがわ米子川、じょうざんうちほりがわ城山内堀川、むこうしまがわ向島川の10河川の総称です。

## 2. 治水対策に関する事項

問3 問2でお答えいただいた川について大雨のときに危険を感じたことはありますか。○をつけてご回答ください。

1. 危険を感じたことはない。 / 2. 危険を感じたことがある。

問4 問3で、2とお答えいただいた方はその理由をお聞かせください。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

1. 大雨のたびに川の水があふれる / 2. 川の幅が狭い  
3. 川の中に土がたまっている / 4. 川の中に草や木が茂っている  
5. 堤防が低い / 6. 護岸（石垣やブロック）がくずれそう  
7. 脱出・救出のための昇降路が少ない / 8. 過去に浸水被害にあったことがある  
9. その他（



問 5 リーフレット「2. 治水対策に関する事項」をご覧になり、「朝酌川流域の河川工事」についてのご意見をお聞かせください。【自由意見】

--

### 3. 河川環境に関する事項

問 6 問2でお答えいただいた川の河川環境（動植物、水質、景観）を保全、または改善するために「現在取り組まれていること」があればお聞かせください。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

現在、 取り組まれていること	1. 草刈り / 2. ゴミ拾い / 3. 廃食用油の適切な処理 4. 不法投棄対策（ボランティア監視員など） 5. 外来生物等の防除（捕獲など） / 6. 植樹・花植 7. ホタルなどの動植物の保全活動 / 8. 環境学習・観察会 9. 動植物の調査 / 10. 水質調査 11. 何も取り組んでいない 12. その他（ ）
-------------------	---

問 7 問2でお答えいただいた川の河川環境（動植物、水質、景観）を保全、または改善するために「今後、新たに取り組みたいと思うこと」があればお聞かせください。【自由意見】

今後新たに 取り組みたい と思うこと	
--------------------------	--

問 8 リーフレット「3. 河川環境に関する事項」をご覧になり、朝酌川流域の「河川環境（動植物、水質、景観）」についてのご意見をお聞かせください。【自由意見】

動植物	
水質	
景観	
その他	

### 4. 河川利用に関する事項

問 9 問2でお答えいただいた川について、普段の利用はありますか。利用されている場合は、どのような利用をされていますか。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

また、どのくらいの頻度で利用されていますか。

- |                  |   |               |   |            |
|------------------|---|---------------|---|------------|
| 1. 遊び場（カヌー、釣りなど） | / | 2. 散歩・サイクリング  | / | 3. 休憩の場    |
| 4. 自然観察          | / | 5. お祭り・イベントの場 | / | 6. 利用していない |
| 7. その他（          |   |               |   | ）          |

利用頻度	(回答例：“毎日”や“週1回程度”など)
------	----------------------

問10 リーフレット「4. 河川利用に関する事項」をご覧になり、朝酌川流域の今後の「河川利用」についてのご意見をお聞かせください。【自由意見】

--

### 5. 維持管理に関する事項

問11 問2でお答えいただいた川について、河川の維持管理上、日頃から気になっていることがありますか。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

- |             |   |             |   |             |   |          |
|-------------|---|-------------|---|-------------|---|----------|
| 1. 草が多い     | / | 2. 木が多い     | / | 3. 土がたまっている | / | 4. ゴミが多い |
| 5. 水草（藻）が多い | / | 6. 護岸がくずれそう | / | 7. ない       |   |          |
| 8. その他（     |   |             |   |             |   | ）        |

問12 リーフレット「5. 維持管理に関する事項」をご覧になり、朝酌川流域の「維持管理」についてのご意見をお聞かせください。【自由意見】

--

### 6. 防災等に関する事項

問13 防災および災害情報を、今後どのような方法で入手できたらよいと思いますか。○をつけてご回答ください。【複数回答可】

- |               |   |                    |   |          |   |             |
|---------------|---|--------------------|---|----------|---|-------------|
| 1. 携帯電話       | / | 2. 固定電話            | / | 3. ファックス | / | 4. インターネット  |
| 5. 地上波テレビ     | / | 6. ケーブルテレビ         | / | 7. ラジオ   |   |             |
| 8. 広報車        | / | 9. 防災行政無線          | / | 10. サイレン | / | 11. 屋外スピーカー |
| 12. 掲示板、電光掲示板 | / | 13. 地域住民同士の声掛け、連絡網 | / | 14. 自治会  |   |             |
| 15. 自主防災組織    | / | 16. 消防署、消防団員       |   |          |   |             |
| 17. その他（      |   |                    |   |          |   | ）           |